



**マジックコネクト・ネオ
管理機能の利用手順
(アカウント管理者用)**

第 1.7.0 版

NTTテクノクロス株式会社

目 次

1. 管理機能へログイン	3
2. アクセス履歴の表示	7
3. ユーザ管理	29
4. グループ化接続構成	93
5. 管理機能利用設定.....	129
6. パスワードの変更（アカウント管理者）	149

1. 管理機能へログイン

管理機能へログインする手順を説明します。

- (1) マジックコネクトホームページ (<https://www.magicconnect.net/>) より、「管理機能」をクリックします。



- (2) 「マジックコネクト・ネオ」の「ログインはこちら」をクリックします。



- (3) ユーザアカウント一覧表に記載されている「**管理者用アカウント**」を「ユーザ名」欄に、「管理者用アカウント」のパスワードを「パスワード」欄に入力し、[ログイン]を押します。

magicConnect[®]Neo 管理機能
マジックコネクト・ネオ

ユーザ名とパスワードを入力してください。
※アカウント管理者でログインする場合は、アカウント管理者のユーザ名を入力してください。

The diagram shows a login form with two input fields: 'ユーザ名' (Username) and 'パスワード' (Password). A red box highlights these fields. A yellow callout box points to the 'ユーザ名' field with the text: '① ユーザ名に「**管理者用アカウント**」を、パスワードに「初期パスワード」(または現在のパスワード)を入力します。' Below the form is a blue 'ログイン' (Login) button, also highlighted with a red box. A second yellow callout box points to the button with the text: '② [ログイン]を押します。'

契約ID : 000000000

magicConnect[®]Neo ユーザアカウント一覧表 NTTテクノクロス株式会社

■**管理者用アカウント** ※管理者向け機能を利用する際に用いる情報です。なお、このアカウントはマジックコネクトリモートアクセスには利用できません。

管理者用アカウント/初期パスワード(*)	ユーザ名	パスワード
管理者用アカウント	magic23456a12345	1234567890
初期パスワード	magic23456a12345	1234567890

(4) 下記の画面から、利用する管理機能を選択してください。

ログインしたアカウント種別が表示されます。
アカウント管理者でログインしたため、**アカウント管理者**
と表示されます。

magicConnect^{Neo} 管理機能
マジックコネクト・ネオ

アカウント管理者 ログアウト

トップ アクセス履歴 ユーザ管理 グループ化接続構成 管理機能利用設定 パスワード変更

アクセス履歴
過去1年のアクセス履歴を表示することができます。

ユーザ管理
アカウントごとにユーザー情報を管理することができます。

グループ化接続構成
現在の接続構成を表示・編集することができます。

管理機能利用設定
管理機能利用についての各種設定を管理することができます。

パスワード変更
登録されているパスワードを変更することができます。

以下の管理機能を利用できます。

ログアウト
管理機能からログアウトします。

magicConnect^{Neo} 管理機能 アカウント管理者 ログアウト
マジックコネクト・ネオ

トップ	アクセス履歴	ユーザ管理	グループ化接続構成	管理機能利用設定	パスワード変更
-----	--------	-------	-----------	----------	---------

アクセス履歴
過去1年のアクセス履歴を表示することができます。

ユーザ管理
アカウントごとにユーザー情報を管理することができます。

グループ化接続構成
現在の接続構成を表示・編集することができます。

管理機能利用設定
管理機能利用についての各種設定を管理することができます。

パスワード変更
登録されているパスワードを変更することができます。

アクセス履歴
管理下の一般ユーザのアクセス履歴を閲覧できます。

ユーザ管理
管理下の一般ユーザのパスワードを変更、アカウントの接続条件を変更、アカウントロックを手動解除できます。

グループ化接続構成
管理下の一般ユーザの接続構成を閲覧・編集できます。

管理機能利用設定
本アカウント管理用画面にログイン可能なIPアドレスを制限、サブアカウント管理者を管理、アカウント管理の操作記録を確認できます。

パスワード変更
管理者用アカウントのパスワードを変更できます。

注意) 上記画面は「管理者用アカウント」でログインした場合の画面です。「一般ユーザ」でログインした場合には、下図のような機能制限された画面になります。

magicConnect^{Neo} 管理機能 アカウント有効期限: 一般ユーザ ログアウト
マジックコネクト・ネオ

トップ	アクセス履歴	グループ化接続構成	パスワード変更
-----	--------	-----------	---------

アクセス履歴
過去1年のアクセス履歴を表示することができます。

グループ化接続構成
現在の接続構成を確認することができます。

パスワード変更
登録されているパスワードを変更することができます。

一般ユーザ用管理機能の利用手順は、「マジックコネクト・ネオ 管理機能の利用手順 (一般ユーザ用)」をご参照ください。

2. アクセス履歴の表示

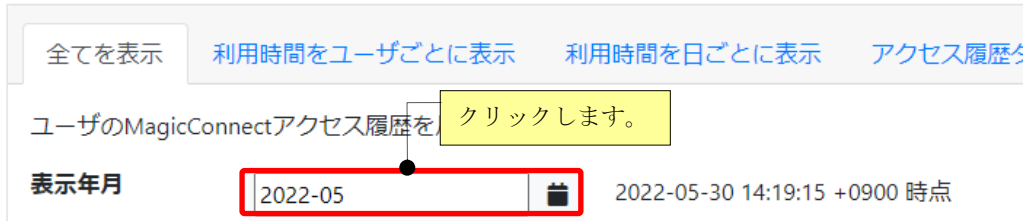
本機能を利用することでユーザがマジックコネクトを利用した際のアクセス履歴を確認できます。

2.1. アクセス履歴を表示する	10
2.2. 認証エラーの履歴を表示する	14
2.3. ビューア・クライアント間の接続履歴を表示する	15
2.4. 利用時間をユーザごとに表示する	16
2.5. 利用時間を日ごとに表示する	20
2.6. アクセス履歴ダウンロード(CSV形式)	22

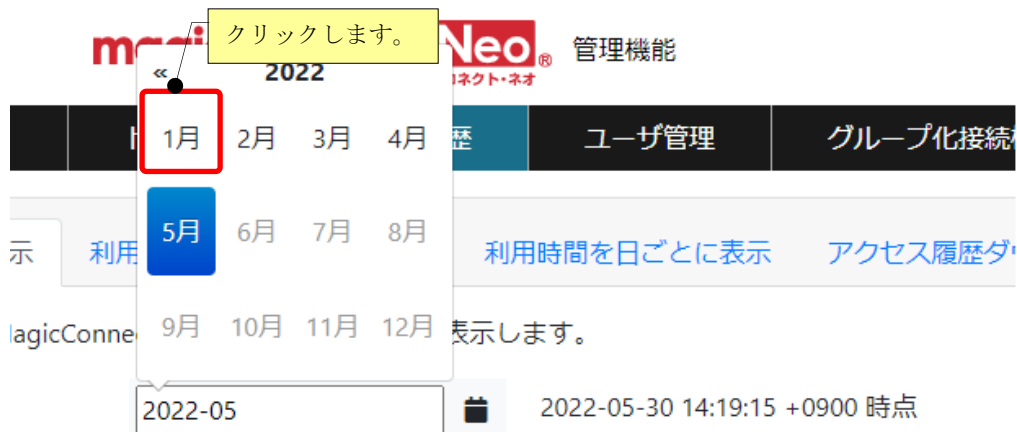
(1) アクセス履歴画面を表示するには、トップ画面からアクセス履歴をクリックします。



(2) 「表示年月」をクリックします。



(3) 表示する月をクリックします。

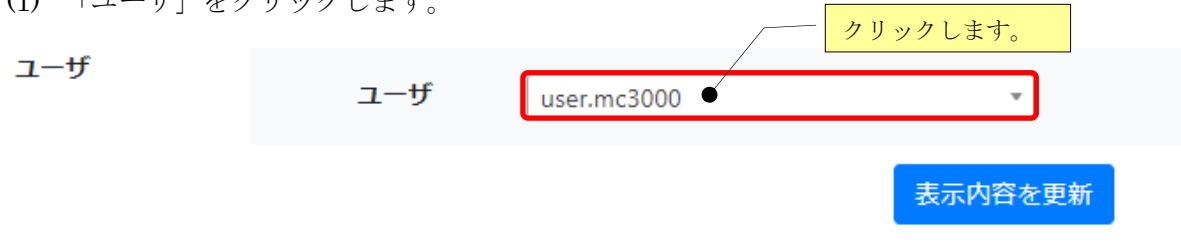


2.1. アクセス履歴を表示する

アクセス履歴を表示するための基本的な手順を説明します。

■ ユーザを選択する

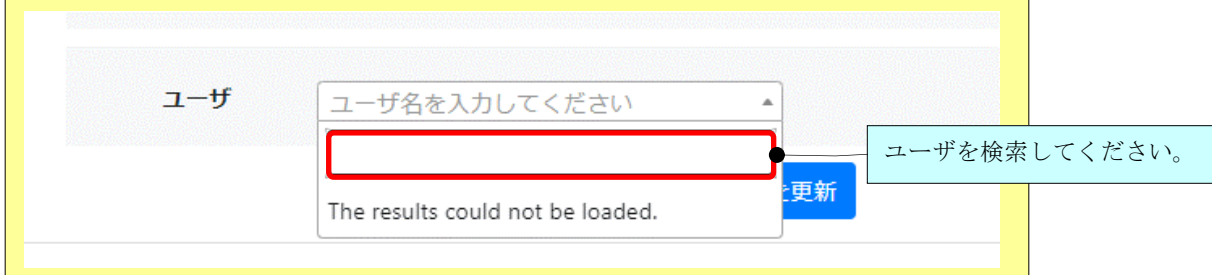
(1) 「ユーザ」をクリックします。



(2) アクセス履歴を表示したいユーザを選択します。テキスト入力により検索で絞り込むことも可能です。



注意) 管理下に 5000 アカウント以上存在する場合は、アカウントの一覧が表示されません。確認したいユーザを検索することでユーザを指定できます。



■ ビューアの履歴のみ表示する

ビューア（手元端末で動作するプログラム）がマジックコネクトサーバへ接続した履歴のみを表示します。

この表示状態では、各行の背景色はすべて薄橙色です。

種別 ビューアのみ クライアント ① 「ビューアのみ」を選択します。

認証結果 認証に成功した接続のみ 認証に失敗した接続のみ 全ての接続

拡張表示 接続先クライアントを表示 接続元ビューアを表示

② 「ユーザ」を指定します。

ユーザ user1

③ [表示内容を更新]を押します。

表示内容を更新

ビューアの履歴のみ表示されます。

接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス	MACアドレス	認証結果
05/11 15:17:35	05/11 15:21:44	4分 8秒	114.74.0.21.44	08:00:27:00:00:00	成功
05/12 14:26:39	05/12 14:26:57	18秒	114.74.0.21.44	08:00:27:00:00:00	成功
05/12 14:27:12	05/12 14:27:50	37秒	114.74.0.21.44	08:00:27:00:00:00	成功
05/12 14:27:57	05/12 14:29:09 [接続中]	1分 11秒	114.74.0.21.44	08:00:27:00:00:00	成功

「接続元アドレス」は、ビューアが動作する端末のグローバル IP アドレスです。
「MAC アドレス」はビューアが動作する端末の MAC アドレス（※）です。

※ ビューアアプリのバージョンが 8.2r1 未満の場合、MAC アドレスは空欄になります。
8.2r1 以降であっても、iOS と Android の場合、OS の制約から MAC アドレスは固定値「02-00-00-00-00-00」になります。

■ クライアントの履歴のみ表示する

クライアント（接続先機器（対象機器、オフィス PC）で動作するプログラム）がマジックコネクトサーバへ接続した履歴のみを表示します。

この表示状態では、各行の背景色はすべて白色です。

種別 ビューアのみ クライアントのみ ビューア

① 「クライアントのみ」を選択します。

認証結果 認証に成功した接続のみ 認証に失敗した接続のみ 全ての接続

拡張表示 接続先クライアントを表示 接続元ビューアを表示

② 「ユーザ」を指定します。

ユーザ user1

③ [表示内容を更新]を押します。

表示内容を更新

クライアントの履歴のみ表示されます。

ユーザ名	1 / 1 ページ目を表示中					表示数
接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス	MACアドレス	認証結果	50 ▼
05/11 17:35:07	05/11 18:13:12	38 分 5 秒	114.136.40.27	08:9F:71:0E:5F:0C	成功	
05/11 18:16:01	05/12 14:23:13	20 時間 07 分 11 秒	114.136.40.27	08:9F:71:0E:5F:0C	成功	
05/12 14:23:24	05/12 14:23:48	24 秒	114.136.40.27	08:9F:71:0E:5F:0C	成功	
05/12 14:24:00	05/12 14:42:44	18 分 44 秒	114.136.40.27	08:9F:71:0E:5F:0C	成功	
05/12 14:42:55	05/12 14:43:11	16 秒	114.136.40.27	08:9F:71:0E:5F:0C	成功	
05/12 14:43:16	05/12 14:43:19 [接続中]	2 秒	114.136.40.27	08:9F:71:0E:5F:0C	成功	

<< < 1 > >>

「接続元アドレス」は、クライアントが動作する端末のグローバル IP アドレスです。
「MAC アドレス」はクライアントが動作する端末の MAC アドレス（※）です。

※ クライアントプログラムのバージョンが 8.2r1 未満の場合、MAC アドレスは空欄になります。

■ ユーザとクライアントの両方の履歴を表示する

ビューアとクライアントのそれぞれがマジックコネクトサーバへ接続した履歴を混在させて表示します。

この表示状態では、各行の先頭に「種別」の列が追加されます。

「種別」が「viewer」の行は、ビューア（手元端末）の履歴です。この行の背景色は薄橙色です。

「種別」が「client」の行は、クライアント（接続先機器）の履歴です。この行の背景色は白色です。

① 「ビューアとクライアント」を選択します。

種別 ビューアのみ クライアントのみ **ビューアとクライアント**

認証結果 認証に成功した接続のみ 認証に失敗した接続のみ 全ての接続

拡張表示 接続先クライアントを表示 接続元ビューアを表示

② 「ユーザ」を指定します。

ユーザ user1

③ [表示内容を更新]を押します。

表示内容を更新

先頭列に「種別」が追加されます。

ユーザ名	user1	1 / 1 ページ目を表示中					表示数	50
種別	接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス	MACアドレス	認証結果		
viewer	05/11 15:17:35	05/11 15:21:44	4分8秒	114.138.212.7	00:0C:29:00:00:00	成功		
client	05/11 17:35:07	05/11 18:13:12	38分5秒	114.138.212.7	00:0C:29:00:00:00	成功		
client	05/11 18:16:01	05/12 14:23:13	20時間07分11秒	114.138.212.7	00:0C:29:00:00:00	成功		
client	05/12 14:23:24	05/12 14:23:48	24秒	114.138.212.7	00:0C:29:00:00:00	成功		
viewer	05/12 14:26:39	05/12 14:26:57	18秒	114.138.212.7	00:0C:29:00:00:00	成功		
viewer	05/12 14:27:12	05/12 14:27:50	37秒	114.138.212.7	00:0C:29:00:00:00	成功		
viewer	05/12 14:27:57	05/12 14:42:16	14分18秒	114.138.212.7	00:0C:29:00:00:00	成功		
client	05/12 14:24:00	05/12 14:42:44	18分44秒	114.138.212.7	00:0C:29:00:00:00	成功		
client	05/12 14:42:55	05/12 14:43:11	16秒	114.138.212.7	00:0C:29:00:00:00	成功		
viewer	05/12 14:56:17	05/12 14:56:22	4秒	114.138.212.7	00:0C:29:00:00:00	成功		
viewer	05/12 14:56:30	05/12 14:56:51	21秒	114.138.212.7	00:0C:29:00:00:00	成功		
client	05/12 14:43:16	05/12 14:56:56	13分39秒	114.138.212.7	00:0C:29:00:00:00	成功		

2.2. 認証エラーの履歴を表示する

マジックコネクトサーバの認証に成功した履歴だけでなく、認証エラーの履歴も含めて表示することができます。これにより、「認証結果」の列で認証結果が確認できます。

- 「認証結果」が「成功」の行
認証に成功した履歴です。
- 「認証結果」が「失敗：」で始まる行
認証エラーの履歴です。
「：」に続くメッセージが「認証エラーの理由」を表します。

「認証エラーの理由」に対処する方法は、マジックコネクトホームページ
(<https://www.magicconnect.net/>) より、[お客様サポート]-[マニュアル]-[ご利用中のトラブル関連]にある「[接続時に認証エラーが発生した場合の対処方法](#)」をご覧ください

① 「ビューアとクライアント」を選択します。

種別 ビューアのみ クライアントのみ ビューアとクライアント

認証結果 認証に成功した接続のみ 認証に失敗した接続のみ 全ての接続

拡張表示 接続先クライアントを表示

② 「全ての接続」を選択します。

ユーザ user1

③ 「ユーザ」の指定も可能です。

④ [表示内容を更新]を押します。

表示内容を更新

種別	接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス	MACアドレス	認証結果
viewer	05/11 15:17:29	05/11 15:17:29	-	114.136.21.27	70:97:70:11:70:70	失敗: 手元端末の端末認証情報が未登録のため、接続できません。 詳細
viewer	05/11 15:17:35	05/11 15:21:44	4 分 8 秒	114.136.21.27	70:97:70:11:70:70	成功
client	05/11 17:35:07	05/11 18:13:12	38 分 5 秒	114.136.21.27	70:97:70:11:70:70	成功
client	05/11 18:16:01	05/12 14:23:13	20 時間 07 分 11 秒	114.136.21.27	70:97:70:11:70:70	成功
client	05/12 14:23:24	05/12 14:23:48	24 秒	114.136.21.27	70:97:70:11:70:70	成功
viewer	05/12 14:25:20	05/12 14:25:20	-	114.136.21.27	70:97:70:11:70:70	失敗: MACアドレス制限により接続が拒否されました。 詳細
viewer	05/12 14:25:35	05/12 14:25:35	-	114.136.21.27	70:97:70:11:70:70	失敗: MACアドレス制限により接続が拒否されました。 詳細
viewer	05/12 15:18:10	05/12 15:18:10	-	114.136.21.27	70:97:70:11:70:70	失敗: MCビューアから送信されたパスワードと、サーバに登録されているパスワードが異なります。

「認証結果」が確認できます。

2.3. ビューア・クライアント間の接続履歴を表示する

ビューア（手元端末）からクライアント（接続先機器）への接続で利用された、リモートデスクトップや WOL 等のリモート操作アプリの履歴を表示できます。

② 「接続先クライアントを表示」及び「接続元ビューアを表示」にチェックを入れます。

① 「ビューアとクライアント」を選択します。

種別 ビューアのみ クライアントのみ **ビューアとクライアント**

認証結果 認証に成功した接続のみ 認証に失敗した接続のみ 全ての接続

拡張表示 **接続先クライアントを表示** **接続元ビューアを表示**

ユーザ user1

③ 「ユーザ」を指定します。

表示内容を更新 ④ [表示内容を更新]を押します。

種別	接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス	MACアドレス	認証結果	接続元ビューア or 接続先クライアント ⓘ
client	03/01 16:50:12	03/01 16:50:36	23 秒	124.146.214.200	08:15:39:39:13:A	成功	user1 3389 03/01 16:50:19 03/01 16:50:23 124.146.214.200 08:15:39:39:13:A
viewer	03/01 16:48:54	03/01 16:59:06	10 分 12 秒	124.146.214.200	08:0F:38:0F:55:DC	成功	user2 3389 03/01 16:49:36 03/01 16:49:50 124.146.214.200 08:0F:38:0F:55:DC
viewer	03/01 16:59:11	03/01 16:59:13	1 秒	124.146.214.200	08:0F:38:0F:55:DC	成功	user1 3389 03/01 16:50:19 03/01 16:50:23 124.146.214.200 08:0F:38:0F:55:DC
viewer	03/01 16:59:18	03/01 16:59:19	0 秒	124.146.214.200	08:0F:38:0F:55:DC	成功	user1 3389 03/01 16:50:19 03/01 16:50:23 124.146.214.200 08:0F:38:0F:55:DC
viewer	03/01 16:59:28	03/02 15:49:36	22 時間 50 分 07 秒	124.146.214.200	08:0F:38:0F:55:DC	成功	user.mc3000 5009 03/01 16:51:02 03/01 16:51:04 124.146.214.200 08:0F:38:0F:55:DC

拡張表示される部分

接続元ビューア or 接続先クライアント ⓘ

user1	3389	03/01 16:50:19	03/01 16:50:23	124.146.214.200	08:15:39:39:13:A
user2	3389	03/01 16:49:36	03/01 16:49:50	124.146.214.200	08:0F:38:0F:55:DC
user1	3389	03/01 16:50:19	03/01 16:50:23	124.146.214.200	08:0F:38:0F:55:DC
user.mc3000	5009	03/01 16:51:02	03/01 16:51:04	124.146.214.200	08:0F:38:0F:55:DC

ここをクリックすることで画面上で表の詳細が確認できます。

- 左から順番に以下の情報を表します。
- 接続元ビューア/接続先クライアントのユーザ名
(異なるユーザ間の接続では、強調表示されます。)
 - リモート操作アプリが使用したポート番号
(通常、リモートデスクトップの場合は「3389」、WOL の場合は「5009」です。)
 - ビューア・クライアント間の接続開始日時
 - ビューア・クライアント間の接続終了日時
 - 接続元ビューア/接続先クライアントのグローバル IP アドレス
 - 接続元ビューア/接続先クライアントの MAC アドレス

2.4. 利用時間をユーザごとに表示する

選択したユーザのリモートデスクトップ利用時間を、1ヶ月分表示します。

- (1) アクセス履歴画面で「利用時間をユーザごとに表示」タブをクリックします。

全てを表示 **利用時間をユーザごとに表示** 利用時間を日ごとに表示 アクセス履歴ダウンロード

ユーザのMagicConnectアクセス履歴を月単位で表示します。

表示年月 2022-03-02 16:15:39 +0900 時点

- (2) 「利用時間をユーザごとに表示」画面に切り替わります。

トップ	アクセス履歴	ユーザ管理	グループ化接続構成	管理機能利用設定	パスワード変更																																																							
<p>全てを表示 利用時間をユーザごとに表示 利用時間を日ごとに表示 アクセス履歴ダウンロード</p> <p>ユーザのリモートデスクトップ利用時間を1ヵ月単位で表示します。</p> <p>表示年月 <input type="text" value="2022-03"/> 2022-05-30 14:24:40 +0900 時点</p> <p>ユーザ <input type="text" value="ユーザ 999999a40001"/></p> <p>user.mc3000 表示内容を更新</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>利用時間</th> <th>開始</th> <th>終了</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>03/01(火)</td> <td>0 3 6 9 12 15 18 21 24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>03/02(水)</td> <td>0 3 6 9 12 15 18 21 24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>03/03(木)</td> <td>0 3 6 9 12 15 18 21 24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>03/04(金)</td> <td>0 3 6 9 12 15 18 21 24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>03/05(土)</td> <td>0 3 6 9 12 15 18 21 24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>03/06(日)</td> <td>0 3 6 9 12 15 18 21 24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>03/07(月)</td> <td>0 3 6 9 12 15 18 21 24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>03/08(火)</td> <td>0 3 6 9 12 15 18 21 24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>03/09(水)</td> <td>0 3 6 9 12 15 18 21 24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>03/10(木)</td> <td>0 3 6 9 12 15 18 21 24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>						日付	利用時間	開始	終了	計	03/01(火)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-	03/02(水)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-	03/03(木)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-	03/04(金)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-	03/05(土)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-	03/06(日)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-	03/07(月)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-	03/08(火)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-	03/09(水)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-	03/10(木)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-
日付	利用時間	開始	終了	計																																																								
03/01(火)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-																																																								
03/02(水)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-																																																								
03/03(木)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-																																																								
03/04(金)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-																																																								
03/05(土)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-																																																								
03/06(日)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-																																																								
03/07(月)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-																																																								
03/08(火)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-																																																								
03/09(水)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-																																																								
03/10(木)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-																																																								

(3) 「表示年月」をクリックします。

The screenshot shows the top navigation bar with 'トップ', 'アクセス履歴', 'ユーザ管理', and 'グループ化接続構成'. Below it, there are tabs for '全てを表示', '利用時間をユーザごとに表示', '利用時間を日ごとに表示', and 'アクセス履歴ダウンロード'. The main content area has a heading 'ユーザのリモートデスクトップ利用時間を1か月単位で表示します' and a callout box 'クリックします。' pointing to the '表示年月' field which contains '2022-03'. To the right of this field is a calendar icon and a timestamp '2022-03-02 16:29:48 +0900 時点'. Below this is a 'ユーザ' dropdown menu set to 'user.mc3000' and a blue button '表示内容を更新'.

(4) 利用時間を確認したい年月をカレンダーから選択します。

カレンダー上部の矢印をクリックすることで、前後の年を選択することができます。

The screenshot shows the same interface as above, but with a calendar overlay. The calendar header shows '2022' and a left-pointing arrow '«' which is highlighted with a red box and a callout box 'クリックします。'. The calendar grid shows months from 1月 to 12月. The '表示年月' field now contains '2022-03' and the timestamp is '2022-05-30 14:24:40 +0900 時点'. The 'ユーザ' dropdown remains 'user.mc3000' and the '表示内容を更新' button is still present.

(5) 利用時間を確認したいユーザをプルダウンメニューから選択します。

[全てを表示](#)
[利用時間をユーザごとに表示](#)
[利用時間を日ごとに表示](#)
[アクセス履歴ダウンロード](#)

ユーザのリモートデスクトップ利用時間を1か月単位で表示します。

表示年月: 2022-03-02 16:17:31 +0900 時点

ユーザ

ユーザ

user.mc3000

user.mc3000

user1

user2

user3

user4

user5

更新

開始

日付	0	3	21	24	開始
03/01(火)	0	3			
03/02(水)	0	3	21	24	-
03/03(木)	0	3	21	24	-

ユーザを検索で絞り込むこともできます。

利用時間を確認したいユーザを選択します。

注意) 管理下に 5000 アカウント以上存在する場合は、アカウントの一覧が表示されません。確認したいユーザを検索することでユーザを指定できます。

ユーザ

ユーザ名を入力してください

The results could not be loaded.

更新

ユーザを検索してください。

利用時間が日を跨いだ場合、開始時刻または終了時刻に「*」が表示されます。

「*」にマウスカーソルを重ねると説明が表示されます。

下図の場合、2/22(火)の利用時間が日を跨でいる為、終了時刻が「24:00*」と表示されます。

2/23(水)は前日の2/22(火)から日を跨いでいる為、開始時刻が「00:00*」と表示されます。



2.5. 利用時間を日ごとに表示する

選択した日付の全てのユーザの利用時間を表示します。

- (1) アクセス履歴画面で「利用時間をユーザごとに表示」タブをクリックします。

全てを表示 利用時間をユーザごとに表示 **利用時間を日ごとに表示** アクセス履歴ダウンロード

ユーザのMagicConnectアクセス履歴を月単位で表示します。

表示年月 2022-03-02 16:15:39 +0900 時点

- (2) 「利用時間を日ごとに表示」画面に切り替わります。

トップ **アクセス履歴** ユーザ管理 グループ化接続構成 管理機能利用設定 パスワード変更

全てを表示 利用時間をユーザごとに表示 **利用時間を日ごとに表示** アクセス履歴ダウンロード

選択した日付における全てのユーザのリモートデスクトップ利用時間を表示します。

表示年月日 2022-05-30 14:55:53 +0900 時点

[表示内容を更新](#)

1 / 2 ページ目を表示中 表示数

ユーザ	利用時間	開始	終了	計
user.mc3000		-	-	-
user1		-	-	-
user2		-	-	-
user3		-	-	-
user4		-	-	-
user5		-	-	-
user6		-	-	-

利用時間を確認したい日付をクリックすると、確認する日付を変更できます。

(3) 「表示年月日」を選択します。

[全てを表示](#) [利用時間をユーザごとに表示](#) [利用時間を日ごとに表示](#) [アクセス履歴ダウンロード](#)

選択した日付における全てのユーザのリモートデスクトップ利用 [クリックします。](#)

表示年月日  2022-05-30 14:55:53 +0900 時点

[表示内容を更新](#)

(4) 確認したい利用時間の日付をクリックします。

カレンダー上部の矢印をクリックすると、別の月に遷移することができます。


MAGIC CONNECT Neo 官埋機能
マジックコネクト・ネオ

[<<](#) **2022年05月** [>>](#)

日	月	火	水	木	金	土
24	25	26	27	28	29	30
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

[全てを表示](#) [利用](#) [利用時間を日ごとに表示](#) [アクセス履歴ダウンロード](#)

選択した日付における [クリックします。](#)

表示年月日  2022-05-30 14:55:53 +0900 時点

[表示内容を更新](#)

2.6. アクセス履歴ダウンロード(CSV形式)

3種類のアクセス履歴を、CSV形式でダウンロードできます。

- サーバへの接続履歴
- ビューア・クライアント間の接続履歴
- 利用時間データ

(1) アクセス履歴画面で「アクセス履歴ダウンロード」タブをクリックします。

The screenshot shows the top navigation bar with four tabs: '全てを表示', '利用時間をユーザーごとに表示', '利用時間を日ごとに表示', and 'アクセス履歴ダウンロード' (highlighted with a red box). Below the tabs, there is a section for 'ユーザのMagicConnectアクセス履歴を月単位で表示します。' with a '表示年月' field set to '2022-03' and a date-time display '2022-03-02 19:09:06 +0900 時点'. Underneath, there are radio button options for '種別' (Pure viewer only, Client only, Both) and '認証結果' (Successful authentication only, Failed authentication only, All connections).

(2) 「アクセス履歴ダウンロード」画面に切り替わります。

The screenshot shows the 'アクセス履歴ダウンロード(CSV形式)' page. At the top, there is a navigation bar with tabs: 'トップ', 'アクセス履歴' (selected), 'ユーザ管理', 'グループ化接続構成', '管理機能利用設定', and 'パスワード変更'. Below the tabs, there are four sub-tabs: '全てを表示', '利用時間をユーザーごとに表示', '利用時間を日ごとに表示', and 'アクセス履歴ダウンロード' (selected). The main content area has a title 'アクセス履歴ダウンロード(CSV形式)' and a description: '指定した期間のアクセス履歴データのCSVファイルをダウンロードできます。対象年月を選択して「指定対象のダウンロードリンクを表示」ボタンを押してください。' There is a '対象年月' field set to '2022-05' and a blue button '指定対象のダウンロードリンクを表示'. Below this, a blue bar shows '対象年月 2022-05' and '対象アカウント管理者 ms9999999a00000'. A note says '下記のダウンロードリンクから対象期間のCSVファイルのダウンロードが行えます。' and there are three sections of download links: 'サーバへの接続履歴をダウンロード' (with link 'history_base_202205_1.csv : 1~10000件'), 'ビューア・クライアント間の接続履歴をダウンロード' (with link 'history_remote_202205_1.csv : 1~10000件'), and '利用時間データをダウンロード' (with link 'history_usage_202205_1.csv : 1~10000件').

2.6.1. 「サーバへの接続履歴」をCSV形式でダウンロードする

ビューア及びクライアントがマジックコネクトサーバへ接続した履歴を CSV 形式でダウンロードします。この履歴には認証エラーの履歴も含まれます。

全てを表示
利用時間をユーザごとに表示
利用時間を日ごとに表示
アクセス履歴ダウンロード

アクセス履歴ダウンロード(CSV形式)

指定した期間のアクセス履歴データのCSVファイルをダウンロードできます。
対象年月を選択して「指定対象のダウンロードリンクを表示」をクリックしてください。

対象年月 ① 年月を選択します。

指定対象のダウンロードリンクを表示

対象年月	2022-03	対象アカウント管理
<div style="border: 1px solid yellow; padding: 5px; display: inline-block;">② [指定対象のダウンロードリンクを表示]を押します。</div>		

下記のダウンロードリンクから対象期間のCSVファイルをダウンロードしてください。

- **サーバへの接続履歴をダウンロード**
 - history_base_202203_1.csv : 1~10000件 ③ 「サーバへの接続履歴」をクリックすると、ダウンロードが開始されます。
- **ビューア・クライアント間の接続履歴をダウンロード**
 - [history_remote_202203_1.csv : 1~10000件](#)
- **利用時間データをダウンロード**
 - [history_usage_202203_1.csv : 1~10000件](#)

■ 「サーバへの接続履歴」の項目について

「サーバへの接続履歴」 CSV ファイルの各項目を説明します。

列	CSV の項目名	説明
1	Manager	アカウント管理者のユーザ名。
2	User	ユーザ名。
3	Type	ビューアとクライアントのどちらの履歴か。 「Viewer」：ビューアの履歴 「Agent」：クライアントの履歴
4	Start	接続の開始日時。 ※1
5	Finish	接続の終了日時。 ※1
6	Length	接続の開始から終了までの時間（単位は秒）。
7	IP address	ビューアやクライアントが動作する端末のグローバル IP アドレス。
8	MAC address	ビューアやクライアントが動作する端末の MAC アドレス。 ※2
9	Login result	認証結果。 「success」：認証に成功した履歴。 「failure」：認証に失敗した履歴。
10	Failure reason (Error code)	認証失敗理由。認証成功の場合は「-」

※1 日時のフォーマットは「西暦年-月-日 時:分:秒」（例: 2014-09-17 21:32:29）です。

ただし、エクセルで開いた場合、表示上のフォーマットはエクセルの設定に従いますのでご注意ください。（例: 2014/9/17 21:32）

※2 端末に有効な MAC アドレスが複数存在する場合（例: 端末に有線 LAN 機能と無線 LAN 機能の 2 つが存在する場合）、それぞれの MAC アドレスは縦棒「|」で連結されます。

ビューアやクライアントのバージョンが 8.2r1 未満の場合、空になります。

iOS と Android の場合、ビューアのバージョンが 8.2r1 以降であっても、OS の制約から固定値「02-00-00-00-00-00」になります。

2.6.2. 「ビューア・クライアント間の接続履歴」を CSV 形式ファイルでダウンロードする
 リモートデスクトップや WOL 等のリモート操作アプリによる、ビューア・クライアント間（手元端末から接続先機器）の接続履歴を CSV 形式でダウンロードします。

全てを表示 利用時間をユーザごとに表示 利用時間を日ごとに表示 **アクセス履歴ダウンロード**

アクセス履歴ダウンロード(CSV形式)

指定した期間のアクセス履歴データのCSVファイルをダウンロードできます。
 対象年月を選択して「指定対象のダウンロードリンクを表示」ボタンを押してください。

対象年月 ① 年月を選択します。

指定対象のダウンロードリンクを表示

対象年月	2022-03	対象アカウント管理者	account.admin
------	---------	------------	---------------

下記のダウンロードリンクから対象期間のCSVファイル ② [指定対象のダウンロードリンクを表示]を押します。

- **サーバへの接続履歴をダウンロード**
 - history_base_202203_1.csv : 1~10000件
- **ビューア・クライアント間の接続履歴をダウンロード**
 - history_remote_202203_1.csv : 1~10000件** ③ 「ビューア・クライアント間の接続履歴」をクリックすると、ダウンロードが開始されます。
- **利用時間データをダウンロード**
 - history_usage_202203_1.csv : 1~10000件

■ 「ビューア・クライアント間の接続履歴」の項目について

「ビューア・クライアント間の接続履歴」 CSV ファイルの各項目を説明します。

列	CSV の項目名	説明
1	Viewer manager	接続元ビューアのアカウント管理者。
2	Viewer user	接続元ビューアのユーザ名。
3	Viewer IP address	接続元ビューアが動作する端末のグローバル IP アドレス。
4	Viewer MAC address	接続元ビューアが動作する端末の MAC アドレス。 ※1
5	Agent manager	接続先クライアントのアカウント管理者。
6	Agent user	接続先クライアントのユーザ名。
7	Agent IP address	接続先クライアントが動作する端末のグローバル IP アドレス。
8	Agent MAC address	接続先クライアントが動作する端末の MAC アドレス。 ※1
9	Dest port	リモート操作アプリが使用した接続先ポート番号。 通常、リモートデスクトップの場合は「3389」、WOL の場合は「5009」。
10	Start	ビューア・クライアント間接続の開始日時。 ※2
11	Finish	ビューア・クライアント間接続の終了日時。 ※2
12	Length	ビューア・クライアント間接続の開始から終了までの時間（単位は秒）。

※1 端末に有効な MAC アドレスが複数存在する場合（例：端末に有線 LAN 機能と無線 LAN 機能の 2 つが存在する場合）、それぞれの MAC アドレスは縦棒「|」で連結されます。

ビューアやクライアントのバージョンが 8.2r1 未満の場合、空になります。

iOS と Android の場合、ビューアのバージョンが 8.2r1 以降であっても、OS の制約から固定値「02-00-00-00-00-00」になります。

※2 日時のフォーマットは「西暦年-月-日 時:分:秒」（例：2014-09-17 21:32:29）です。

ただし、エクセルで開いた場合、表示上のフォーマットはエクセルの設定に従いますのでご注意ください。（例：2014/9/17 21:32）

2.6.3. 全てのユーザの利用時間を CSV 形式でダウンロードする

指定した年月の全てのユーザの利用時間を、CSV 形式でダウンロードすることができます。

全てを表示 利用時間をユーザごとに表示 利用時間を日ごとに表示 **アクセス履歴ダウンロード**

アクセス履歴ダウンロード(CSV形式)

指定した期間のアクセス履歴データのCSVファイルをダウンロードできます。
対象年月を選択して「指定対象のダウンロード」をクリックしてください。

① 年月を選択します。

対象年月

指定対象のダウンロードリンクを表示

対象年月	2022-03	対象アカウント管理者	account.admin
------	---------	------------	---------------

② [指定対象のダウンロードリンクを表示]を押します。

下記のダウンロードリンクから対象期間のCSVファイル

- **サーバへの接続履歴をダウンロード**
 - history_base_202203_1.csv : 1~10000件
- **ビューア・クライアント間の接続履歴をダウンロード**
 - history_remote_202203_1.csv : 1~10000件
- **利用時間データをダウンロード**
 - history_usage_202203_1.csv : 1~10000件

③ 「利用時間データをダウンロードする」をクリックすると、ダウンロードが開始されます。

■ 「利用時間データ」の項目について。

「利用時間データ」CSV ファイルの各項目を説明します。

列	CSV の項目名	説明
1	Date	日付。※1
2	User	ユーザ名。
3	Start	リモートアクセス開始時刻。※2 ※3
4	Finish	リモートアクセス終了時刻。※2 ※3
5	Total	リモートアクセスしていた時間の合計。※2

※1 日付のフォーマットは「西暦年/月/日」(例:2018/01/24)です。

※2 Start, Finish, Total に「-」が出力された行が含まれる場合があります。これは、該当する日にそのユーザの接続が無いことを表します。

例) 「2018/01/05, user001, -, -, -」 ユーザ user001 による接続が存在しない。

※3 Start, Finish の時刻に「*」が付いた行が含まれる場合があります。これは、日を跨いだ接続を表します。

例) 「2018/02/25, user002, 9:25, 24:00*, 14:35」 ユーザ user002 による接続が日を跨いでいる。

3. ユーザ管理

本機能を利用することで一般ユーザの設定を変更できます。

3.1. 管理する一般ユーザを一覧で表示する	30
3.2. 契約情報を確認する	32
3.3. 利用可能なアプリケーションと台数を変更する	33
3.4. ビューアをインストールした手元端末を変更する	38
3.5. 一般ユーザのアカウントロックを手動で解除する	41
3.6. ビューア・クライアントの接続状況を確認する	44
3.7. ビューア・クライアントを強制切断する	45
3.8. 一般ユーザのパスワードを変更する	46
3.9. マジックコネクトを利用できるネットワークや端末を限定する	48
3.9.1. マジックコネクトを利用できるネットワークをグローバル IP アドレスで限定する	49
3.9.2. マジックコネクトを利用できる端末を MAC アドレスで限定する	52
3.9.3. マジックコネクトを利用できる端末をウイルス対策された端末のみに限定する	55
3.10. アプリケーションの機能制限を変更する	57
3.10.1. モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)の手元端末へのパスワード保存を許可/禁止する	58
3.10.2. デバイス共有を許可/禁止する	60
3.11. 複数ユーザの設定をまとめて操作する	64
3.11.1. 「一括操作」画面を表示する	65
3.11.2. 利用許可設定を一括で設定する	66
3.11.3. 端末認証情報を一括で初期化する	73
3.11.4. アプリケーションの詳細設定を一括で設定する	76
3.12. ユーザの契約情報を確認する	89
3.13. ユーザが利用しているビューアとクライアントの種別とバージョンを確認する	91

3.1. 管理する一般ユーザを一覧で表示する

自身が管理するユーザを一覧で確認したい場合に本機能を利用します。

(1) ユーザ一覧を表示するには、トップ画面から「ユーザ管理」をクリックします。



(2) 「一般ユーザ一覧」画面に切り替わります。

The screenshot shows the '一般ユーザ一覧' (General User List) page. A red box highlights the summary section and the table. Callouts provide additional information:

- 契約ユーザ数（一般ユーザの数）が表示されます。「BCP あんしんサービス」の契約ユーザ数は、「BCP あんしんサービス」の契約がある場合のみ表示されます
- 「BCP あんしんサービス」の契約ユーザ数は、「BCP あんしんサービス」の契約がある場合のみ表示されます
- 契約 ID が確認できます。
- 一般ユーザの一覧が表示されます。

契約 ID : 123456789

ユーザ名 ▲	タイプ	USBロット番号	サービス提供開始日	サービス解約日	BCP
account.a	USB型	dummysnumber1	2021-01-02	-	-
account.b	USB型	dummysnumber2	2021-01-02	-	-
account.c	アプリ型	-	2021-01-02	-	-
account.d	アプリ型	-	2021-01-02	-	○
account.e	アプリ型ライト	-	2021-01-02	-	-

Navigation: << < 1 > >>

■ユーザー一覧画面の表示内容を説明します。

列	項目名	説明
1	ユーザー名	ユーザー名。
2	タイプ	契約のタイプ。
3	USB ロット番号	USB キーのロット番号。 ※1
4	サービス提供開始日	利用可能になる日付。 ※2
5	サービス解約日	解約日。 ※2 ※3
6	BCP	BCP あんしんサービスの加入状況。 ※4

※1 USB 型/USB 型プレミアム以外の契約では「-」が表示されます。

※2 日付のフォーマットは「西暦年-月-日」(例: 2022-01-01)です。

※3 解約予定のないユーザは「-」が表示されます。

※4 加入している場合は「○」、加入していない場合は「-」が表示されます。

3.2. 契約情報を確認する

ユーザの契約内容、有効期限などを確認するために本機能を利用します。

(1) 契約情報を確認したいユーザを選択します。

アカウント目録名account.adminに所属するユーザ一覧を表示しています。
ユーザの詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

契約ID: 000000

検索

ユーザ名	タイプ	USBロット番号			
user1	USB型	0000#00000			
user2			2022-01-01	-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user5	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user6	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-

検索で絞り込むこともできます。

ユーザ名を押します。

(2) 画面が切り替わり、選択したユーザの契約情報が確認できます。

user1

選択したユーザ名が表示されます。

一般ユーザuser1の詳細を表示しています。

ご契約情報

タイプ	USB型	契約のタイプが表示されます。
USBロット番号	0000#00000	利用可能なUSBのロット番号が表示されます。
利用可能な端末数	2台の端末を登録してご利用いただけます。	ビューアアプリケーションをインストールして利用可能な手元端末の上限数が表示されます。
サービス提供開始日	2022-01-01	利用開始日が表示されます
サービス解約日	-	解約日が表示されます。
BCPあんしんサービス	-	BCP あんしんサービスの加入状況が表示されます。加入している場合は「加入中」、加入していない場合は「-」が表示されます。

3.3. 利用可能なアプリケーションと台数を変更する

利用可能なアプリケーションや利用可能な台数の変更をする場合に本機能を利用します。

以下のアプリケーションについて個別に利用可否を設定できます。手元端末にインストールして利用するビューアアプリケーションについては契約の範囲で利用可能な台数を変更できます。

- 手元端末の [ビューア]
 - USB タイプ (※契約のタイプが USB 型/USB 型プレミアムの場合のみ)
 - インストールタイプ
 - デスクトップ (Windows/Mac)
 - モバイル (iPhone/iPad、Android 端末)
- 接続先機器 (対象機器、オフィス PC) の [クライアント]
- [管理機能]

(1) 確認・変更したいユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
ユーザーの詳細を表示するにはユーザー名をクリックしてください。

一括操作

契約ID: 000000

ユーザ名	タイプ	USBロット番号	サービス提供開始日	サービス解約日	BCP
user1	USB型	0000#00000			
user2	USB型				

検索で絞り込むこともできます。

ユーザ名を押します。

(2) 「利用可能なアプリケーション」を確認します。

利用可能なアプリケーション

ビューア (手元端末)	USBタイプ USBキーを挿して使います	利用可能です	利用を禁止	
	インストールタイプ 端末にインストールして使います	デスクトップ Windows/Mac用	利用可能です	利用を禁止
		モバイル iOS/Android用	利用可能です	利用を禁止
		利用可能な端末数を <input type="text" value="0"/> 台に制限する (最大2台)		適用
クライアント (接続先機器)	利用可能です	利用を禁止		
管理機能	利用可能です	利用を禁止		

※ 「ビューア (手元端末)」「インストールタイプ」の「利用可能な端末数」について

ビューアアプリケーションを手元端末にインストールして利用する場合、初回ログイン時に手元端末の固有情報 (端末認証情報) がサーバへ登録されます。

利用可能な端末数まで手元端末が登録されると、新しい手元端末からはログインできなくなります。

- 利用可能な端末数は契約の範囲 (下の表に記載の範囲) で変更が可能です。
- 端末数の内訳に制限はありません。利用可能な端末数が3台の場合、「Windows と iPhone と iPad」、「iPhone2台と Android 端末1台」など自由な組み合わせが可能です。

「USB型」契約 「USB型プレミアム」契約	0~2台 (初期状態は0台) (手元端末にビューアアプリケーションをインストールして使う場合の台数です。USBキーを挿してビューアアプリケーションを起動する場合は無制限に利用できます。)
「アプリ型」契約 「アプリ型プレミアム」契約	0~3台 (初期状態は1台)
「アプリ型ライト」契約	0~1台 (初期状態は1台)

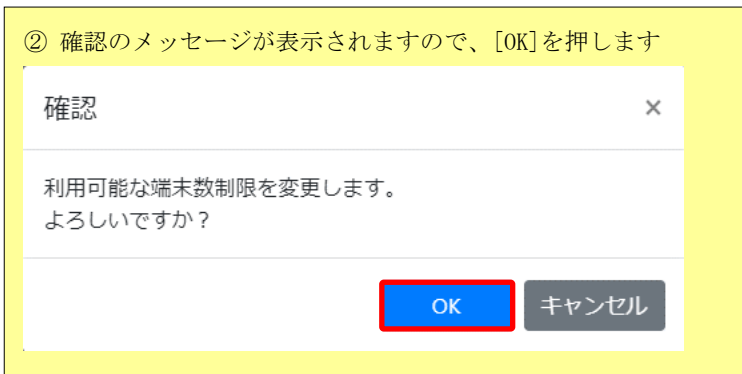
■アプリケーションの利用可能台数を変更する

※ 実際に利用するよりも多い台数を指定すると、ユーザ名とパスワードだけでビューアを利用可能な枠が生じます。第三者による悪用を防止するため、必要以上の台数を指定した状態を長期間放置しないでください。

利用可能なアプリケーション

ビューア (手元端末)	USBタイプ USBキーを押して使います	利用可能です	利用を禁止	
	インストールタイプ 端末にインストールして使います	デスクトップ Windows/Mac用	利用可能です	利用を禁止
		モバイル iOS/Android用	利用可能です	利用を禁止
		利用可能な端末数を <input type="text" value="0"/> 台に制限する (最大2台)		適用
クライアント (接続先機器)	① 数値を変更します。	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/>	利用を禁止	
管理機能	利用可能です		② [適用]を押します。 利用を禁止	

② 確認のメッセージが表示されますので、[OK]を押します

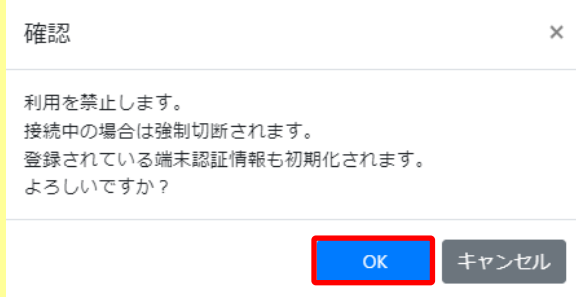


■アプリケーションの利用を禁止する

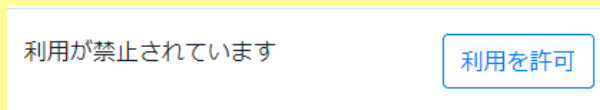
利用可能なアプリケーション

ビューア (手元端末)	USBタイプ USBキーを押して使います	利用可能です	利用を禁止	
	インストールタイプ 端末にインストールして使います	デスクトップ Windows	利用可能です	利用を禁止
		モバイル iOS/Android用	利用可能です	利用を禁止
		利用可能な端末数を <input type="text" value="0"/> 台に制限する (最大2台)		適用
クライアント (接続先機器)	利用可能です	利用を禁止		
管理機能	利用可能です	利用を禁止		

② 確認のメッセージが表示されますので、[OK]を押します。



③ 更新に成功すると「利用が禁止されています」と表示されます。

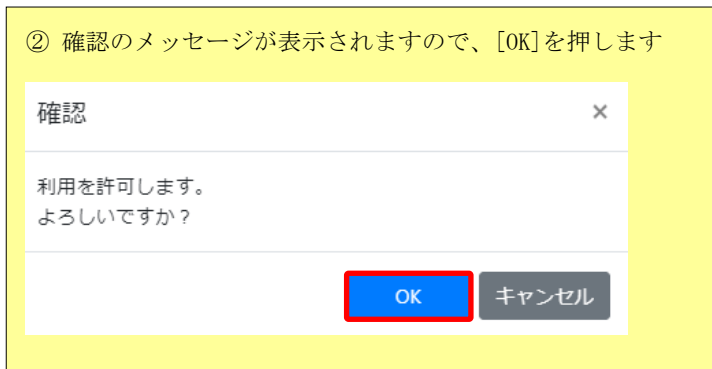


■アプリケーションの利用を許可する

| 利用可能なアプリケーション

ビューア (手元端末)	USBタイプ USBキーを押して使います	利用が禁止されています	利用を許可
	インストールタイプ 端末にインストールして使います	デスクトップ Windows/Mac用	① [利用を許可]を押します。 利用を禁止
		モバイル iOS/Android用	利用可能です 利用を禁止
	利用可能な端末数を <input type="text" value="0"/> 台に制限する (最大2台)		適用
クライアント (接続先機器)	利用可能です	利用を禁止	
管理機能	利用可能です	利用を禁止	

② 確認のメッセージが表示されますので、[OK]を押します



3.4. ビューアをインストールした手元端末を変更する

ビューアアプリケーションを手元端末にインストールして利用する場合、初回ログイン時に手元端末の固有情報（端末認証情報）がサーバへ登録されます。

利用可能な端末数まで手元端末が登録されると、新しい手元端末からはログインできなくなります。新しい手元端末からログインできるようにするには次の何れかの操作が必要です。

- a. 利用可能な端末数が契約の上限に達していない場合、利用可能な端末数を増やす。
- b. サーバに登録された端末認証情報を初期化する（登録を解除する）。

利用可能な端末数を増やす手順については [3.3. 利用可能なアプリケーションと台数を変更する](#) をご確認ください。

ここでは、サーバに登録された端末認証情報を初期化する（登録を解除する）手順をご案内します。

なお、初期化時にサーバへ接続中の手元端末は、接続を解除するまで利用を継続できます。

■ 端末認証情報の登録状況を確認する

- (1) 確認したいユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
ユーザの詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

一括操作

契約ID: 000000

検索

ユーザ名	タイプ	USBロット番号	サービス提供開始日	サービス解約日	BCP
user1	USB型	0000#00000			
user2	USB型	0000#00001	2022-01-01	-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user5	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-

検索で絞り込むこともできます。

ユーザ名を押します。

(2) 「ビューア（手元端末）」「インストールタイプ」の「利用可能な端末数」を確認します。

利用可能なアプリケーション

ビューア（手元端末）	インストールタイプ 端末にインストールして使います	デスクトップ Windows/Mac用	利用可能です	利用を禁止
		モバイル iOS/Android用	利用可能です	利用を禁止
		利用可能な端末数を <input type="text" value="1"/> 台に制限する (最大3台)		適用
クライアント（接続先機器）	利用可能です			利用を禁止
管理機能	利用可能です			利用を禁止

(3) 「端末認証情報の登録状況」を確認します。

端末認証情報の登録状況

デスクトップ登録済み 端末名：20017109-0 端末のOS：Windows 登録時刻：2022-03-02 15:42:05 +0900	初期化
---	-----

登録されている台数分の情報が表示されます。

（上記の例は Windows/Mac の場合です。iPhone/iPad、Android 端末の場合は「モバイル登録済み」と表示されます。）

「利用可能な端末数」の数まで端末認証情報が登録されていると、新しい手元端末からはログインできません。

■登録されている端末を初期化する

(1) 端末認証情報の登録を解除したい端末の[初期化]ボタンを押します。

| 端末認証情報の登録状況

デスクトップ登録済み

端末名 : 20017109-0

端末のOS : Windows

登録時刻 : 2022-03-02 15:42:05 +0900

① [初期化]を押します。

初期化

② 確認のメッセージが表示されますので、[OK]をします。

確認

×

サーバに登録されている端末認証情報が初期化されます。
よろしいですか？

OK

キャンセル

3.5. 一般ユーザのアカウントロックを手動で解除する

一般ユーザの管理機能へのログインが無効化（アカウントロック）され、自動解除がされる前に手動で解除する場合に、本機能を利用します。

管理機能へのログイン時にユーザ名、あるいはパスワードが誤っていると「ユーザ名またはパスワードに誤りがあります。」のメッセージが表示されます。

連続して5回失敗すると、そのユーザ名によるログインは約30分間無効化されます。

連続して5回失敗すると・・・

アカウントがロック

ユーザ名とパスワードを入力してください。

※アカウント管理者でログインする場合は、アカウント管理者のユーザ名を入力してください。

ユーザ名とパスワードを入力してください。

※アカウント管理者でログインする場合は、アカウント管理者のユーザ名を入力してください。

ユーザ名またはパスワードに誤りがあります。

ユーザ名

パスワード

ログイン

このアカウントは一時的な無効状態です。

ユーザ名

パスワード

ログイン



- 同じユーザ名でログイン失敗を5回繰り返すと、アカウントが一時的に無効化されます。
- アカウントが一時的な無効化状態になると、自動解除されるまで待機するか管理者が解除操作を実施するまで管理機能へログインできなくなります。



- ログイン失敗が繰り返されたため、管理機能へのログインが一時的に無効化されています。
- 管理機能にログインするためには、無効化状態が自動解除されるまで待機するか管理者に解除操作を依頼する必要があります。

ロックが解除されるまで、管理画面にログインできなくなります。

なお、ログイン無効化は、マジックコネクトのビューアとクライアントの接続認証には影響を与えません。マジックコネクトはこれまで通りご利用いただけます。

(1) アカウントロックを解除するユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
ユーザの詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

一括操作

契約ID : 000000

検索

ユーザ名	タイプ	USBロット番号	RCP
user1	USB型	0000#00000	検索で絞り込むこともできます。		
user2	US				
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user5	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user6	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user7	対象機器専用	-	2022-01-01	-	○
user.mc3000	対象機器専用	-	2022-01-01	-	-

<<
<
1
>
>>

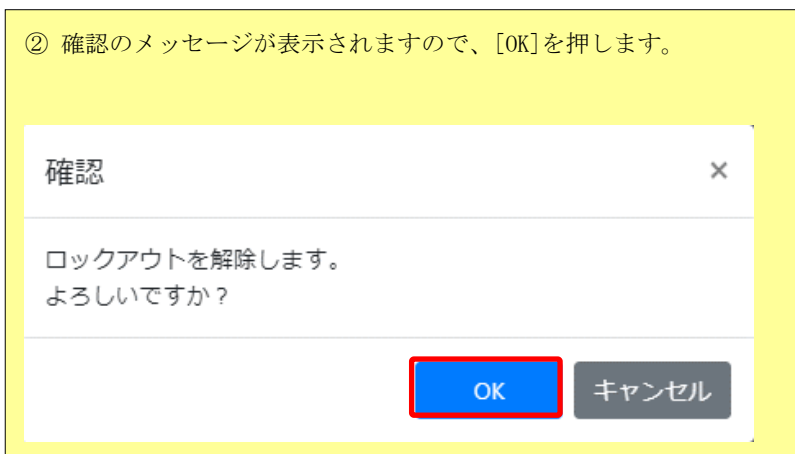
ユーザ名を押します。

(2) 利用可能なアプリケーションで管理機能の[ロックアウトを解除]ボタンを押します。

利用可能なアプリケーション

ビューア (手元端末)	USBタイプ <small>USBキーを押して使います</small>	利用可能です	利用を禁止	
	インストールタイプ <small>端末にインストールして使います</small>	デスクトップ <small>Windows/Mac用</small>	利用可能です	利用を禁止
		モバイル <small>iOS/Android用</small>	利用可能です	利用を禁止
		利用可能な	① [ロックアウトを解除]を押します。	
クライアント (接続先機器)	利用可能です		利用を禁止	
管理機能	ログイン失敗を繰り返したため、一時的にロックアウトされています。 ロックアウト時刻：2022-06-26 20:12:47 +0900		ロックアウトを解除	

② 確認のメッセージが表示されますので、[OK]を押します。



3.6. ビューア・クライアントの接続状況を確認する

ビューアとクライアントの接続状況を確認する場合に本機能を利用します。

- (1) 接続状況を確認したいユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
ユーザーの詳細を表示するにはユーザー名をクリックしてください。

一括操作

契約ID : 000000

検索

ユーザ名	タイプ	USBロット番号	サービス提供開始日	サービス解約日	RCP
user1	USB型	0000#00000			
user2	USB型			-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-

検索で絞り込むこともできます。

ユーザ名を押します。

- (2) 「接続状況」を確認します。

接続状況	
ビューア (手元端末)	現在接続されていません。
クライアント (接続先機器)	現在接続されていません。

接続中の場合は、以下のように接続開始時刻と[切断]ボタンが表示されます。

接続状況	
ビューア (手元端末)	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> 現在接続されています。 接続開始時刻 2022-03-01 16:59:28 +0900 切断 </div>
クライアント (接続先機器)	現在接続されていません。

3.7. ビューア・クライアントを強制切断する

ビューアまたはクライアントの接続を強制的に切断したい場合に本機能を利用します。

- (1) 強制切断したいユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
ユーザの詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

一括操作

契約ID : 000000

検索

ユーザ名	タイプ	USBロット番号	サービス提供開始日	サービス解約日	BCP
user1	USB型	0000#00000			
user2	USB型			-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user5	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user6	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
...	対象機器専用	-	2022-01-01	-	-

検索で絞り込むこともできます。

ユーザ名を選択します。

- (2) 接続状況から切断したいビューアまたはクライアントの[切断]ボタンを押します。

接続状況

ビューア (手元端末)	現在接続されています。 接続開始時刻 2022-03-01 16:59:28 +0900	切断
クライアント (接続先機器)	現在接続されていません。	① [切断]を押します。

② 確認のメッセージが表示されますので、[OK]を押します。

確認 ×

強制切断されます。
よろしいですか？

OK
キャンセル

3.8. 一般ユーザのパスワードを変更する

管理する一般ユーザのパスワードを変更する場合に本機能を利用します。

パスワードは以下の条件を満たす必要があります。

- パスワードの長さは、10～255 文字であること
- パスワードは、半角の英大小文字と、数字または記号を含むこと

例：パスワード例と登録可否

パスワード	可否	説明
abCdefghi2	OK	—
a123456789	OK	—
abcdefghi%	OK	—
abc#defgh2	OK	—
123456789#	OK	—
Abcd2	NG	パスワードの長さが 10 文字未満のため
abCDEfghij	NG	パスワードの長さは 10 文字以上ですが、英字のみで構成されているため
0123456789	NG	パスワードの長さは 10 文字以上ですが、数字のみで構成されているため

注 意

- マジックコネクトサーバに登録しているパスワードを変更した場合、マジックコネクトサーバに接続中のビューアやクライアントには影響を及ぼしません。
新しいパスワードは、次回の接続認証から有効となります。
- 一般ユーザには、クライアントに保存されているパスワードを新しいパスワードへ変更するように伝えてください。
変更しないと、マシンを再起動した場合、マジックコネクトを利用できなくなります。

- (1) パスワードを変更するユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
ユーザの詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

一括操作

契約ID : 000000

検索

ユーザ名	タイプ	USBロット番号	登録提供開始日	登録解約日	BCP
user1	USB型	0000#00000	-	-	-
user2	USB型	-	-	-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user5	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user6	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user7	対象機器専用	-	2022-01-01	-	○
user.mc3000	対象機器専用	-	2022-01-01	-	-

<< < 1 > >>

- (2) パスワードの変更の「新しいパスワード」と「新しいパスワード (確認)」に新しいパスワードを入力して[パスワードを変更]ボタンを押します。

パスワードの変更

パスワード

(半角の英大文字、数字、記号で、長さは10文字以上)

パスワードを変更

② [パスワードを変更]を押します。

① 「新しいパスワード」と「新しいパスワード (確認)」に、新しいパスワードを入力します。

3.9. マジックコネクトを利用できるネットワークや端末を限定する

- マジックコネクトを利用できるネットワークをグローバル IP アドレスで限定する
- マジックコネクトを利用できる端末を MAC アドレスで限定する
- マジックコネクトを利用できる端末をウイルス対策された端末のみに限定する

上記の場合に、本機能を利用します。

本機能で変更した設定は、マジックコネクトサーバに接続中のビューアやクライアントには影響を及ぼしません。

次回の接続認証から有効となります。

3.9.1. マジックコネクトを利用できるネットワークをグローバル IP アドレスで限定する

ユーザごとに、マジックコネクトを利用できるグローバル IP アドレスを制限することで、ネットワークを限定します。

各ユーザのグローバル IP アドレスは、「2. アクセス履歴の表示」の「接続元アドレス」にて確認できます。

下図のアクセス履歴の表示では、ビューア（手元端末）のグローバル IP アドレスは、124.146.214.200、クライアント（接続先機器）のグローバル IP アドレスは、198.51.100.1 です。

種別	接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス
client	03/01 16:48:32	03/01 16:49:57	1分 25秒	198.51.100.1
viewer	03/02 15:40:20	03/02 15:40:27	6秒	124.146.214.200

ここでは、ユーザ「user1」のクライアント（接続先機器）に対し、下記の制限設定を行う手順を説明します。

1. グローバル IP アドレス 198.51.100.1 のネットワークからの接続を許可する。
2. 上記 1 に該当しないネットワークからの接続を禁止する。

(1) 接続を制限したいユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
 ユーザの詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

一括操作

契約ID : 000000

検索

ユーザ名	タイプ	USBロット番号	サービス提供開始日	サービス解約日	BCP
user1	USB型	0000#00000	2022-01-01	-	-
user2	USB型	0000#00001	2022-01-01	-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user5	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user6	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user7	対象機器専用	-	2022-01-01	-	○
user.mc3000	対象機器専用	-	2022-01-01	-	-

<< < 1 > >>

検索で絞り込むこともできます。

ユーザ名を押します。

- (2) 「アプリケーションの詳細設定」にある「クライアント(接続先機器)のIPアドレス制限」を以下の手順で更新します。

アプリケーションの詳細設定

パスワード保存設定	<input checked="" type="checkbox"/> マジックコネクトログインパスワードの保存を許可する <input type="checkbox"/> Windowsログオンパスワードの保存を許可する
リモートデスクトップ設定	<input type="checkbox"/> プリンター共有許可 <input type="checkbox"/> ドライブ共有許可 <input type="checkbox"/> クリップボード共有許可 <input type="checkbox"/> スマートカード共有許可 <input type="checkbox"/> シリアルポート共有許可 <input type="checkbox"/> プラグアンドプレイ(PnP)デバイス共有許可 <hr/> PrintScreenキー使用許可 <input checked="" type="radio"/> 一部許可する <small>リモートデスクトップが全画面表示の時に限り許可します。 撮った画面イメージはリモートデスクトップ画面内から取り出せません。</small> <input type="radio"/> 全て許可する <input type="radio"/> 全て許可しない
ビューア(手元端末)のIPアドレス制限	<input type="button" value="挿入"/> 全ての接続を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する
クライアント(接続先機器)のIPアドレス制限	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <input type="button" value="挿入"/> <input type="text" value="198.51.100.1"/> / <input type="text" value="255.255.255.255"/> <input type="button" value="削除"/> を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <input type="button" value="挿入"/> リストに適合しない接続を <input type="radio"/> 許可する <input checked="" type="radio"/> 禁止する </div>

① [挿入]を押します。入力欄が表示されるので、IPアドレスとサブネットマスクを入力し、「許可する」を選びます。

② 上記①で設定したIPアドレス以外からの接続があった場合の設定として、「禁止する」を選びます。

③ [アプリケーションの詳細設定を更新]を押します。

アプリケーションの詳細設定を更新

キャンセル

※サブネットマスクの設定により、ネットワークアドレス単位での制限も可能です。
 ※同じIPアドレスに対し、複数の制限設定がされている場合、より上段の設定が優先されます。

3.9.2. マジックコネクトを利用できる端末を MAC アドレスで限定する

ユーザごとに、マジックコネクトを利用できる端末の MAC アドレスを制限することで、端末を限定します。

※ 本機能は、契約のタイプが USB 型/USB 型プレミアム、アプリ型/アプリ型プレミアムの場合のみ利用可能です。

アプリ型ライトの場合は利用できません。

各ユーザの MAC アドレスは、「2. アクセス履歴の表示」の「MAC アドレス」にて確認できます。

種別	接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス	MACアドレス
viewer	05/11 15:17:35	05/11 15:21:44	4分 8秒	114.114.114.114	AA-BB-CC-DD-EE-FF
client	05/11 17:35:07	05/11 18:13:12	38分 5秒	114.114.114.114	AA-BB-CC-DD-EE-FF

※ 本機能を利用する場合、ビューアやクライアントのバージョンを 8.2r1 以降にしてください。

8.2r1 未満の場合、MAC アドレスが空になります。

※ iOS と Android の場合、ビューアのバージョンが 8.2r1 以降であっても、OS の制約から MAC アドレスは固定値「02-00-00-00-00-00」になります。

ここでは、ユーザ「user1」のビューア（手元端末）に対し、下記の制限設定を行う手順を説明します。

1. MAC アドレス AA-BB-CC-DD-EE-FF を持つ端末からの接続を許可する。
2. 上記 1 に該当しない端末からの接続を禁止する。

(1) 接続を制限したいユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
 ユーザの詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

一括操作

契約ID : 000000

ユーザ名	タイプ	USBロット番号	サービス提供開始日	サービス解約日	BCP
user1	USB型	0000#00000	2022-01-01	-	-
user2	USB型	0000#00001	2022-01-01	-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user5	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user6	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user7	対象機器専用	-	2022-01-01	-	○
user.mc3000	対象機器専用	-	2022-01-01	-	-

検索で絞り込むこともできます。

ユーザ名を押します。

(2) 「アプリケーションの詳細設定」にある「ビューア(手元端末)のMACアドレス制限」を以下の手順で更新します。

<p>ビューア(手元端末)のMACアドレス制限</p>	<p>挿入</p> <p>AA-BB-CC-DD-EE-FF 削除</p> <p>を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する</p>	<p>① [挿入]を押します。 入力欄が表示されるので、MACアドレスを入力し、「許可する」を選びます。 (画像はAA-BB-CC-DD-EE-FFの書式ですが、AA:BB:CC:DD:EE:FFの書式でも入力できます)</p>
<p>クライアント(接続先機器)のMACアドレス制限</p>	<p>挿入</p> <p>リストに適合しない接続を <input type="radio"/> 許可する <input checked="" type="radio"/> 禁止する</p> <p>挿入</p> <p>全ての接続を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する</p>	<p>② 上記①で設定したIPアドレス以外からの接続があった場合の設定として、「禁止する」を選びます。</p>
<p>アプリケーションの詳細設定を更新 キャンセル</p>		<p>③ [アプリケーションの詳細設定を更新]を押します。</p>

※複数のMACアドレスを持つ手元端末の場合

ノートPCなど、複数のネットワークアダプター(有線LAN/無線LAN/内蔵SIM)が存在する端末の場合、ネットワークアダプターに紐付いたMACアドレスはすべて制限設定の対象です。

複数のネットワークアダプターが存在する場合、MACアドレスをすべて制限設定に登録してください。

<p>ビューア(手元端末)のMACアドレス制限</p>	<p>挿入</p> <p>AA-BB-CC-DD-EE-FF 削除</p> <p>を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する</p>	<p>端末に存在するMACアドレスのうち、1つを登録します。</p>
	<p>挿入</p> <p>GG-HH-II-JJ-KK-LL 削除</p> <p>を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する</p>	
	<p>挿入</p> <p>リストに適合しない接続を <input type="radio"/> 許可する <input checked="" type="radio"/> 禁止する</p>	<p>[挿入]を押し、もう1つのMACアドレスを登録します。</p>

3.9.3. マジックコネクトを利用できる端末をウイルス対策された端末のみに限定する

ビューアが動作する Windows 端末の検疫状態が良好の場合のみ、マジックコネクトを利用可能とします。

※ 本機能は、契約のタイプが USB 型/USB 型プレミアム、アプリ型/アプリ型プレミアムの場合のみ利用可能です。

アプリ型ライトの場合は利用できません。

本機能を有効にした場合にビューアを利用可能な端末、利用できなくなる端末は次の通りです。

- ビューアを利用可能な端末
 - 「検疫状態が良好」(※) の Windows 端末で、ビューアのバージョンが 8.2r1 以降
 - iOS、Android 端末
- ビューアを利用できなくなる端末
 - 「検疫状態が良好」(※) ではない Windows 端末
 - ビューアのバージョンが 8.2r1 未満の Windows 端末
 - Mac 端末

※ 「検疫状態が良好」とは具体的には次の状態を指します。

[コントロール パネル]-[システムとセキュリティ]-[セキュリティとメンテナンス]-
[セキュリティ]内の、「ウイルス対策」の項目が「有効」であること

ユーザ「user1」に対し、本機能を有効化する手順を説明します。

(1) 設定を変更したいユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
ユーザーの詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

一括操作

契約ID : 000000

検索

ユーザ名	タイプ	USBロット番号	サービス提供開始日	サービス解約日	BCP
user1	USB型	0000#00000			
user2	USB型			-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-

検索で絞り込むこともできます。

ユーザ名を押します。

(2) 「アプリケーションの詳細設定」にある「セキュリティチェック」を以下の手順で変更します。

セキュリティチェック

※Windowsのビューアのみ有効
※Macビューアをお使いの場合はチェックを外してください

ウイルス対策ソフトの検疫状態が良好なときに、接続を許可する

挿入

全ての接続を 許可する 禁止する

クライアント（接続先機器）のMACアドレス制限

挿入

全ての接続を 許可する 禁止する

アプリケーションの詳細設定を更新
キャンセル

① 「ウイルス対策ソフトの検疫状態が良好なときに、接続を許可する」にチェックを入れます。

② [アプリケーションの詳細設定を更新]を押します。

3.10. アプリケーションの機能制限を変更する

本機能により、以下の機能制限を変更することができます。

- モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)の手元端末へ、パスワードの保存を許可/禁止する。

初期状態は以下のとおりです。

パスワードの種類	保存
マジックコネクトログイン	許可
Windows ログオン	禁止

- リモートデスクトップ接続使用時の各種デバイス共有を許可/禁止する。

初期状態は以下のとおりです。(マジックコネクト (従来モデル) のNDL エディションと同じ状態です。)

デバイス共有の種類	共有許可
プリンター共有許可	禁止
ドライブ共有許可	禁止
クリップボード共有許可	禁止
スマートカード共有許可	禁止
シリアルポート共有許可	禁止
プラグ アンド プレイ (PnP) デバイス共有許可	禁止
Print Screen キー使用許可	一部許可する

なお、変更した設定は、設定変更時に使用中のビューアには適用されません。次回のマジックコネクトログイン時より適用されます。

3.10.1. モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)の手元端末へのパスワード保存を許可/禁止する

手元端末が iPhone/iPad、Android 端末の場合、パスワード (マジックコネクトのログインパスワード、Windows のログオンパスワード) の保存を許可/禁止できます。

ここでは、「user1」に対し下記の設定を行う手順を説明します。

- マジックコネクトのログインパスワードの保存を禁止
- Windows のログオンパスワードの保存を禁止

(1) 設定を変更したい一般ユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
ユーザーの詳細を表示するにはユーザー名をクリックしてください。

一括操作

契約ID : 000000

ユーザ名	タイプ	USBロット番号	サービス提供開始日	サービス解約日	BCP
user1	USB型	0000#00000			
user2	USB			-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user5	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user6	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user7	対象機器専用	-	2022-01-01	-	○
user.mc3000	対象機器専用	-	2022-01-01	-	-

<< < 1 > >>

(2) 「アプリケーションの詳細設定」にある「パスワード保存設定」欄を以下の手順で変更します。

① 「マジックコネクトログインパスワードの保存を許可する」「Windowsログオンパスワードの保存を許可する」のチェックを外します。

アプリケーションの詳細設定

パスワード保存設定

- マジックコネクトログインパスワードの保存を許可する
- Windowsログオンパスワードの保存を許可する

② [アプリケーションの詳細設定を更新]を押します。

③ 確認のメッセージが表示されますので、[OK]を押します。

確認 ×

入力した内容を反映させます。
よろしいですか？

3.10.2. デバイス共有を許可/禁止する

リモートデスクトップのデバイス共有を許可/禁止できます。

「user1」に対し、下記の設定を行う手順を説明します。

- プリンター共有を許可。それ以外のデバイス共有を禁止。
- Print Screen キーの使用を禁止

(1) 設定を変更したいユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
ユーザの詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

一括操作

契約ID : 000000

検索

ユーザ名	タイプ	USBロット番号	サービス提供開始日	サービス解約日	BCP
user1	USB型	0000#00000			
user2	USB			-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user5	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user6	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user7	対象機器専用	-	2022-01-01	-	○
user.mc3000	対象機器専用	-	2022-01-01	-	-

<< < 1 > >>

検索で絞り込むこともできます。

ユーザ名を押します。

(2) 「アプリケーションの詳細設定」にある「リモートデスクトップ設定」を以下の手順で変更します。

アプリケーションの詳細設定

パスワード保存設定	<input type="checkbox"/> マジックコネクトログインパスワードの保存を許可する <input type="checkbox"/> Windowsログインパスワードの保存を許可する	① 「プリンター共有許可」にチェックを入れます。それ以外からチェックを外します。
リモートデスクトップ設定	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> プリンター共有許可 <input type="checkbox"/> ドライブ共有許可 <input type="checkbox"/> クリップボード共有許可 <input type="checkbox"/> スマートカード共有許可 <input type="checkbox"/> シリアルポート共有許可 <input type="checkbox"/> プラグアンドプレイ(PnP)デバイス共有許可 </div> PrintScreenキー使用許可 <input checked="" type="radio"/> 一部許可する <small>リモートデスクトップが全画面表示の時に限り許可します。 撮った画面イメージはリモートデスクトップ画面内から取り出せません。</small> <input type="radio"/> 全て許可する <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <input type="radio"/> 全て許可しない </div>	
ビューア (手元端末) のIPアドレス制限	<input type="button" value="挿入"/> 全ての接続を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する	
クライアント (接続先機器) のIPアドレス制限	<input type="button" value="挿入"/> <input type="text" value="198.51.100.1"/> / <input type="text" value="255.255.255.255"/> <input type="button" value="削除"/> を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する <input type="button" value="挿入"/> リストに適合しない接続を <input type="radio"/> 許可する <input checked="" type="radio"/> 禁止する	
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> <input type="button" value="アプリケーションの詳細設定を更新"/> </div> <input type="button" value="キャンセル"/>		③ [更新]を押します。

④ 確認のメッセージが表示されますので、[OK]を押します。

確認 ×

入力した内容を反映させます。
よろしいですか?

3.10.2.1. 「Print Screen キー使用許可」の3つの設定における動作の違い

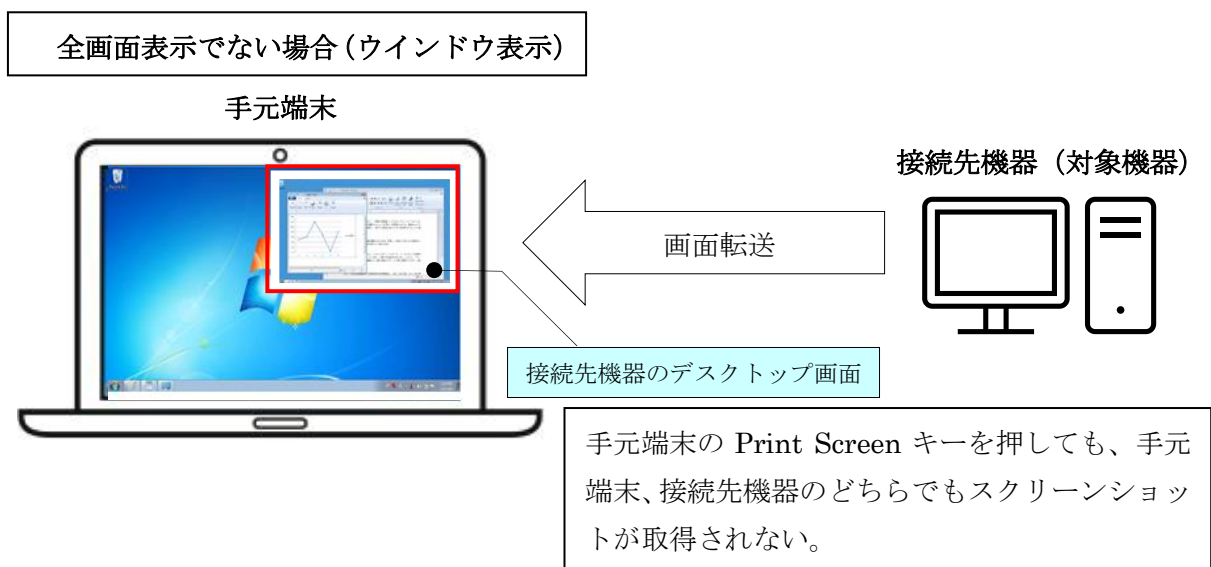
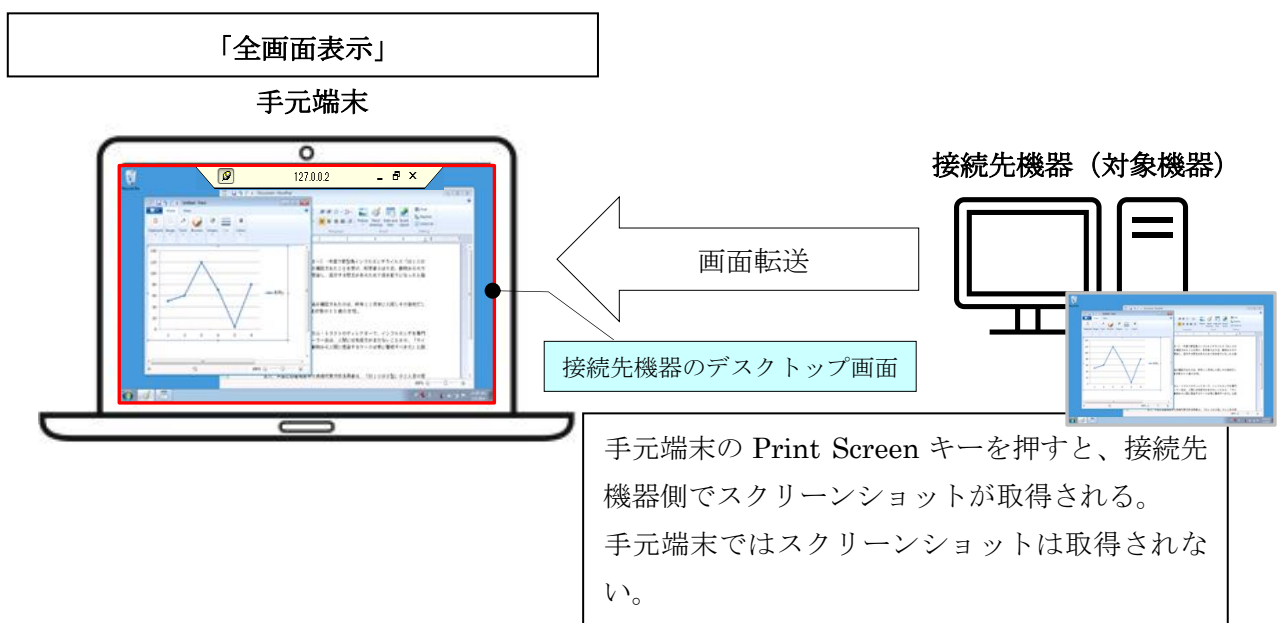
本項では、「Print Screen キー使用許可」の3つの設定における動作の違いを説明します。

■ 一部許可する

Print Screen キーによるスクリーンショット取得を制限します。

この設定の場合、Print Screen キーを押しても手元端末ではスクリーンショットが取得されません。

リモートデスクトップ画面が「全画面表示」の場合、**接続先機器（対象機器）側**で接続先機器のスクリーンショットが取得され、接続先機器（対象機器）内に閉じた範囲で画面データを利用できます。



■ 全て許可する

Print Screen キーによるスクリーンショット取得を制限しません。

この設定の場合、Print Screen キーを押すと Windows の標準機能によってスクリーンショットが取得されます。

■ 全て許可しない

この設定の場合、「一部許可する」と同様、Print Screen キーを押しても手元端末ではスクリーンショットが取得されません。

さらに、リモートデスクトップ画面を「全画面表示」にした場合の接続先機器（対象機器）側でのスクリーンショットも取得されません。

3.11. 複数ユーザの設定をまとめて操作する

これまで説明したユーザ管理の手順は、それぞれのユーザに対し、1 ユーザずつ設定する「個別管理」ですが、本節で説明する「一括操作」の機能を用いると、複数ユーザに対する設定をまとめて行うことができます。

一括操作の機能を用いて以下の設定を一括操作することができます。

3.12. 複数ユーザの設定をまとめて操作する	64
3.12.1. 「一括操作」画面を表示する	65
3.12.2. 利用許可設定を一括で設定する	66
3.12.2.1. ビューア USB の利用許可を一括で設定する	67
3.12.2.2. ビューア デスクトップ (Windows、Mac) の利用許可を一括で設定する	68
3.12.2.3. ビューア モバイルの利用許可を一括で設定する	69
3.12.2.4. ビューア 利用可能な端末数制限を一括で設定する	70
3.12.2.5. クライアントの利用許可を一括で設定する	71
3.12.2.6. 管理機能の利用許可を一括で設定する	72
3.12.3. 端末認証情報を一括で初期化する	73
3.12.3.1. デスクトップ (Windows、Mac) の端末認証情報を一括で初期化する	74
3.12.3.2. モバイル (iPhone/iPad、Android 端末) の端末認証情報を一括で初期化する	75
3.12.4. アプリケーションの詳細設定を一括で設定する	76
3.12.4.1. モバイル (iPhone/iPad、Android 端末) のパスワード保存設定を一括で更新する	77
3.12.4.2. リモートデスクトップ設定を一括で更新する	78
3.12.4.3. セキュリティチェックを一括で設定する	79
3.12.4.4. ビューアの IP アドレス制限を一括で設定する	81
3.12.4.5. クライアントの IP アドレス制限を一括で設定する	83
3.12.4.6. ビューアの MAC アドレス制限を一括で更新する	85
3.12.4.7. クライアントの MAC アドレス制限を一括で更新する	87

3.11.1. 「一括操作」画面を表示する

(1) ユーザ管理画面で[一括操作]ボタンを押します。

一般ユーザー一覧

通常サービス 契約ユーザー数 : 8
 BCPあんしんサービス 契約ユーザー数 : 1

アカウント管理者test.accountsに所属するユーザー一覧を表示しています。
 ユーザの詳細を表示するにはユーザー名をクリックしてください。

契約ID : 123456789

[一括操作]を押します。

検索

ユーザー名 ▲	タイプ	USBロット番号	サービス提供開始日	サービス解約日	BCP
account.a	USB型	dummysnumber1	2021-01-02	-	-
account.b	USB型	dummysnumber2	2021-01-02	-	-

(2) 「一括操作」画面に切り替わります。

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定

ビューア デスクトップの利用許可を一括設定

ビューア モバイルの利用許可を一括設定

ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定

クライアントの利用許可を一括設定

管理機能の利用許可を一括設定

端末認証情報 デスクトップを一括初期化

端末認証情報 モバイルを一括初期化

パスワード保存設定を一括更新

リモートデスクトップ設定を一括更新

セキュリティチェックを一括更新

IPアドレス制限ビューアを一括設定

IPアドレス制限クライアントを一括設定

MACアドレス制限ビューアを一括設定

MACアドレス制限クライアントを一括設定

ユーザー情報一覧をダウンロード

最終利用バージョンをダウンロード

戻る

3.11.2. 利用許可設定を一括で設定する

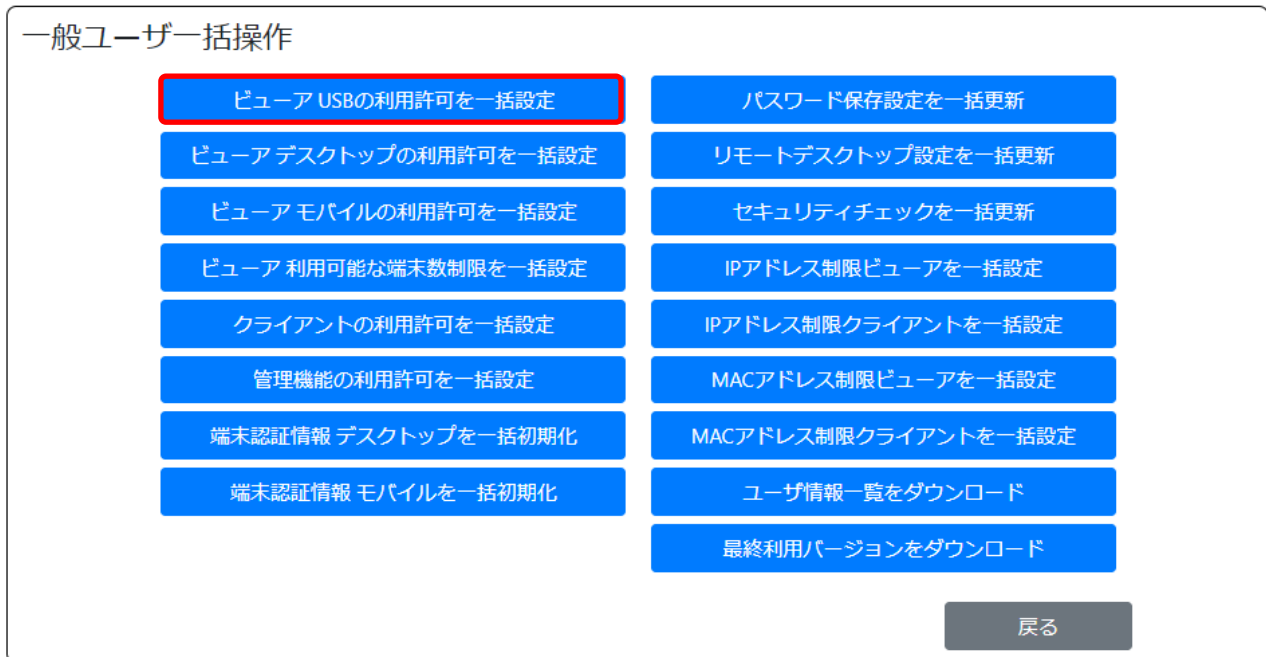
複数のユーザに対して、以下のアプリケーションの許可/禁止を一括で変更したい場合に本機能を利用します。

- ビューア
 - USB
 - デスクトップ
 - モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)
- クライアント
- 管理機能

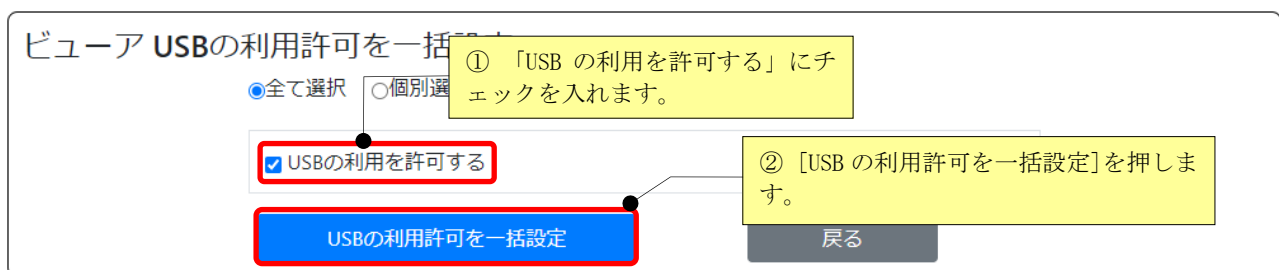
3.11.2.1. ビューア USB の利用許可を一括で設定する

複数のユーザに対して USB の利用許可/禁止を一括で設定したい場合に本機能を利用します。
ここでは、「全てのユーザに対して USB の利用を一括で許可する」を行う手順を説明します。

(1) 「ビューア USB の利用許可を一括設定」を選択します。



(2) 「USB の利用を許可する」にチェックを入れます。次に、[USB の利用許可を一括設定]ボタンを押します。



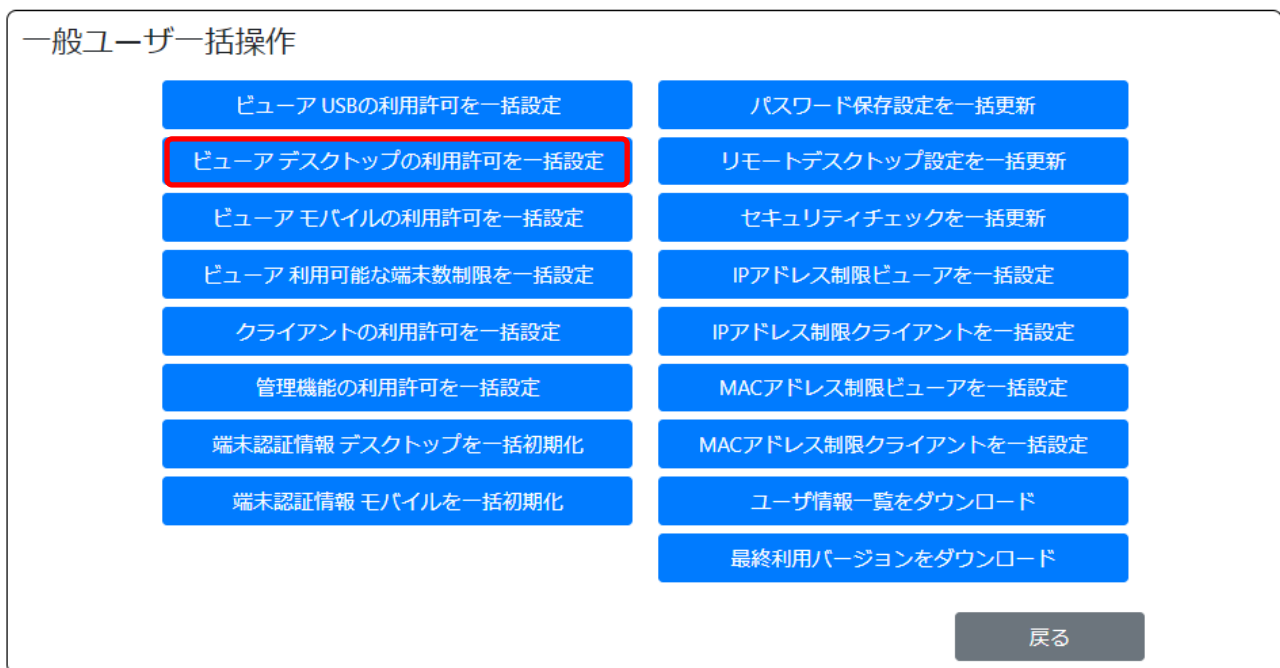
利用を禁止する場合は「USB の利用を許可する」からチェックを外します。

3.11.2.2. ビューア デスクトップ (Windows、Mac) の利用許可を一括で設定する

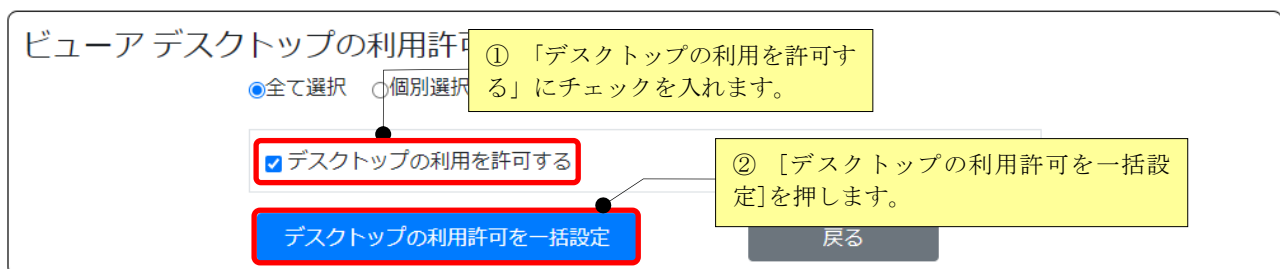
複数のユーザに対してデスクトップ (Windows、Mac) の利用許可/禁止を一括で設定したい場合に本機能を利用します。

ここでは、「全てのユーザに対してデスクトップ (Windows、Mac) の利用を一括で許可する」を行う手順を説明します。

(1) 「ビューア デスクトップの利用許可を一括設定」を選択します。



(2) 「デスクトップの利用を許可する」にチェックを入れます。次に、[デスクトップの利用許可を一括設定]ボタンを押します。



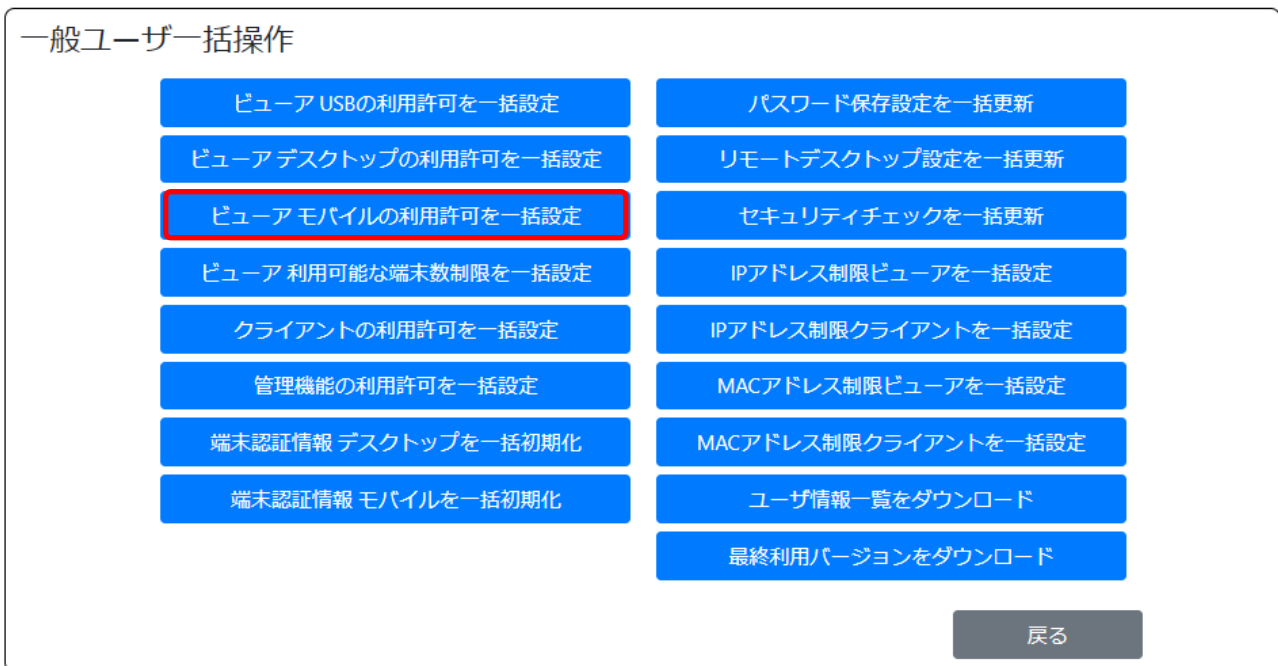
利用を禁止する場合は「デスクトップの利用を許可する」からチェックを外します。

3.11.2.3. ビューア モバイルの利用許可を一括で設定する

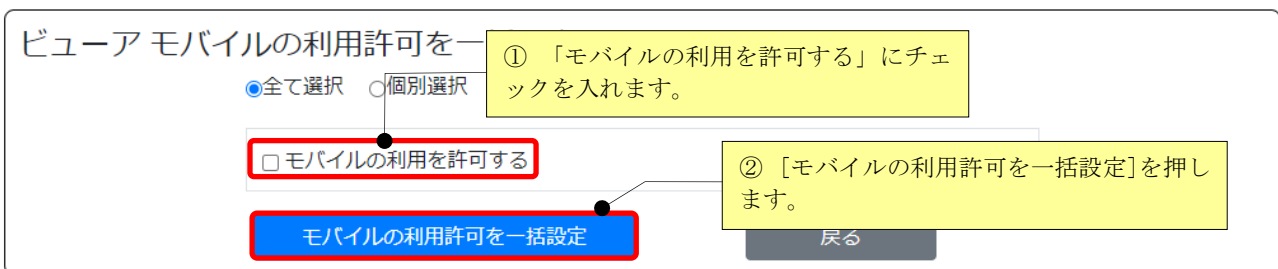
複数のユーザに対してモバイル（iPhone/iPad、Android 端末）の利用許可/禁止を一括で設定したい場合に本機能を利用します。

ここでは、「全てのユーザに対してモバイル（iPhone/iPad、Android 端末）の利用を一括で許可する」を行う手順を説明します。

- (1) 「ビューア モバイルの利用許可を一括設定」を選択します。



- (2) 「モバイルの利用を許可する」にチェックを入れます。次に、[モバイルの利用許可を一括設定]ボタンを押します。



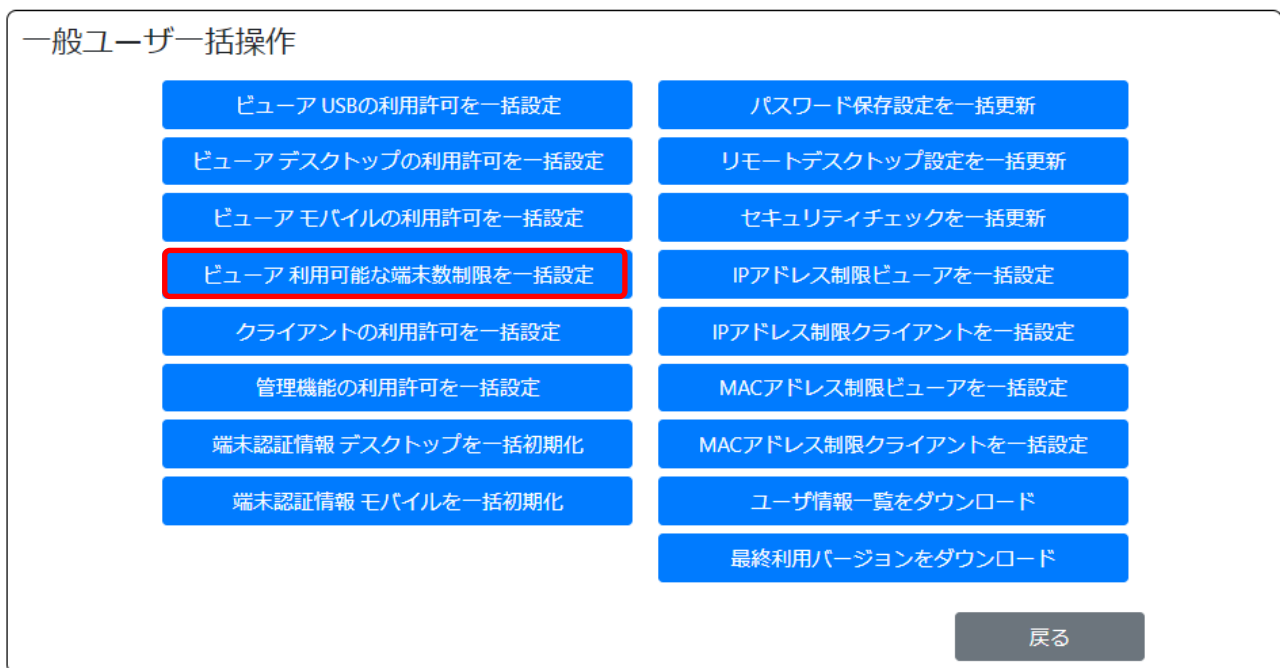
利用を禁止する場合は「モバイルの利用を許可する」からチェックを外します。

3.11.2.4. ビューア 利用可能な端末数制限を一括で設定する

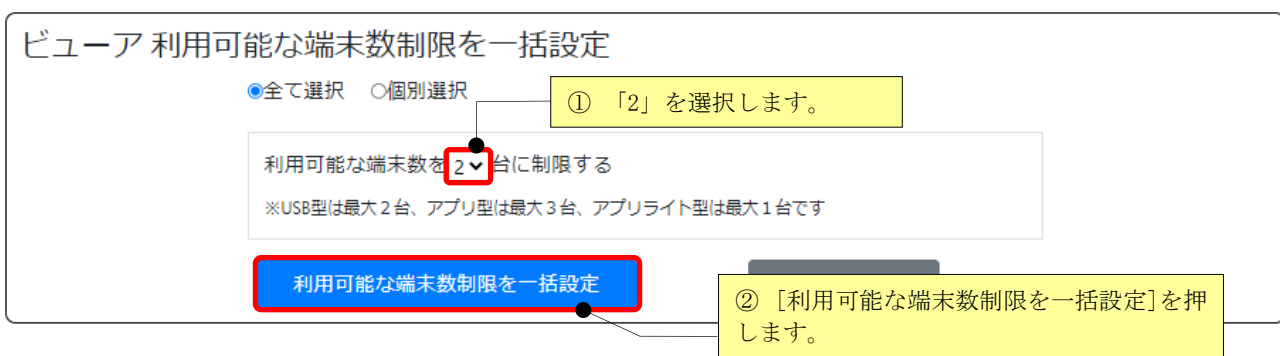
ビューアアプリケーションをインストールして利用可能な手元端末の数を一括で設定したい場合に本機能を利用します。

ここでは、「全てのユーザに対して利用可能な手元端末の数を 2 台に設定する」を行う手順を説明します。

(3) 「ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定」を選択します。



(4) 「2」を選択します。次に、[利用可能な端末数制限を一括設定]ボタンを押します。



契約（USB 型/USB 型プレミアム/アプリ型/アプリ型プレミアム/アプリ型ライト）別の最大数を超える数を指定した場合、最大数が自動的に設定されます。

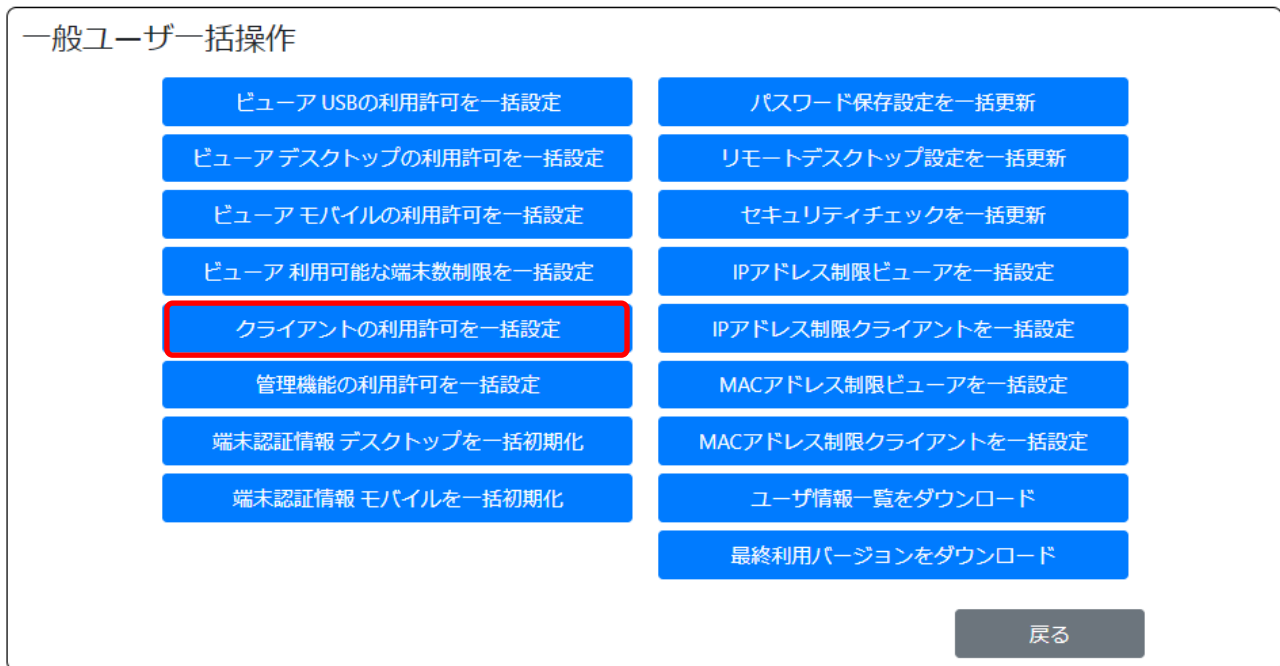
※ 実際に利用するよりも多い台数を指定すると、ユーザ名とパスワードだけでビューアを利用可能な枠が生じます。第三者による悪用を防止するため、必要以上の台数を指定した状態を長期間放置しないでください。

3.11.2.5. クライアントの利用許可を一括で設定する

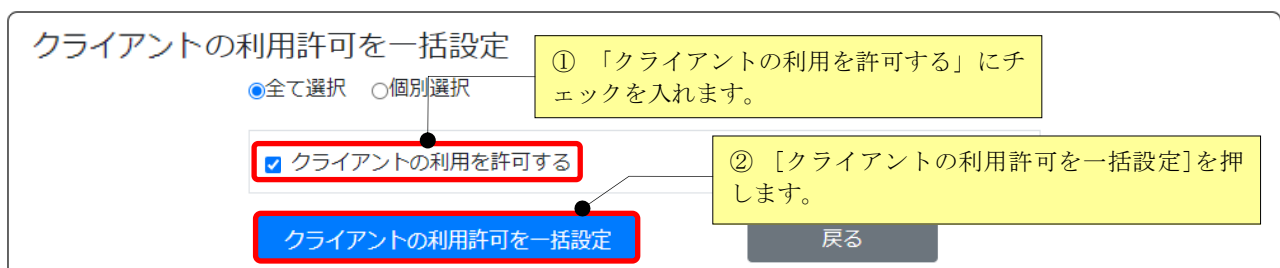
複数のユーザに対してクライアント（接続先機器で動かすプログラム）の利用許可/禁止を一括で設定したい場合に本機能を利用します。

ここでは、「全てのユーザに対してクライアントの利用を一括で許可する」を行う手順を説明します。

- (1) 「クライアントの利用許可を一括設定」を選択します。



- (2) 「クライアントの利用を許可する」にチェックを入れます。次に、[クライアントの利用許可を一括設定]ボタンを押します。



利用を禁止する場合は「クライアントの利用を許可する」からチェックを外します。

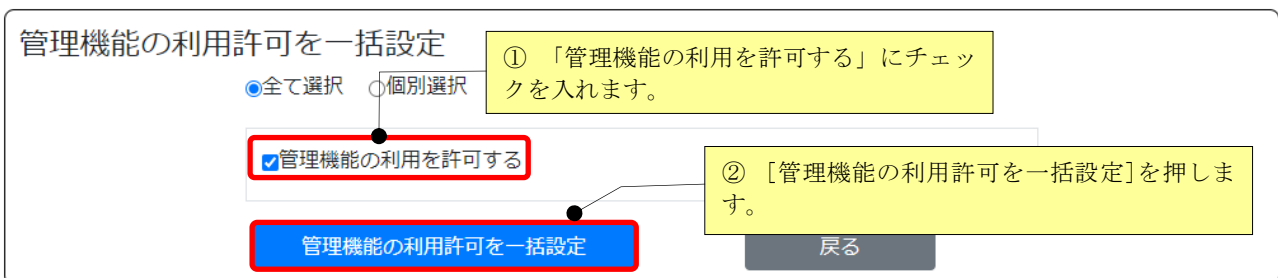
3.11.2.6. 管理機能の利用許可を一括で設定する

複数のユーザに対して管理機能の利用許可/禁止を一括で設定したい場合に本機能を利用します。ここでは、「全てのユーザに対して管理機能の利用を一括で許可する」を行う手順を説明します。

(1) 「管理機能の利用許可を一括設定」を選択します。



(2) 「管理機能の利用を許可する」にチェックを入れます。次に、[管理機能の利用許可を一括設定]ボタンを押します。



利用を禁止する場合は「管理機能の利用を許可する」からチェックを外します。

3.11.3. 端末認証情報を一括で初期化する

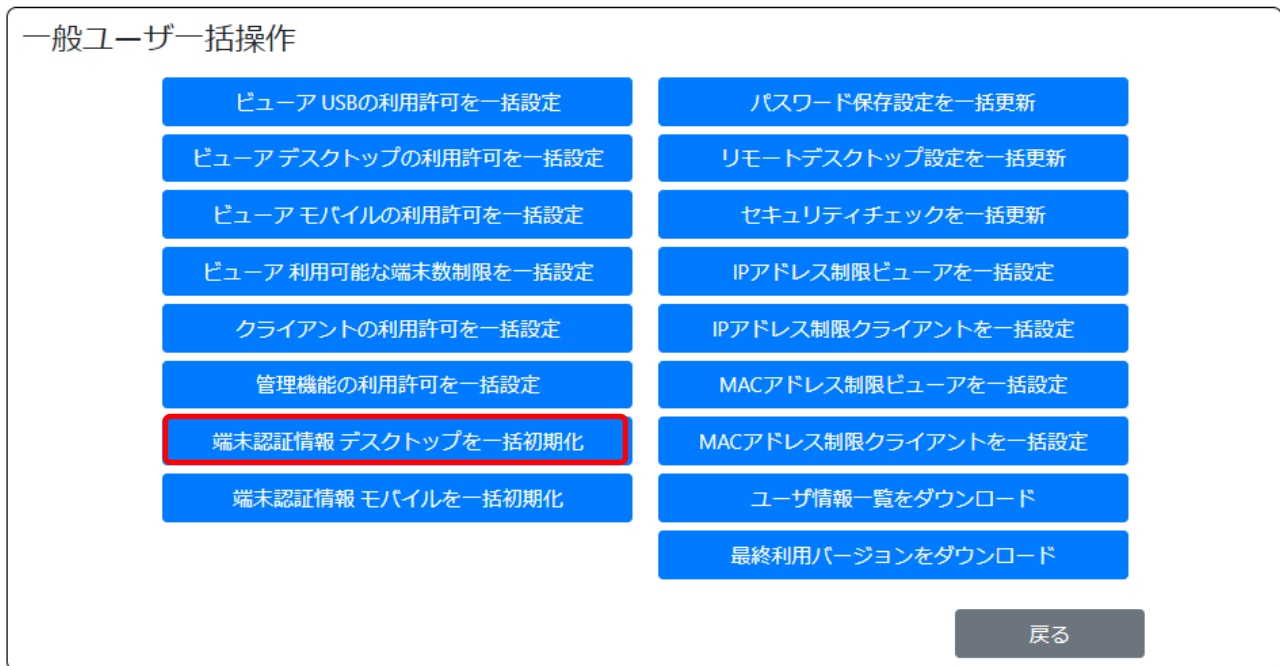
複数のユーザに対して、以下の端末認証情報を全て初期化したい場合に本機能を利用します。

- デスクトップ (Windows、Mac)
- モバイル (iPhone/iPad、Android 端末)

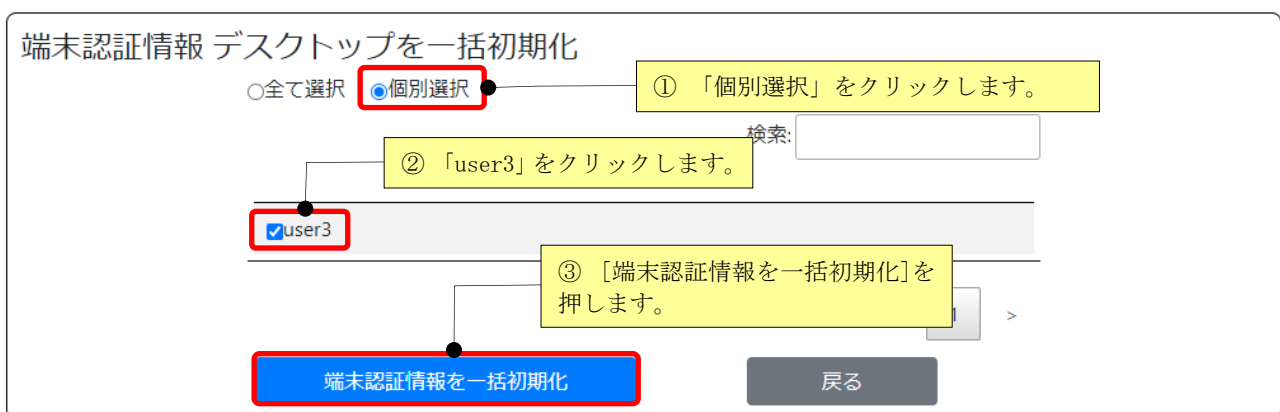
3.11.3.1. デスクトップ (Windows、Mac) の端末認証情報を一括で初期化する

複数のユーザに対して、デスクトップ (Windows、Mac) の端末認証情報を一括で初期化したい場合に本機能を利用します。以下では「user3」のデスクトップ (Windows、Mac) の端末認証情報を初期化する手順を説明します。

(1) 「端末認証情報 デスクトップを一括初期化」を選択します。



(2) 「個別選択」をクリックし、次に「user3」をクリックし選択状態にします。最後に、[端末認証情報を一括初期化]ボタンを押します。



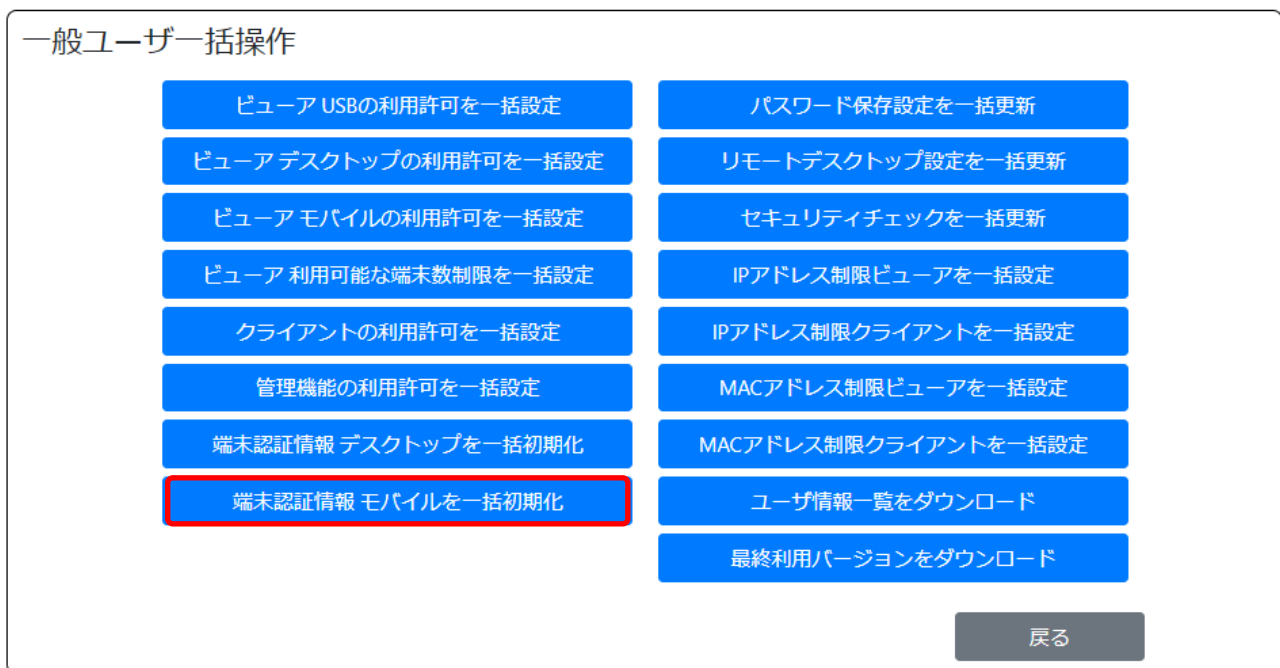
注意) 選択したユーザのデスクトップ (Windows、Mac) の端末認証情報が全て初期化されます。複数のデスクトップ (Windows、Mac) の端末認証情報を登録している場合はご注意ください。

3.11.3.2. モバイル (iPhone/iPad、Android 端末) の端末認証情報を一括で初期化する

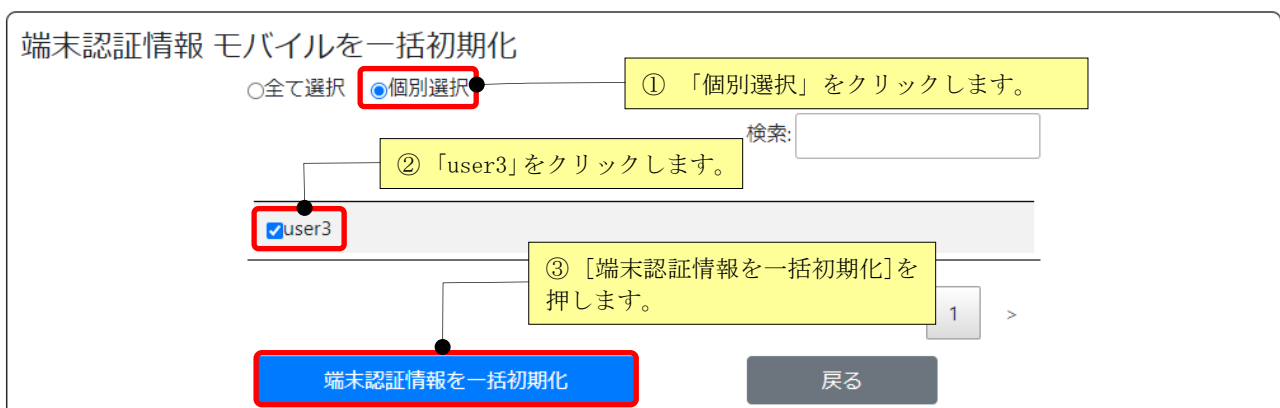
複数のユーザに対して、モバイル (iPhone/iPad、Android 端末) の端末認証情報を一括で初期化したい場合に本機能を利用します。

以下では「user3」のモバイル (iPhone/iPad、Android 端末) の端末認証情報を初期化する手順を説明します。

- (1) 「端末認証情報 モバイルを一括初期化」を選択します。



- (2) 「個別選択」をクリックし、次に「user3」をクリックし選択状態にします。最後に、[端末認証情報を一括初期化]ボタンを押します。



注意) 選択したユーザのモバイル (iPhone/iPad、Android 端末) の端末認証情報が全て初期化されます。

複数のモバイル (iPhone/iPad、Android 端末) の端末認証情報を登録している場合はご注意ください。

3.11.4. アプリケーションの詳細設定を一括で設定する

複数のユーザに対して、以下の機能を一括で設定したい場合に本機能を利用します。

- モバイル (iPhone/iPad、Android 端末) のパスワード保存設定を一括で更新する
- リモートデスクトップ設定を一括で更新する
- ビューアの IP アドレス制限を一括で設定する
- クライアントの IP アドレス制限を一括で設定する
- ビューアの MAC アドレス制限を一括で更新する
- クライアントの MAC アドレス制限を一括で更新する

なお、変更した設定は、設定変更時に使用中のビューア、クライアントには適用されません。
次回のマジックコネクトログイン時より適用されます。

3.11.4.1. モバイル (iPhone/iPad、Android 端末) のパスワード保存設定を一括で更新する

本機能により、モバイル (iPhone/iPad、Android 端末) の手元端末に対するパスワードの保存許可設定を一括で変更することができます

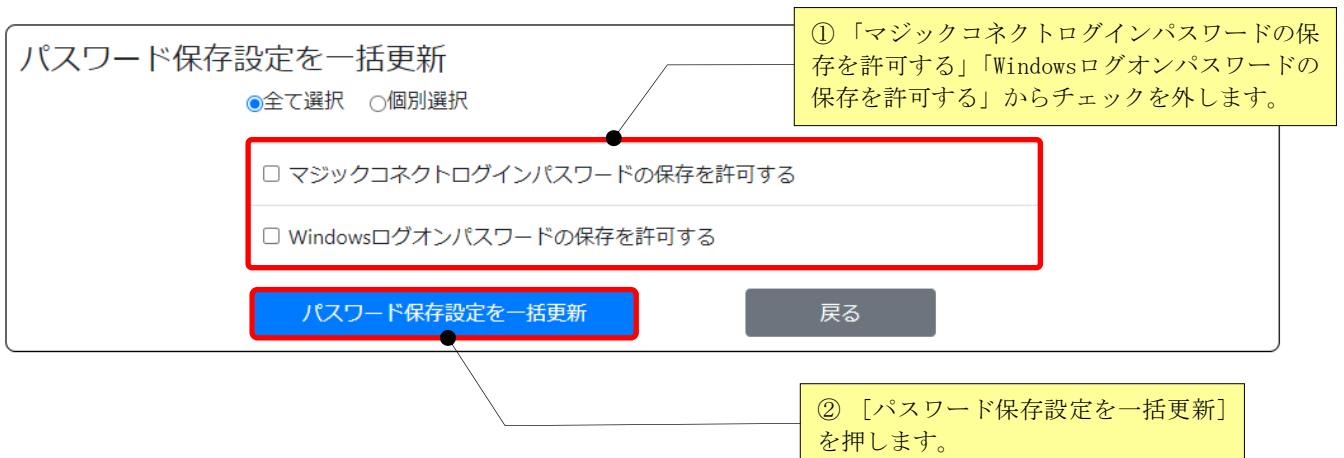
ここでは、「全てのユーザ」に対し下記の設定を行う手順を説明します。

- マジックコネクトのログインパスワードの保存を禁止
- Windows のログオンパスワードの保存を禁止

(1) 「パスワード保存設定を一括更新」を選択します



(2) 「マジックコネクトログインパスワードの保存を許可する」「Windows ログオンパスワードの保存を許可する」からチェックを外し[パスワード保存設定を一括更新]ボタンを押します。



3.11.4.2. リモートデスクトップ設定を一括で更新する

複数のユーザに対してリモートデスクトップのデバイス共有許可/禁止を一括で設定したい場合に本機能を利用します。

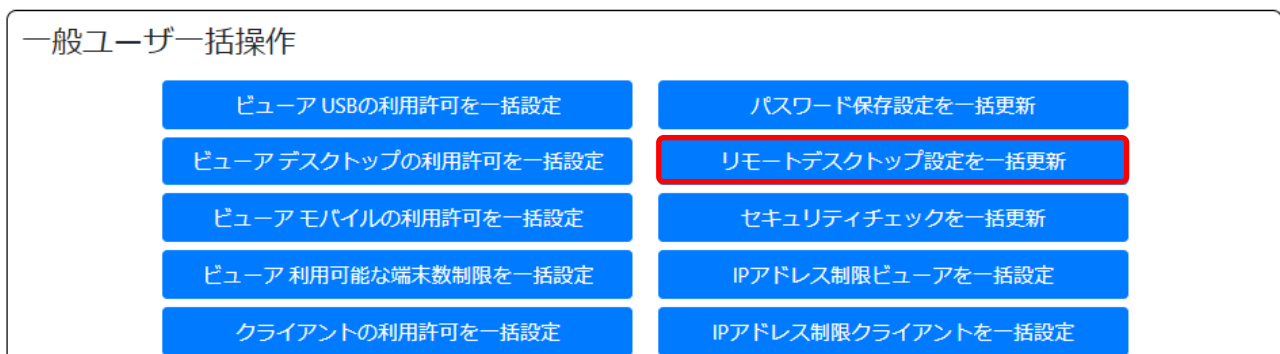
なお、変更した設定は、設定変更時に使用中のビューアには適用されません。

次のマジックコネクトログイン時より適用されます。

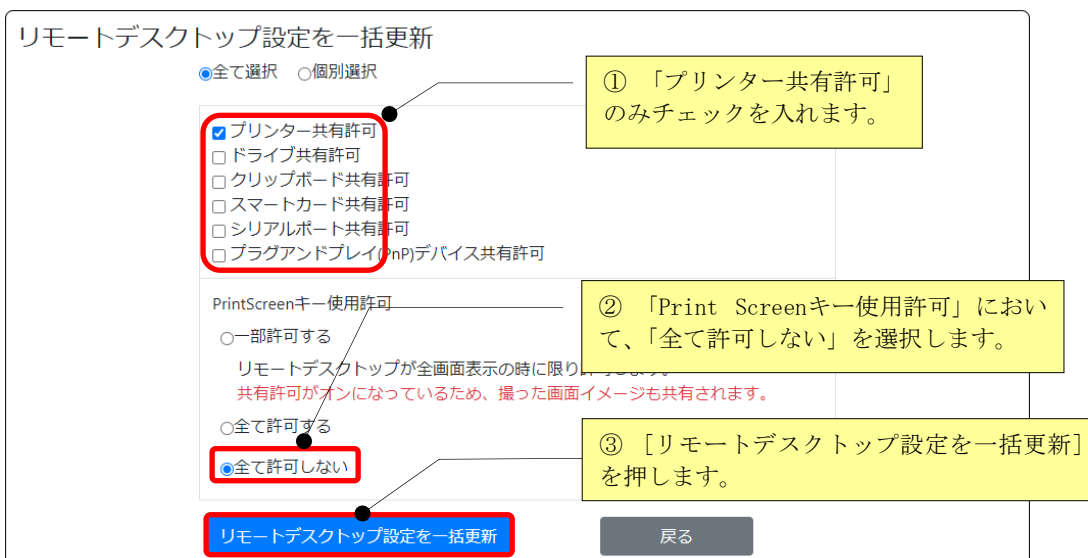
ここでは「全てのユーザ」に対し、下記の設定を行う手順を説明します。

- プリンター共有を許可。その他の共有を禁止。
- Print Screen キーの使用を禁止

(1) 「リモートデスクトップ設定を一括更新」を選択します



(2) 「プリンター共有許可」にチェックを入れ、その他の「共有許可」からチェックを外します。Print Screen キー使用許可は「全て許可しない」を選択します。最後に[リモートデスクトップ設定を一括更新]ボタンを押します。



3.11.4.3. セキュリティチェックを一括で設定する

複数のユーザに対して、ビューアの Windows 端末の検疫状態が良好の場合にのみ、マジックコネクトを利用可能とする際に本機能を利用します。

なお、変更した設定は、設定変更時に使用中のビューアには適用されません。

次のマジックコネクトログイン時より適用されます。

※本機能は Windows のビューアのみ有効です。

Mac のビューアを利用しているユーザには設定しないでください。

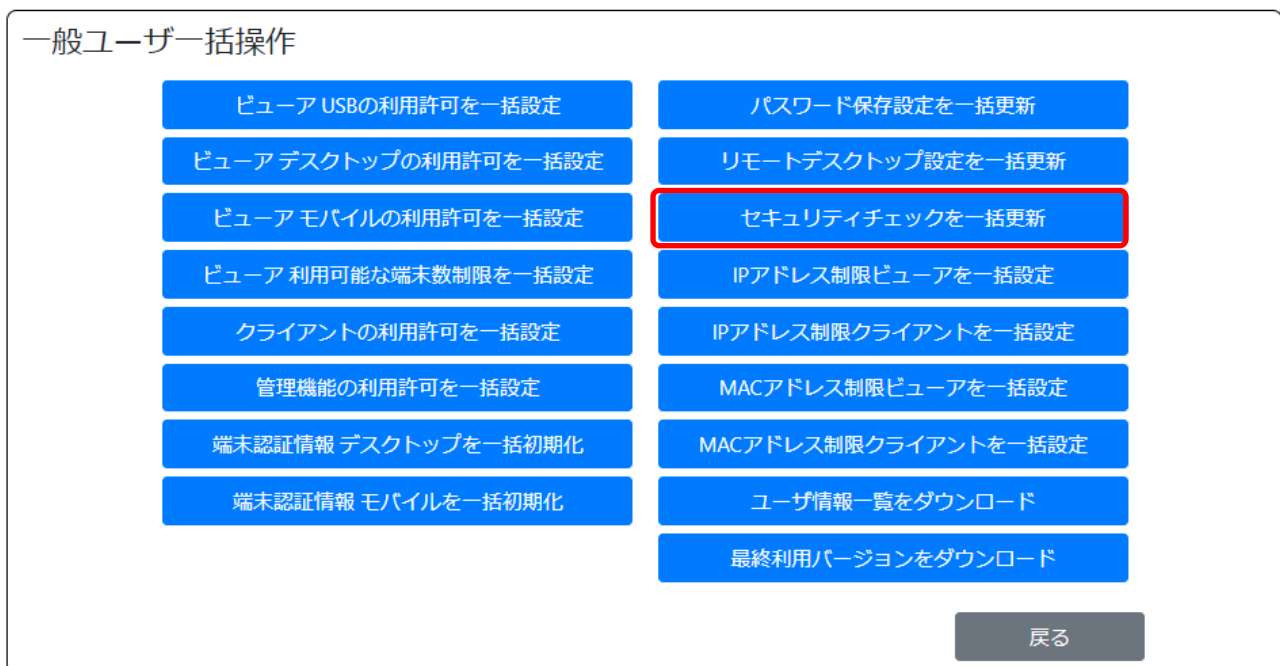
※本機能は、マジックコネクト・ネオ USB 型/USB 型プレミアム、アプリ型/アプリ型プレミアムの場合のみ利用可能です。

アプリ型ライト、対象機器専用アカウントの場合は利用できません。

ここでは「全てのユーザ」に対し、下記の設定を行う手順を説明します。

- ウイルス対策ソフトの検疫状態が良好の場合のみ、接続を許可する

- (1) 「セキュリティチェックを一括更新」を選択します



- (2) 「ウイルス対策ソフトの検疫状態が良好なときに、接続を許可する」にチェックを入れ、[セキュリティチェックを一括更新]ボタンを押します。

セキュリティチェックを一括更新

全て選択 個別選択

ウイルス対策ソフトの検疫状態が良好なときに、接続を許可する

セキュリティチェックを一括設定

戻る

① 「ウイルス対策ソフトの検疫状態が良好なときに、接続を許可する」のチェックを入れます。

② [セキュリティチェックを一括更新]を押します。

3.11.4.4. ビューアの IP アドレス制限を一括で設定する

複数のユーザに対して、ビューアの IP アドレス制限を一括で設定したい場合に本機能を利用します。

なお、変更した設定は、設定変更時に使用中のビューアには適用されません。

次回のマジックコネクトログイン時より適用されます。

ここでは、「全てのユーザ」のビューアに対し、下記の制限設定を行う手順を説明します。

- 接続元アドレス 203. 0. 113. 1 のネットワークからの接続を許可する。
- 上記 1 に該当しないネットワークからの接続を禁止する。

(1) 「IP アドレス制限ビューアを一括設定」を選択します。

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューアデスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
	最終利用バージョンをダウンロード

戻る

- (2) 「挿入」を押し、IP アドレス「203.0.113.1」、サブネットマスク「255.255.255.255」を入力し、許可します。リストに適合しない接続を「禁止する」を選択し、入力した IP アドレス以外からの接続を禁止します。最後に、[IP アドレス制限を一括設定]ボタンを押します。

The screenshot shows the 'IPアドレス制限 ビューアを一括設定' (IP Address Restriction Viewer Bulk Setting) screen. At the top, there are radio buttons for '全て選択' (Selected) and '個別選択' (Individual Selection). The main area contains a table with one row. The first cell has a green '挿入' (Insert) button, followed by input fields for IP address '203.0.113.1' and subnet mask '255.255.255.255', and a red '削除' (Delete) button. Below the input fields are radio buttons for '許可する' (Allow) and '禁止する' (Deny). The second cell has a green '挿入' (Insert) button and a red-bordered box containing the text 'リストに適合しない接続を' followed by radio buttons for '許可する' and '禁止する'. At the bottom, there is a blue 'IPアドレス制限を一括設定' (Bulk Set IP Address Restriction) button and a grey '戻る' (Back) button.

① [挿入]を押します。
入力欄が表示されるので、
IPアドレス：203.0.113.1
サブネットマスク：255.255.255.255
を入力し、「許可する」を選びます。

② 上記①で設定したIPアドレス以外からの接続があった場合の設定として、「禁止する」を選びます。

③ [IPアドレス制限を一括設定]を押します。

3.11.4.5. クライアントの IP アドレス制限を一括で設定する

複数のユーザに対して、クライアントの IP アドレス制限を一括で設定したい場合に本機能を利用します。

なお、変更した設定は、設定変更時に使用中のクライアントには適用されません。
 次のマジックコネクトログイン時より適用されます。

ここでは、「全てのユーザ」のクライアントに対し、下記の制限設定を行う手順を説明します。

- 接続元アドレス 203.0.113.1 のネットワークからの接続を許可する。
- 上記 1 に該当しないネットワークからの接続を禁止する。

(1) 「IP アドレス制限クライアントを一括設定」を選択します。

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューアデスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
	最終利用バージョンをダウンロード

戻る

- (2) 「挿入」を押し、IP アドレス「203.0.113.1」、サブネットマスク「255.255.255.255」を入力し、許可します。リストに適合しない接続を「禁止する」を押し、入力した IP アドレス以外からの接続を禁止します。最後に、[IP アドレス制限を一括設定]ボタンを押します。

IPアドレス制限 エージェントを一括設定
 全て選択 個別選択

① [挿入]を押します。入力欄が表示されるので、IPアドレス：203.0.113.1 サブネットマスク：255.255.255.255 を入力し、「許可する」を選びます。

挿入

203.0.113.1 / 255.255.255.255 削除

を 許可する 禁止する

挿入

リストに適合しない接続を 許可する 禁止する

② 上記①で設定したIPアドレス以外からの接続があった場合の設定として、「禁止する」を選びます。

IPアドレス制限を一括設定 戻る

③ [IPアドレス制限を一括設定]を押します。

3.11.4.6. ビューアのMACアドレス制限を一括で更新する

複数のユーザに対して、ビューアのMACアドレス制限を一括で設定したい場合に本機能を利用します。

なお、変更した設定は、設定変更時に使用中のビューアには適用されません。

次のマジックコネクトログイン時より適用されます。

※本機能は、マジックコネクト・ネオ USB型/USB型プレミアム、アプリ型/アプリ型プレミアムの場合のみ利用可能です。

アプリ型ライトの場合は利用できません。

ここでは、「全てのユーザ」のビューアに対し、下記の制限設定を行う手順を説明します。

- MACアドレス AA-BB-CC-DD-EE-FF を持つ端末の接続を許可する。
- 上記1に該当しない端末からの接続を禁止する。

(1) 「MACアドレス制限ビューアを一括設定」を選択します。

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューアデスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
	最終利用バージョンをダウンロード

戻る

- (2) 「挿入」を押し、MAC アドレス AA-BB-CC-DD-EE-FF」を入力し、許可します。リストに適合しない接続を「禁止する」を押し、入力した MAC アドレス以外からの接続を禁止します。最後に、[MAC アドレス制限を一括設定]ボタンを押します。

The screenshot shows the 'MACアドレス制限 ビューアを一括設定' (MAC Address Restriction Viewer Bulk Setting) screen. At the top, there are radio buttons for '全て選択' (All selected) and '個別選択' (Individual selection). The main area contains a list of MAC addresses. The first entry has 'AA-BB-CC-DD-EE-FF' entered in the input field, with '許可する' (Allow) selected. The second entry has 'リストに適合しない接続を' (Connections not matching the list) entered, with '禁止する' (Prohibit) selected. At the bottom, there is a blue button labeled 'MACアドレス制限を一括設定' (Bulk Set MAC Address Restriction) and a grey button labeled '戻る' (Back).

① [挿入]を押します。入力欄が表示されるので、AA-BB-CC-DD-EE-FFを入力し、「許可する」を選びます。

② 上記①で設定したMACアドレス以外からの接続があった場合の設定として、「禁止する」を選びます。

③ [MACアドレス制限を一括設定]を押します。

3.11.4.7. クライアントの MAC アドレス制限を一括で更新する

複数のユーザに対して、クライアントの MAC アドレス制限を一括で設定したい場合に本機能を利用します。

なお、変更した設定は、設定変更時に使用中のクライアントには適用されません。
 次のマジックコネクトログイン時より適用されます。

※本機能は、マジックコネクト・ネオ USB 型/USB 型プレミアム、アプリ型/アプリ型プレミアムの場合のみ利用可能です。

アプリ型ライトの場合は利用できません。

ここでは、「全てのユーザ」のクライアントに対し、下記の制限設定を行う手順を説明します。

- MAC アドレス AA-BB-CC-DD-EE-FF のを持つ端末からの接続を許可する。
- 上記 1 に該当しない端末からの接続を禁止する。

(1) 「MAC アドレス制限クライアントを一括設定」を選択します。

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューアデスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
	最終利用バージョンをダウンロード

[戻る](#)

- (2) 「挿入」を押し、MAC アドレス AA-BB-CC-DD-EE-FF」を入力し、許可します。リストに適合しない接続を「禁止する」を押し、入力した MAC アドレス以外からの接続を禁止します。最後に、[MAC アドレス制限を一括設定]ボタンを押します。

The screenshot shows the 'MACアドレス制限 クライアントを一括設定' (MAC Address Restriction Client Bulk Setting) screen. At the top, there are radio buttons for '全て選択' (Selected) and '個別選択' (Individual Selection). The main area contains a list of MAC addresses. The first entry has '挿入' (Insert) and '削除' (Delete) buttons, and a radio button for '許可する' (Allow) which is selected. The second entry has '挿入' (Insert) and 'リストに適合しない接続を' (Connections not matching the list) buttons, and radio buttons for '許可する' (Allow) and '禁止する' (Prohibit), with '禁止する' (Prohibit) selected. At the bottom, there is a blue button labeled 'MACアドレス制限を一括設定' (Apply MAC Address Restriction) and a grey button labeled '戻る' (Back).

① [挿入]を押します。
入力欄が表示されるので、
AA-BB-CC-DD-EE-FF
を入力し、「許可する」を選びます。

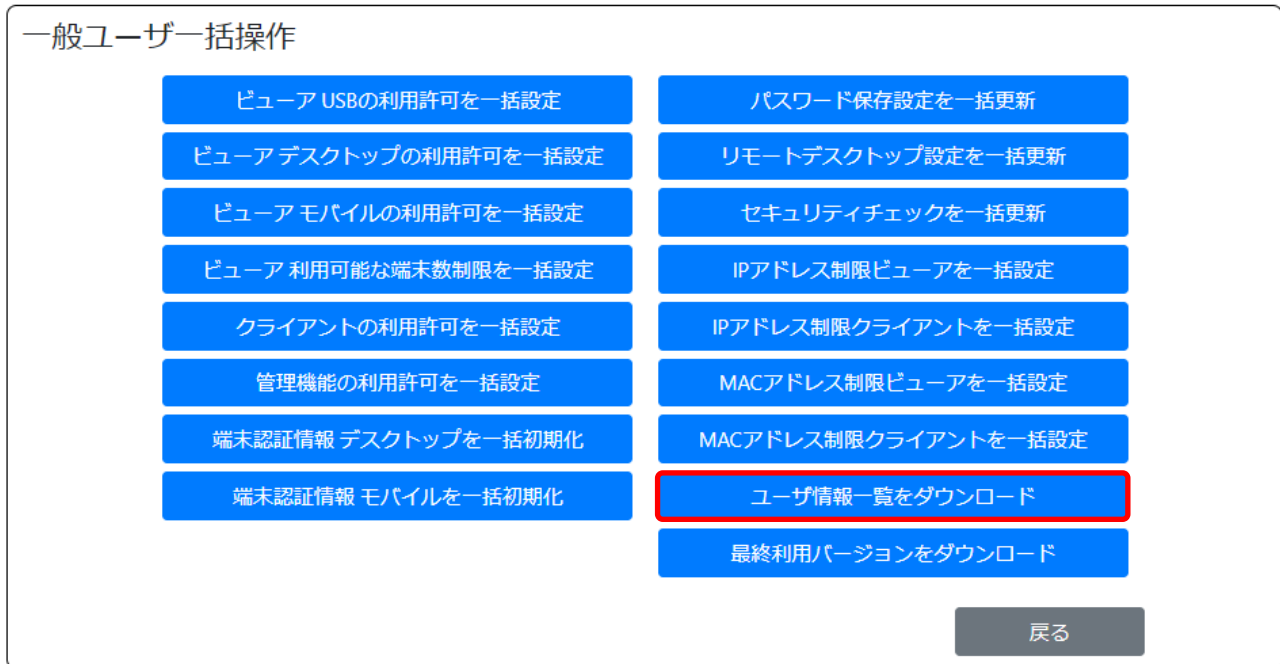
② 上記①で設定したMACアドレス以外
からの接続があった場合の設定として、
「禁止する」を選びます。

③ [MACアドレス制限を一括設定]を押
します。

3.12. ユーザの契約情報を確認する

ユーザの契約情報が記載されたユーザ情報一覧をダウンロードできます。

- (1) 「ユーザ情報一覧をダウンロード」を選択します。



- (2) 画面に表示されたリンクをクリックします。

※5 万ユーザ以上存在する場合は、リンクが複数に分割されます。



■ 「ユーザ情報一覧」 CSV ファイル (user_list.csv) の例

User	Type	USB Lot Number	Service Start Date	Service End Date	BCP
user1	USB 型プレミアム	0000#00000	2022-01-01		-
user2	USB 型プレミアム	0000#00001	2022-01-01		-
user3	USB 型	0000#00002			
user4	USB 型	0000#00003			
user5	アプリ型プレミアム		2022-01-01		-
user6	アプリ型プレミアム		2022-01-01		
user7	アプリ型				
user8	アプリ型				○
user9	アプリ型ライト		2022-01-01		○
user10	アプリ型ライト		2022-01-01	2023-01-01	-
user11	対象機器専用		2022-01-01	2023-01-01	-
user.mc3000	対象機器専用		2022-01-01		-

■ 項目と表示内容を説明します。

列	CSV の項目名	説明
1	User	ユーザ名。
2	Type	契約のタイプ。
3	USB Lot Number	USB キーのロット番号。 USB 型/USB 型プレミアム以外の契約では空欄。
4	Service Start Date	サービス提供開始日。※1
5	Service End Date	サービス解約日。※1 解約予定がない場合は空欄。
6	BCP	BCP 安心サポートの加入状況。 加入していない場合は「-」。

※1 日付のフォーマットは「西暦年-月-日」(例: 2014-09-17) です。

ただし、エクセルで開いた場合、表示上のフォーマットはエクセルの設定に従いますのでご注意ください。(例: 2014/9/17)

3.13. ユーザが利用しているビューアとクライアントの種別とバージョンを確認する ビューアとクライアントの種別とバージョンが記載されたユーザ情報一覧をダウンロードできます。

(1) 「最終利用バージョンをダウンロード」を選択します。

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューアデスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
	最終利用バージョンをダウンロード

[戻る](#)

(2) 画面に表示されたリンクをクリックします。

※5 万ユーザ以上存在する場合は、リンクが複数に分割されます。

最終利用バージョン一覧をダウンロード

- [last_version_1.csv : 1~50000件](#)

[戻る](#)

■ 「最終利用バージョン一覧」 CSV ファイル (last_version.csv) の例

<i>Account</i>	<i>Client Type</i>	<i>App Type</i>	<i>Last Login Version</i>	<i>Last Login Date</i>	<i>Device Name</i>	<i>Device OS</i>	<i>Device Registered Date</i>
user1	mc-agent	desktop	8.0r2	2022-03-03T02:21:12.823+09:00-	-	-	-
user2	mc-viewer	desktop	8.0r1	2022-03-02T15:42:07.219758+09:00	20000000-0	Windows	2022-03-02T15:42:05.897021+09:00
user2	mc-agent	desktop	-	-	-	-	-

■ 項目と表示内容を説明します。

列	CSV の項目名	説明
1	Account	ユーザ名。
2	Client Type	アプリケーションの種別。 「mc-viewer」：手元端末のビューアプログラム。 「mc-agent」：接続先機器のクライアントプログラム。
3	App Type	プログラムの種別。 「usb」：USB キーから起動するプログラム。 「desktop」：Windows、Mac にインストールするプログラム。 「mobile」：iPhone/iPad、Android 端末にインストールするプログラム。
4	Last Login Version	マジックコネクトサーバへのログインに最後に成功したプログラムのバージョン。未接続の場合は「-」。
5	Last Login Date	マジックコネクトサーバへのログインに最後に成功した日時。未接続の場合は「-」。
6	Device Name	手元端末の名称。 USB キーから起動するビューアプログラムの場合は USB キーのロット番号。 接続先機器 (mc-agent) の場合は「-」。
7	Device OS	手元端末の OS 種別。 「Windows」「iOS」「Android」の3種類。 USB キーから起動するビューアプログラムの場合や 接続先機器 (mc-agent) の場合は「-」。
8	Device Registered Date	手元端末の端末認証情報を登録した日時。 未接続の場合、USB キーから起動するビューアプログラムの場合、そして 接続先機器 (mc-agent) の場合は「-」。

※USB キーから起動するビューアプログラムと接続先機器のクライアントプログラムは、未接続の場合も含め各ユーザにつきそれぞれ 1 行存在します。

※手元端末にインストールするビューアプログラムは、端末認証情報が登録された手元端末の数だけ行が存在します。ユーザが 1 台も登録していない場合はそのユーザについての行が存在しません。

4. グループ化接続構成

本機能を利用することで、異なるユーザのビューア・クライアント間で通信するための接続構成を参照・編集できます。

接続構成を編集した場合、即時に通信へ反映されます。

4.1. 接続構成例の説明	95
4.1.1. 標準接続、グループ化接続とは	95
4.2. 接続構成を参照する	96
4.2.1. 各ビューアが接続できるクライアントの一覧を表示する	96
4.2.2. 各クライアントへ接続できるビューアの一覧を表示する	98
4.3. 接続構成を編集する	100
4.3.1. 複数の接続先機器へ接続できるようにする（1対N接続）	100
4.3.2. Windows サーバへ複数のユーザが接続できるようにする（N対1接続）	105
4.3.3. WOL コントローラ「MC3000」を利用する接続構成とする（N対M接続）	111
4.3.4. グループ化接続を削除する	117
4.4. グループ化接続の作業を CSV 形式のファイルで行う	121
4.4.1. グループ化接続構成を CSV 形式でダウンロードする	124
4.4.2. グループ化接続構成を CSV 形式で一括追加する	125
4.4.3. グループ化接続構成を CSV 形式で一括削除する	127

グループ化接続構成画面を表示するには、トップ画面から「グループ化接続構成」をクリックします。

トップ	アクセス履歴	ユーザ管理	グループ化接続構成	管理機能利用設定	パスワード変更
	アクセス履歴 過去1年のアクセス履歴を表示することができます。		ユーザ管理 アカウントごとにユーザー情報を管理することができます。		
	グループ化接続構成 現在の接続構成を表示・編集することができます。		管理機能利用設定 管理機能利用についての各種設定を管理することができます。		
	パスワード変更 登録されているパスワードを変更することができます。	「グループ化接続構成」をクリックします。			

4.1. 接続構成例の説明

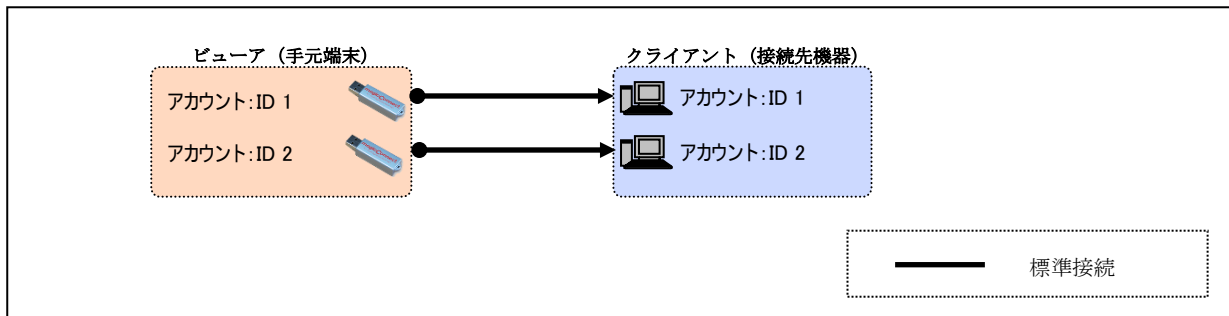
4.1.1. 標準接続、グループ化接続とは

マジックコネクトでは、多様な接続構成を簡単に実現できるようにするため、2つのタイプの接続を用意しています。

■「標準接続」

ビューアおよびクライアントに、同じユーザ名を設定するだけで、ビューア・クライアント間の通信が可能になります。下図において、黒の実線で示されている接続です。

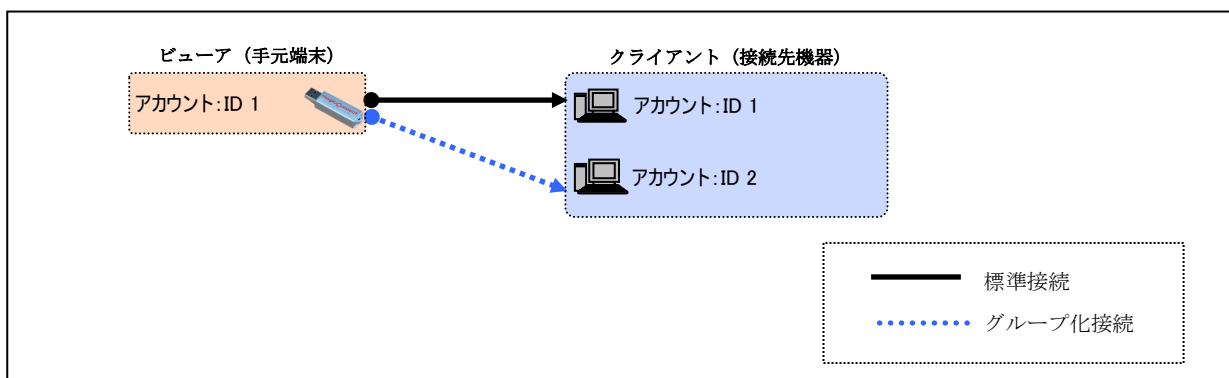
初期状態から可能です。



■「グループ化接続」

異なるユーザ名が設定されたビューア・クライアント間を通信可能にします。下図において、青の破線で示されている接続です。

グループ化の機能を用い、ビューア・クライアント間の接続構成を登録することにより実現されます。



4.2. 接続構成を参照する

4.2.1. 各ビューアが接続できるクライアントの一覧を表示する

- 一覧からビューアが接続できるクライアントを確認する

アカウント管理者account.adminに所属するユーザのグループ化接続構成一覧を表示しています。
接続構成を変更するにはユーザ名をクリックしてください。

[CSV一括操作](#)

[検索](#)

ユーザ名	ビューアが接続できるクライアント一覧	クライアントに接続できるビューア一覧
user1	user.mc3000	
user2		
user3		
user4		
user5		
user6		
user7		
user.mc3000		user1

[<<](#)
[<](#)
1
[>](#)
[>>](#)

ビューアが接続できるクライアントを確認できます。

■接続構成画面からビューアが接続できるクライアントを確認する

(1) ユーザー一覧から接続構成を参照したいユーザ名を選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザのグループ化接続構成一覧を表示しています。
接続構成を変更するにはユーザ名をクリックしてください。

CSV一括操作

検索

ユーザ名	ビューアが接続できるクライアント一覧	クライアントに接続できるビューア一覧
user1		
user2		
user3		
user4		
user5		
user6		
user7		
user.mc3000		

検索で絞り込むこともできます。

選択します。

<< < 1 > >>

(2) 「ビューアが接続できるクライアント」を確認します。

「標準接続」は、黒の実線で示され、「グループ化接続」は、青の実線で示されます。

一般ユーザuser1のグループ化接続構成を表示しています。

ビューアが接続できるクライアント

絞り込みが可能です。

ビューア

クライアント

user1

user.mc3000

接続先クライアントを追加

クライアントに接続できるビューア

ビューア

クライアント

user1

接続元ビューアを追加

ユーザ接続構成一覧に戻る

4.2.2. 各クライアントへ接続できるビューアの一覧を表示する

- 一覧からクライアントへ接続できるビューアを確認する。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザのグループ化接続構成一覧を表示しています。
接続構成を変更するにはユーザ名をクリックしてください。

[CSV一括操作](#)

[検索](#)

ユーザ名	ビューアが接続できるクライアント一覧	クライアントに接続できるビューア一覧
user1		
user2		
user3		
user4		
user5		
user6		
user7		
user.m...		

クライアントへ接続できるビューアを確認できます。

<< < 1 > >>

■ 接続構成画面からクライアントへ接続できるビューア一覧を表示する

(1) ユーザー一覧から接続構成を参照したいユーザ名を選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザのグループ化接続構成一覧を表示しています。
接続構成を変更するにはユーザ名をクリックしてください。

CSV一括操作

検索

ユーザ名	ビューアが接続できるクライアント一覧	クライアントに接続できるビューア一覧
user1	user.mc3000	
user2		
user3		
user4		
user5		
user6		
user7		
user.mc3000		user1

検索で絞り込むこともできます。

選択します。

<< < 1 > >>

(2) 「クライアントに接続できるビューア」を確認します。

「標準接続」は、黒の実線で示され、「グループ化接続」は、青の実線で示されます。

一般ユーザuser.mc3000のグループ化接続構成を表示しています。

クライアントに接続できるビューア

接続元ビューアを追加

ユーザ接続構成一覧に戻る

絞り込みが可能です。

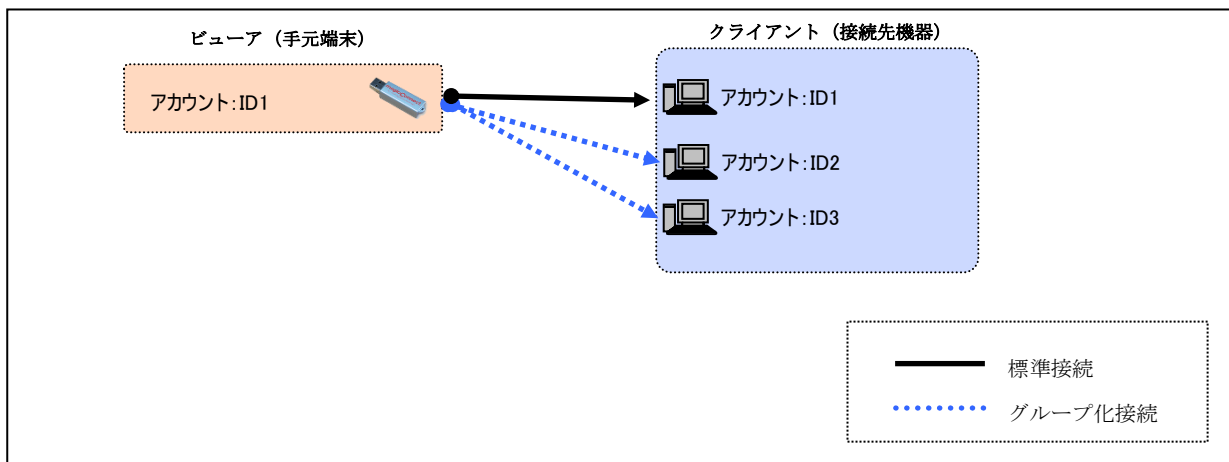
4.3. 接続構成を編集する

4.3.1. 複数の接続先機器へ接続できるようにする（1対N接続）

ここでは、異なるユーザ名が設定された複数台の PC やサーバへ接続できるようにする手順を説明します。

下図に示す、アカウント：ID1(user1)～ID3(user3)の3アカウントが契約され、グループ化接続はされていないとします。

この状態から、ビューア「user1」がクライアント「user2～user3」へ接続するためのグループ化の手順を説明します。



(1) ビューア「user1」の接続先として指定できるクライアントを全て表示するため、「user1」を選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザのグループ化接続構成一覧を表示しています。
接続構成を変更するにはユーザ名をクリックしてください。

CSV一括操作

検索

ユーザ名	ビューアが接続できるクライアント一覧	クライアントに接続できるビューア一覧
user1	user.mc3000	
user2		
user3		
user4		
user5		
user6		
user7		
user.mc3000		user1

選択します。

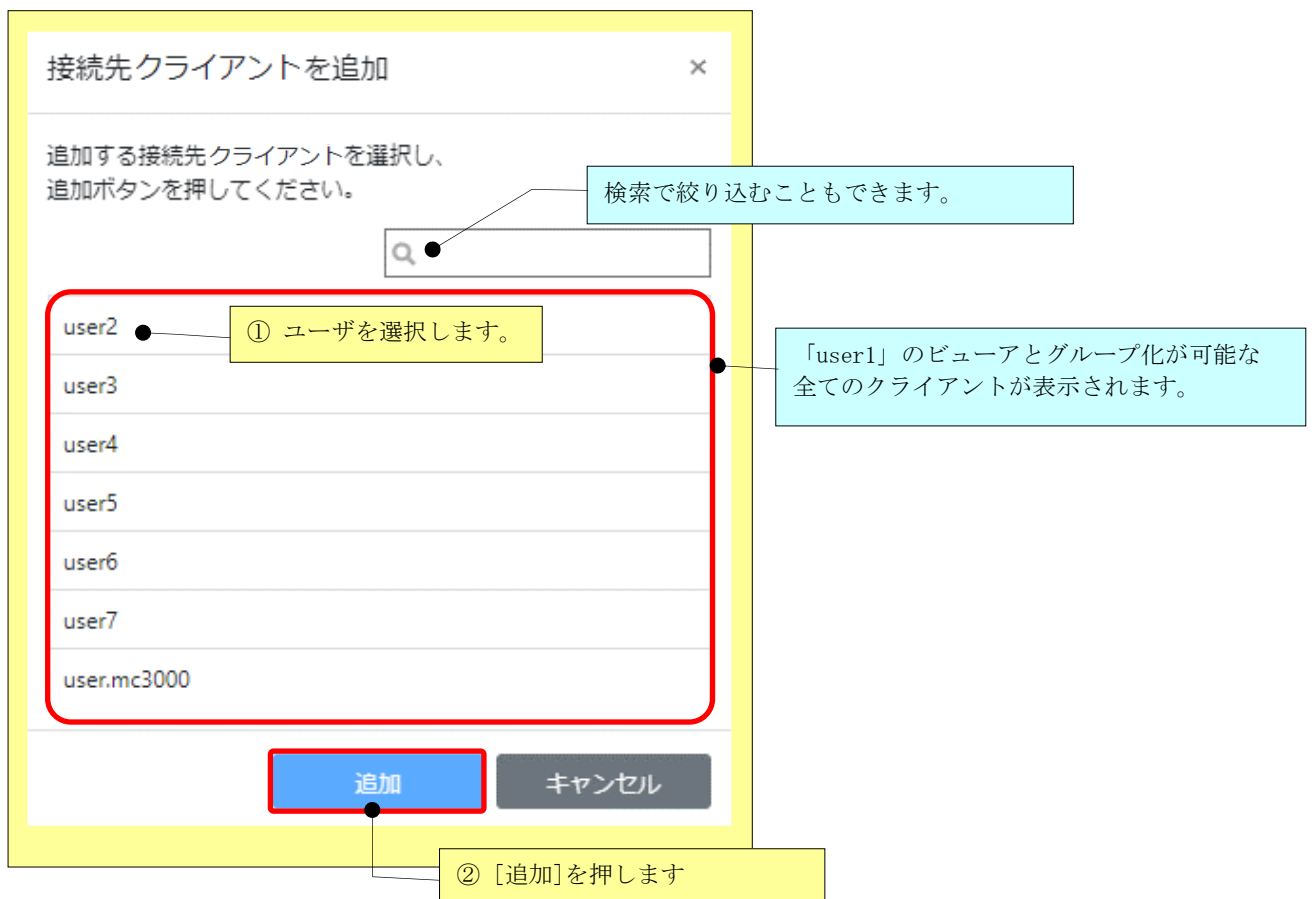
検索で絞り込むこともできます。


<< < 1 > >>

- (2) 「user1」の「ビューアの接続先が接続できるクライアント」の[接続先クライアントを追加]ボタンを押します。



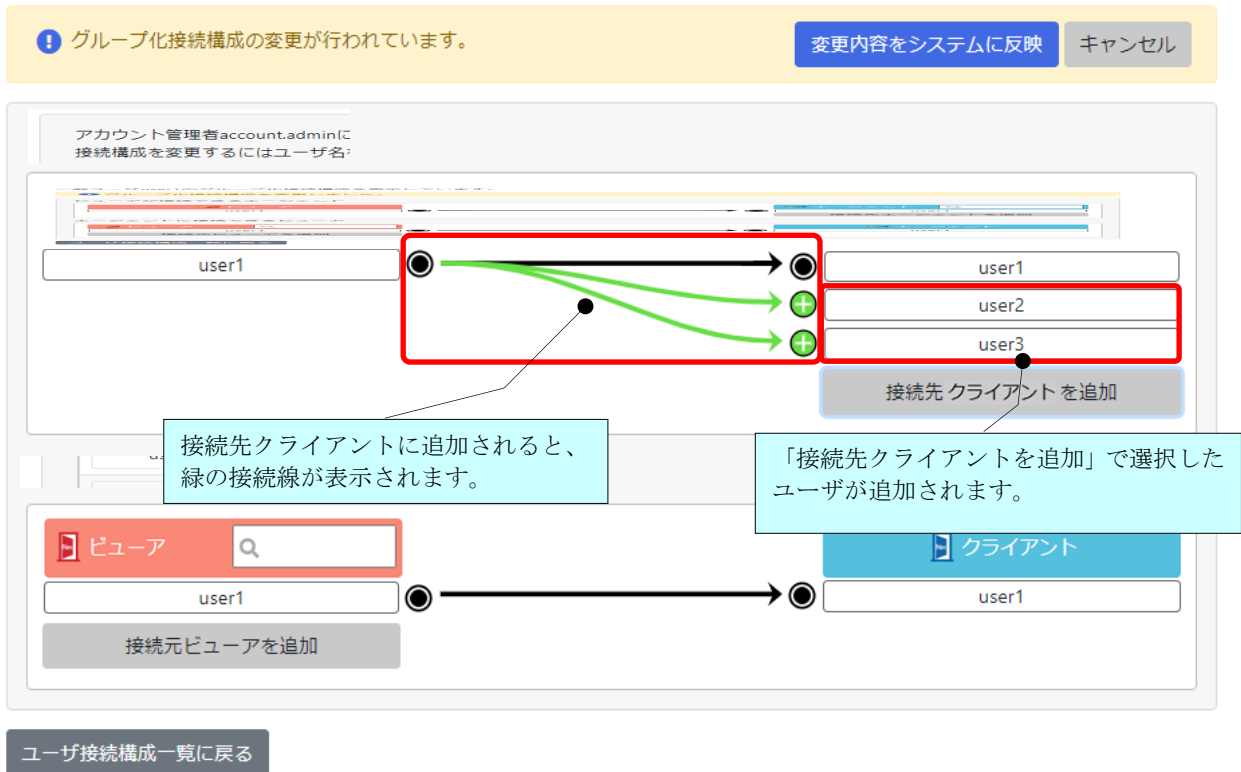
- (3) ビューア「user1」の接続先として指定できる全てのクライアントが表示されます。「user2～user3」を選択します。



- (4) 「接続先クライアントを追加」で追加した「user2～user3」が接続先クライアントの一覧に追加されます。端子マークが「」、「緑」の接続線で表示されます。また、画面上部に「グループ化接続構成の変更が行われています。」のメッセージが表示されます。

注意：この時点では、マジックコネクトサーバには、変更した内容は反映されません。

一般ユーザuser1のグループ化接続構成を表示しています。



! グループ化接続構成の変更が行われています。 変更内容をシステムに反映 キャンセル

アカウント管理者account.adminに
接続構成を変更するにはユーザ名:

user1

user1

user2

user3

接続先クライアントを追加

接続先クライアントに追加されると、
緑の接続線が表示されます。

「接続先クライアントを追加」で選択した
ユーザが追加されます。

ビューア

user1



接続元ビューアを追加

クライアント

user1

ユーザ接続構成一覧に戻る

- (7) ビューア「user1」からクライアント「user2～user3」へ接続可能となった構成が、マジックコネクトサーバに反映された内容で表示されます。

端子マークが「 → 」に変化して、「水色」の接続線と「グループ化接続構成を変更しました。」のメッセージが表示されます。

一般ユーザuser1のグループ化接続構成を表示しています。

グループ化接続構成を変更しました。

アカウント管理者account.adminに接続構成を変更するにはユーザ名:

ビューア

user1

クライアント

user1

user2

user3

接続先 クライアントを追加

更新に成功すると青の接続線が表示されます。

ビューア

user1

接続元ビューアを追加

クライアント

user1

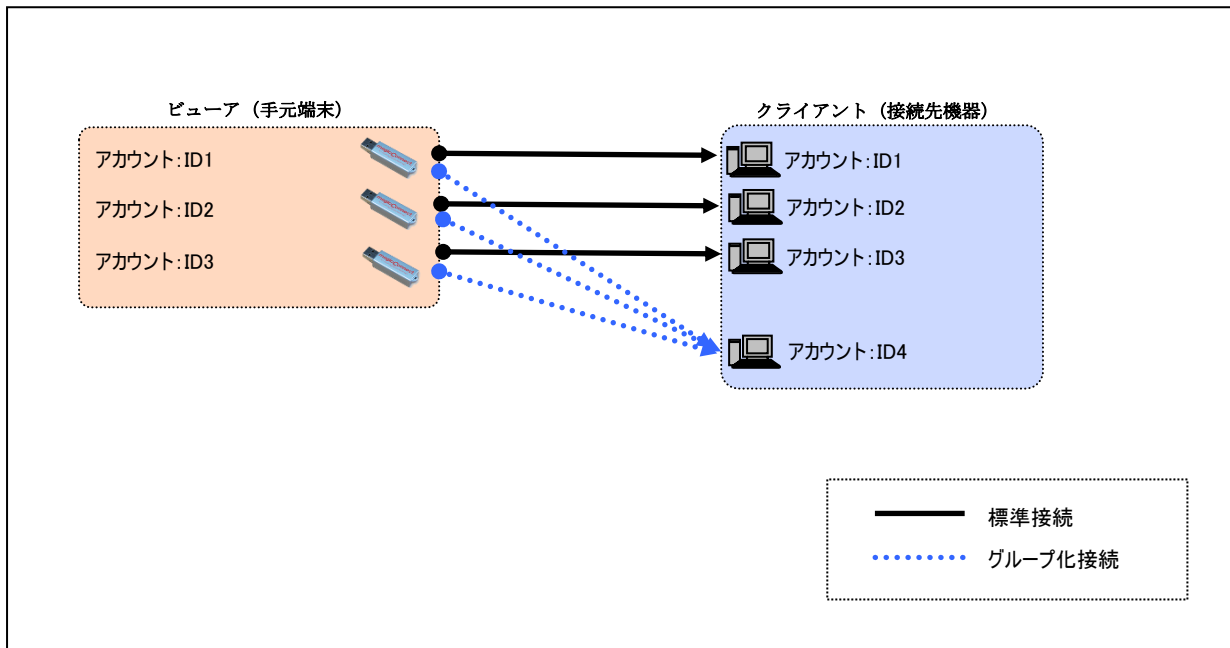
[ユーザ接続構成一覧に戻る](#)

4.3.2. Windows サーバへ複数のユーザが接続できるようにする (N対1接続)

ここでは、1台のWindowsサーバへ、複数のユーザが接続できるようにする手順を説明します。

下図に示す、アカウント：ID1 (user1) ~ID4(user4)の4アカウントが契約され、グループ化接続はされていないとします。

この状態から、ビューア「user1~user3」がクライアント「user4」へ接続するためのグループ化の手順を説明します。



- (1) クライアント「user4」を基点とした表示にするため、「user4」を選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザのグループ化接続構成一覧を表示しています。
接続構成を変更するにはユーザ名をクリックしてください。

CSV一括操作

検索

ユーザ名	ビューアが接続できるクライアント一覧	
user1	user2 user3	
user2		user1
user3		user1
user4		
user5		
user6		
user7		
user.mc3000		

検索で絞り込むこともできます。

選択します。

<< < 1 > >>

- (2) 「クライアントに接続できるビューア」の[接続元ビューアを追加]ボタンを押します。

一般ユーザuser4のグループ化接続構成を表示しています。

アカウント管理者account.adminに
接続構成を変更するにはユーザ名:

ビューア

クライアント

user4

接続先クライアントを追加

ビューア

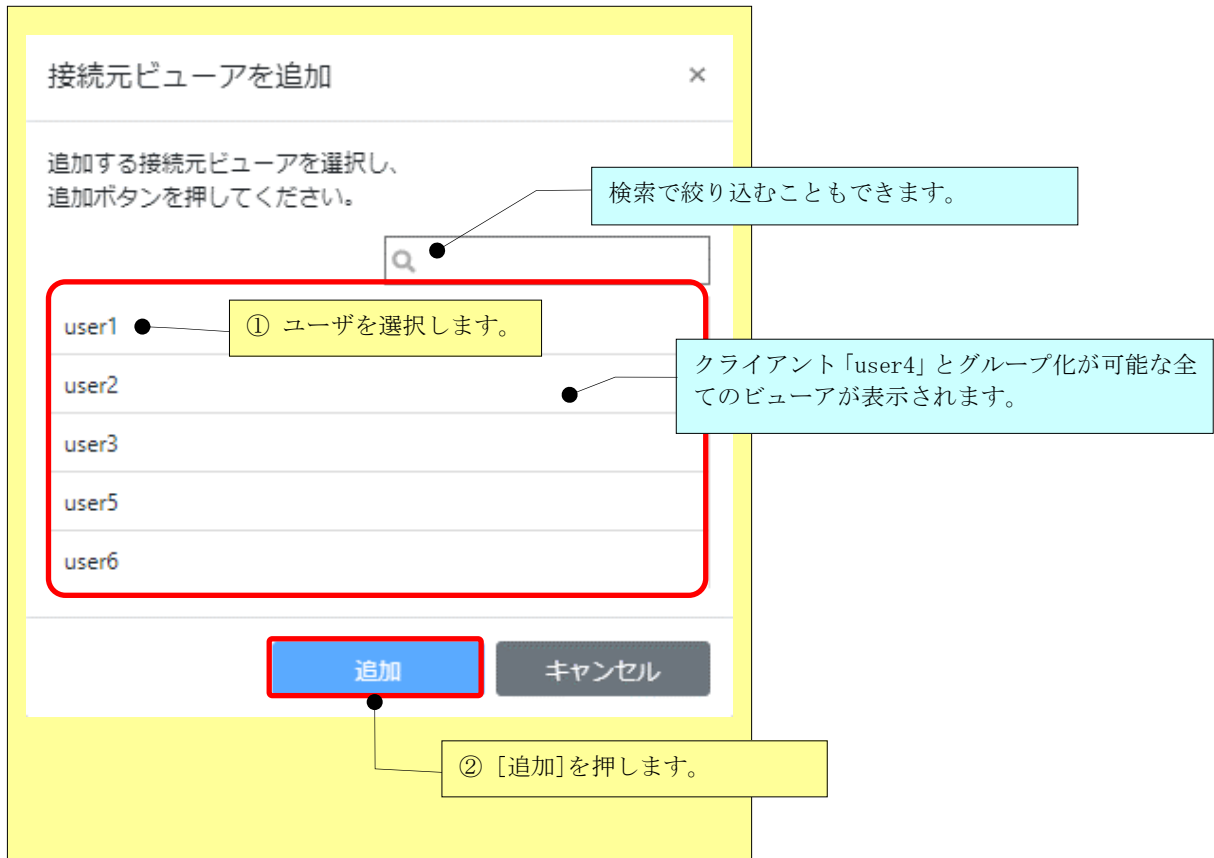
クライアント

user4

接続元ビューアを追加

ユーザ接続構成一覧に戻る

- (3) クライアント「user4」を接続先として指定できる全てのビューアが表示されます。
「user1～user3」を選択します。



- (4) 「接続元ビューアを追加」で選択した「user1～user3」が接続元ビューアのリストに追加されます。端子マークが「**+**」、「緑」の接続線が表示されます。また、画面上部に「グループ化接続構成の変更が行われています。」のメッセージが表示されます。

注意：この時点では、マジックコネクトサーバには、変更した内容は反映されません。

一般ユーザuser4のグループ化接続構成を表示しています。

! グループ化接続構成の変更が行われています。 変更内容をシステムに反映 キャンセル

アカウント管理者account.adminに接続構成を変更するにはユーザ名?

ビューア クライアント

user4 → user4

接続先クライアントを追加

ビューア クライアント

user4
user1
user2
user3

接続元ビューアを追加

接続先クライアント: user4

接続元ビューアに追加されると、緑の接続線が表示されます。

「接続元ビューアを追加」で選択したユーザが追加されます。

- (5) 変更した内容をマジックコネクトサーバに反映するため、[変更内容をシステムに反映]ボタンを押します。

一般ユーザーuser4のグループ化接続構成を表示しています。

! グループ化接続構成の変更が行われています。 変更内容をシステムに反映 キャンセル

アカウント管理者account.adminに接続構成を変更するにはユーザー名:

ビューア

user4

クライアント

user4

接続先クライアントを追加

ビューア

user4

user1

user2

user3

接続元ビューアを追加

クライアント

user4

ユーザ接続構成一覧に戻る



- (6) 確認メッセージが表示されますので、[OK]を選択します

確認 ×

変更内容をシステムに適用します。
よろしいですか？

OK
キャンセル

(7) ビューア「user1～user3」からクライアント「user4」へ接続可能となった構成が、マジックコネクトサーバに反映された内容で表示されます。

端子マークが「 → 」に変化して、「青」の接続線が表示されます。また、画面上部に「グループ化接続構成を変更しました。」のメッセージが表示されます。

一般ユーザuser4のグループ化接続構成を表示しています。

! グループ化接続構成を変更しました。

アカウント管理者account.adminに接続構成を変更するにはユーザ名:

ビューア

user4

→

クライアント

user4

接続先 クライアントを追加

ビューア

user4

user1

user2

user3

接続元ビューアを追加

→

クライアント

user4

更新に成功すると青の接続線が表示されます。

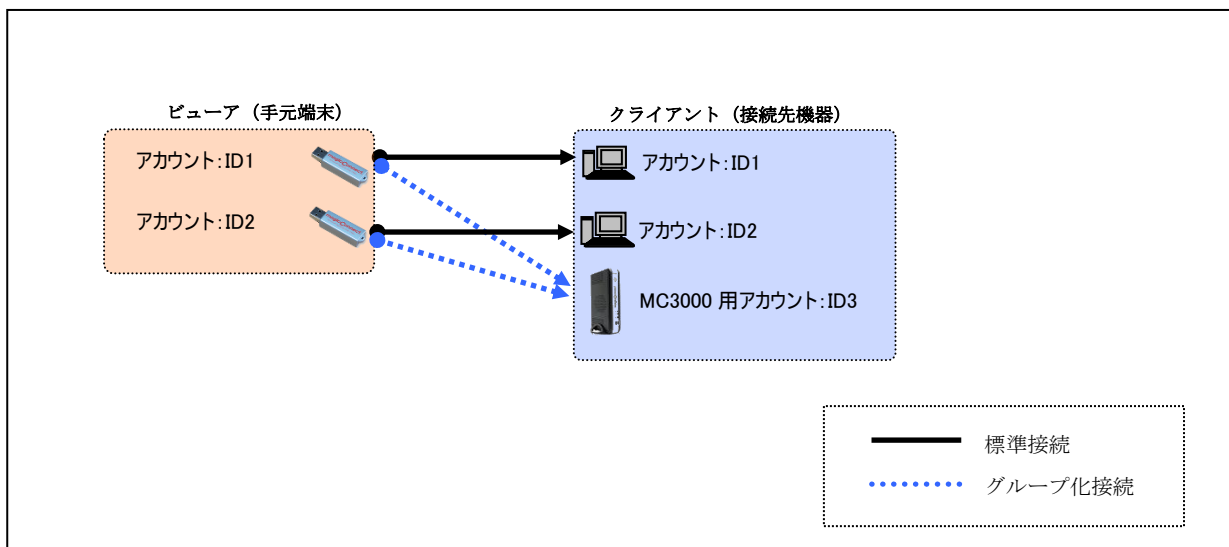
ユーザ接続構成一覧に戻る

4.3.3. WOL コントローラ「MC3000」を利用する接続構成とする (N 対 M 接続)

ここでは、電源オフ状態のオフィス PC を、WOL コントローラ「MC3000」でリモートから起動して、接続できるようにする手順を説明します。

下図に示す、アカウント : ID1 (user1) ~ID2 (user2) と、MC3000 用アカウント : ID3 (user.mc3000) の計 3 アカウントが契約され、グループ化接続はされていないとします。

この状態から、「MC3000」を利用できるようにするため、MC3000 用アカウント「user.mc3000」へビューア「user1~user2」から接続するためのグループ化の手順を説明します。



- (1) クライアント「user.mc3000」を基点とした表示にするため、「user.mc3000」を選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザのグループ化接続構成一覧を表示しています。
接続構成を変更するにはユーザ名をクリックしてください。

[CSV一括操作](#)

検索

ユーザ名	ビューアが接続できるクライアント一覧	
user1	user2 user3	
user2		user1
user3		user1
user4		
user5		
user6		
user7		
user.mc3000		

<<
<
1
>
>>

検索で絞り込むこともできます。

- (2) 「クライアントに接続できるビューア」の[接続元ビューアを追加]ボタンを押します。

一般ユーザuser.mc3000のグループ化接続構成を表示しています。

ビューア

クライアント


●

接続元ビューアを追加

[ユーザ接続構成一覧に戻る](#)

- (3) クライアント「user.mc3000」を接続先として指定できる全てのビューアが表示されます。
「user1～user2」を選択します。

The screenshot shows a dialog box titled "接続元ビューアを追加" (Add Connection Point View) with a close button (X) in the top right corner. Below the title bar, there is a text instruction: "追加する接続元ビューアを選択し、追加ボタンを押してください。" (Select the connection point view to be added and press the add button). A search input field with a magnifying glass icon is located below the instruction, with a callout box stating "検索で絞り込むこともできます。" (You can also narrow down the search). Below the search field is a list of user names: "user1", "user2", "user3", "user5", and "user6". A red rectangular box highlights the entire list area, with a callout box pointing to "user1" that says "① ユーザを選択します。" (① Select the user). At the bottom of the dialog, there are two buttons: a blue "追加" (Add) button and a grey "キャンセル" (Cancel) button. A callout box points to the "追加" button with the text "② [追加]を押します。" (② Press [Add]). A larger callout box on the right side of the dialog states: "「user.mc3000」のクライアントとグループ化が可能な全てのビューアが表示されます。" (All viewable views that can be grouped with the client "user.mc3000" are displayed).

- (4) 「user1～user2」の横に表記されている端子マークをクリックします。
端子マークが「」に変化して、「緑」の接続線が表示されます。また、画面上部に「グループ化接続構成の変更が行われています。」のメッセージが表示されます。

注意：この時点では、マジックコネクトサーバには、変更した内容は反映されません。

一般ユーザuser.mc3000のグループ化接続構成を表示しています。

！ グループ化接続構成の変更が行われています。

変更内容をシステムに反映 キャンセル

ビューア

クライアント

user1

user2

user.mc3000

接続元ビューアを追加

「接続元ビューアを追加」で選択したユーザが追加されます。

接続元ビューアに追加されると、緑の接続線が表示されます。

- (5) 変更した内容をマジックコネクトサーバに反映するため、[変更内容をシステムに反映]ボタンを押します。



一般ユーザuser.mc3000のグループ化接続構成を表示しています。

The screenshot shows a web interface for managing connections. At the top, a yellow banner contains a blue information icon and the text "グループ化接続構成の変更が行われています。" (Grouped connection configuration is being changed). To the right of the banner are two buttons: "変更内容をシステムに反映" (Apply changes to system) and "キャンセル" (Cancel). Below the banner is a main panel with a search bar labeled "ビューア" (Viewer) and a search icon. Underneath are two input fields containing "user1" and "user2", each with a green plus icon to its right. A grey button below these fields is labeled "接続元ビューアを追加" (Add connection source viewer). To the right of these fields is a blue button labeled "クライアント" (Client) and a search icon. Below it is a white input field containing "user.mc3000". Two green arrows point from the plus icons next to "user1" and "user2" to a radio button next to the "user.mc3000" field. At the bottom left of the main panel is a grey button labeled "ユーザ接続構成一覧に戻る" (Return to user connection configuration list).

- (6) 確認メッセージが表示されますので、[OK]を選択します。

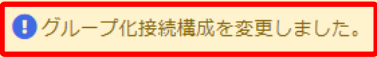
The screenshot shows a confirmation dialog box with a yellow border. The title bar contains the text "確認" (Confirmation) and a close button (X). The main text area contains the message "変更内容をシステムに適用します。よろしいですか?" (Apply changes to the system. Is it okay?). At the bottom of the dialog are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel). The "OK" button is highlighted with a red border.

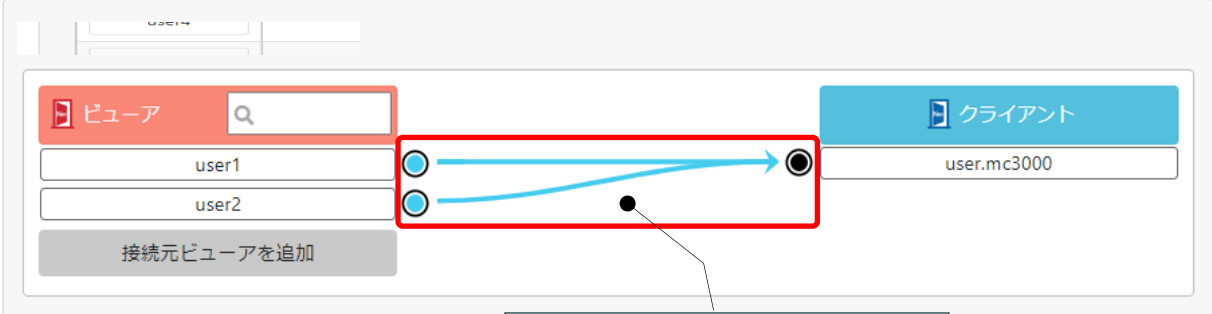
(7) ビューア「user1～user2」からクライアント「user.mc3000」へ接続可能となった構成が、マジックコネクトサーバに反映された内容で表示されます。

端子マークが「 → 」に変化して、「青」の接続線が表示されます。

また、画面上部に「グループ化接続構成を変更しました。」のメッセージが表示されます。

一般ユーザuser.mc3000のグループ化接続構成を表示しています。



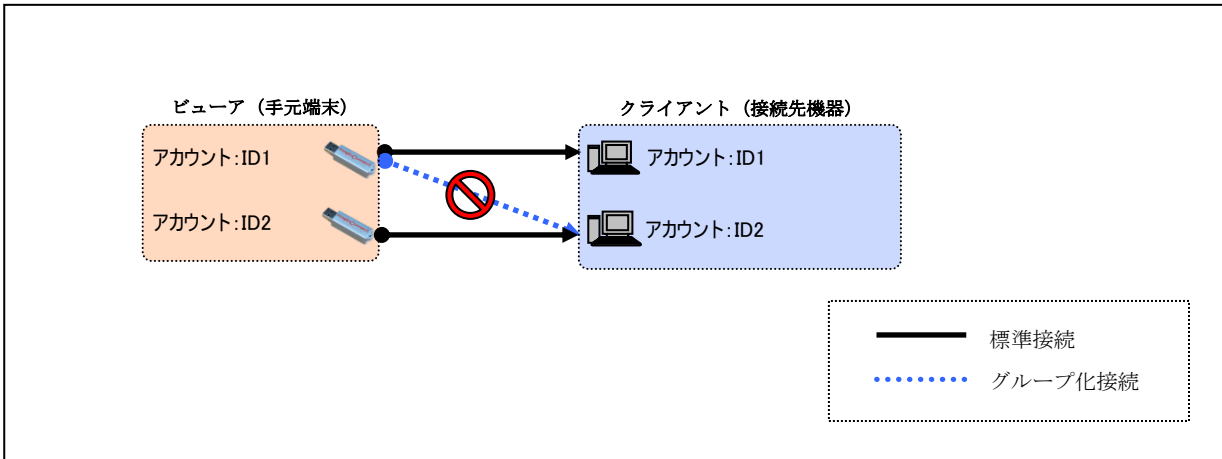


更新に成功すると青の接続線が表示されます。

ユーザ接続構成一覧に戻る

4.3.4. グループ化接続を削除する

下図に示す、アカウント：ID1 (user1) とアカウント：ID2 (user2) が契約され、ビューア ID1 (user1) とクライアント ID2 (user2) の間がグループ化接続されているとします。



ここでは、ビューア「user1」からクライアント「user2」へのグループ化接続を削除する手順を説明します。

(1) ビューア「user1」を基点とした表示にするため「user1」を選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザのグループ化接続構成一覧を表示しています。
接続構成を変更するにはユーザ名をクリックしてください。

CSV一括操作

検索

ユーザ名	ビューアが接続できるクライアント一覧	クライアントに接続できるビューア一覧
user1	選択します。	
user2		
user3		
user4		
user5		
user6		
user7		
user.mc3000		

<< < 1 > >>

- (2) クライアント「user2」の横に表記されている端子マークをクリックします。
端子マークが「●→❌」に変化して「灰色 破線」の接続線と「グループ化接続構成の変更が行われています。」のメッセージが表示されます。

注意：この時点では、マジックコネクトサーバには、変更した内容は反映されません。

一般ユーザuser1のグループ化接続構成を表示しています。

! グループ化接続構成の変更が行われています。

アカウント管理者account.adminに
接続構成を変更するにはユーザ名:

P ビューア

user1

C クライアント

接続先クライアントを追加

P ビューア

user1

C クライアント

user2の横にある端子マークをクリックします。
すると、灰色・破線の接続線が表示されます。

接続元ビューアを追加

ユーザ接続構成一覧に戻る

- (3) 変更した内容をマジックコネクトサーバに反映するため、[変更内容をシステムに反映]ボタンを押します。

一般ユーザuser1のグループ化接続構成を表示しています。

! グループ化接続構成の変更が行われています。 変更内容をシステムに反映 キャンセル

アカウント管理者account.adminに
接続構成を変更するにはユーザ名:

ビューア

user1

→

クライアント

user1

user2

接続先クライアントを追加

ビューア

user1

接続元ビューアを追加

→

クライアント

user1

ユーザ接続構成一覧に戻る

- (4) 確認メッセージが表示されますので、[OK]を選択します。

確認 ×

変更内容をシステムに適用します。
よろしいですか？

OK
キャンセル

(5) ビューア「user1」に対する構成が、マジックコネクトサーバに反映された内容で表示されます。

一般ユーザuser1のグループ化接続構成を表示しています。

! グループ化接続構成を変更しました。

アカウント管理者account.adminに
接続構成を変更するにはユーザ名:

ビューア

user1

クライアント

user1

接続先 クライアントを追加

ビューア

user1

クライアント

user1

接続元ビューアを追加

ユーザ接続構成一覧に戻る

4.4. グループ化接続の作業を CSV 形式のファイルで行う

「グループ化接続構成」のダウンロードや編集を、CSV 形式のファイルで行う方法を説明します。

■ グループ化一括操作画面の表示

「グループ化接続構成」のダウンロードや編集は「グループ化一括操作画面」で行います。

「グループ化一括操作画面」はグループ化のページ右肩にある[CSV 一括操作]ボタンを押します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザのグループ化接続構成一覧を表示しています。
接続構成を変更するにはユーザ名をクリックしてください。

CSV一括操作

[CSV 一括操作]を押します。

検索

ユーザ名	ビューアが接続できるクライアント一覧	クライアントに接続できるビューア一覧
user1		
user2		
user3		
user4		
user5		
user6		
user7		
user.mc3000		

<< < 1 > >>

グループ化一括操作画面が表示されます。

アカウント管理者account.adminが管理する一般ユーザのグループ化接続構成を対象にCSV形式で一括操作を行います。

グループ化接続構成をダウンロード(CSV形式)

アカウント管理者account.adminが管理する一般ユーザのグループ化接続構成一覧をCSVファイルでダウンロードします。

[接続構成をダウンロード](#)

グループ化接続構成をCSV形式で一括追加

追加したい接続構成を記述したCSVファイルをアップロードし、アカウント管理者account.adminが管理する一般ユーザの接続構成に一括追加します。

[ファイル選択](#) [接続構成を一括追加](#)

グループ化接続構成をCSV形式で一括削除

削除したい接続構成を記述したCSVファイルをアップロードし、アカウント管理者account.adminが管理する一般ユーザの接続構成を一括削除します。

[ファイル選択](#) [接続構成を一括削除](#)

① CSVファイルのフォーマットについて

CSV形式のファイルは、グループ化接続の情報のみで構成され、標準接続の情報は含みません。1行が1組 (1:1) のグループ化接続を表します。

① ヘッダ行

1行目はヘッダ行です。ヘッダ行は次の通りです。

```
source (viewer),destination (client)
```

① CSV形式のグループ化接続構成

2行目以降にグループ化接続構成を記述します。行は「接続元であるビューアのユーザ名」「(カンマ)」「接続先であるエージェントのユーザ名」という形式で記述します。

接続元であるビューアのユーザ名	接続元であるビューアのユーザ名を1つ記述します。
接続先であるクライアントのユーザ名	接続先であるクライアントのユーザ名を1つ記述します。

① 記述例

記述例は次の通りです。

```
source (viewer),destination (client)
user1,user.mc3000
user2,user.mc3000
```

① テンプレート用CSV

アップロード用のCSVファイルを作成する際は、以下のテンプレート用CSVのご利用をお勧めします。

[📄 テンプレート用CSVをダウンロード](#)

[ユーザ接続構成一覧に戻る](#)

■ CSV 形式のファイルフォーマットについて

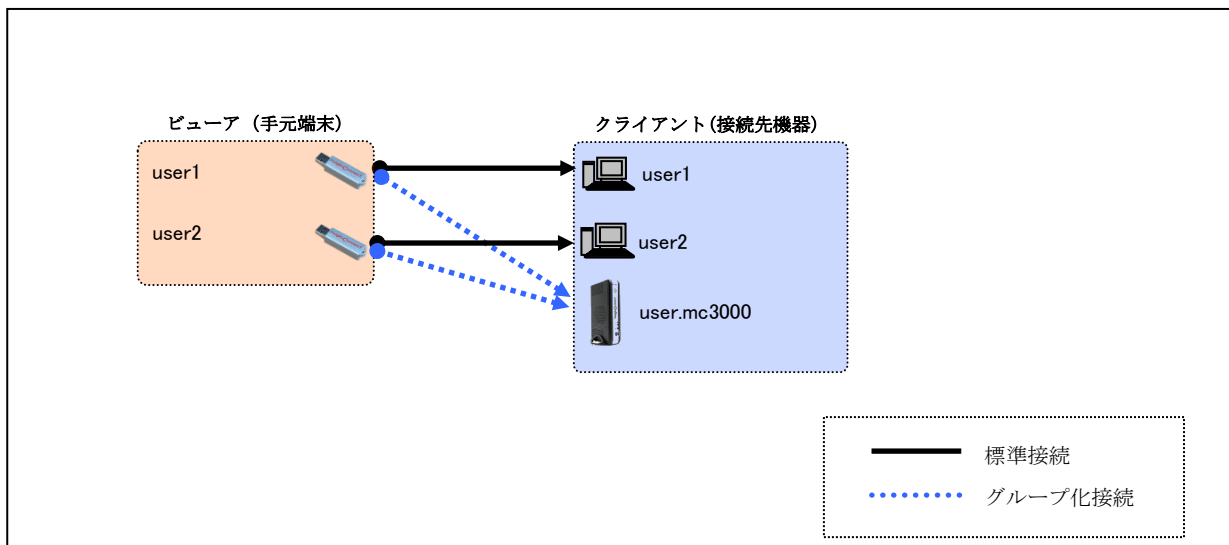
CSV 形式のファイルは、グループ化接続の情報のみで構成され、標準接続の情報は含みません。

1 行が 1 組 (1:1) のグループ化接続を表します。

そして、各行は「接続元であるビューアのユーザ名」「,(カンマ)」「接続先であるクライアントのユーザ名」という形式で記述されます。

■ CSV 形式のファイル例

下図の接続構成に対する CSV ファイルの内容を示します。



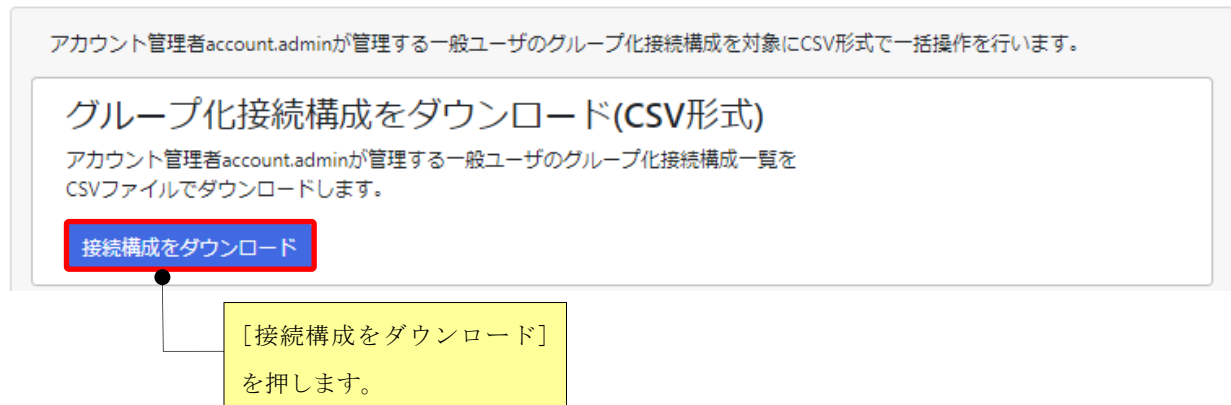
source (viewer),destination (client)●	1 行目はタイトル行です。 マジックコネクトサーバからダウンロードされたファイルに存在します。 自身でファイルを作成する場合、この行は省略可能です。
user1,user.mc3000●	user1 → user.mc3000 に接続
user2,user.mc3000●	user2 → user.mc3000 に接続

4.4.1. グループ化接続構成を CSV 形式でダウンロードする

マジックコネクトサーバに登録されているグループ化接続の情報を CSV 形式でダウンロードします。

グループ化一括操作画面の[接続構成をダウンロード]ボタンを押します。

CSV ファイルのダウンロードが開始されます。標準では「group_年月日_時分秒.csv」というファイル名となっています。



4.4.2. グループ化接続構成を CSV 形式で一括追加する

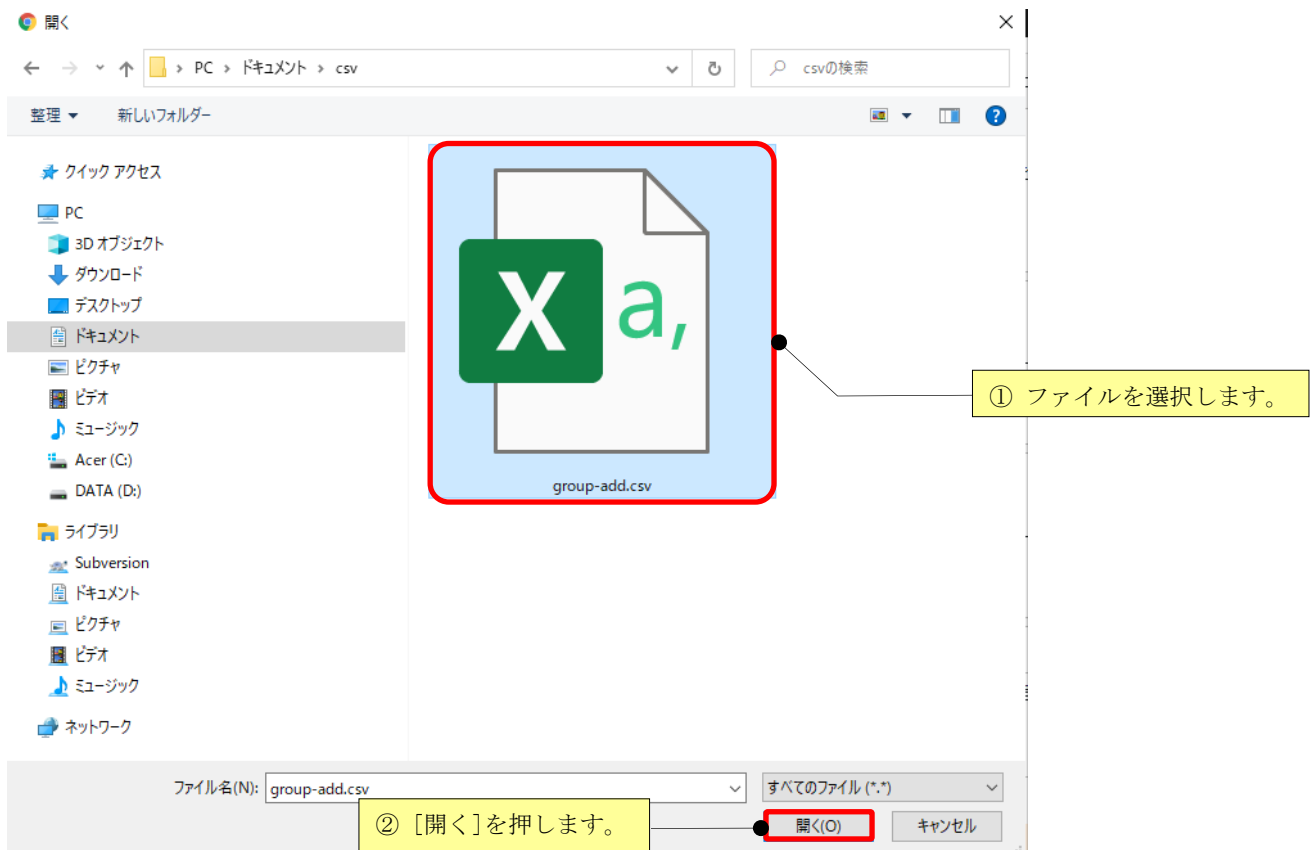
マジックコネクトサーバの既存のグループ化接続の情報を維持した上で、CSV 形式で用意したグループ化接続の情報を追加登録します。

- (1) グループ化一括操作画面の「グループ化接続構成を CSV 形式で一括追加」の[ファイル選択]ボタンを押します。



- (2) ファイルを選択する画面が表示されますので、アップロードする CSV ファイルを選択して、[開く]ボタンを押します。

下図は「group-add.csv」を選択した場合です。



- (3) 「ファイルを選択」の横に、選択したファイルのファイル名が表示されますので、選択したファイルで問題なければ、[接続構成を一括追加]ボタンを押します。

グループ化接続構成をCSV形式で一括追加

追加したい接続構成を記述したCSVファイルをアップロードし、アカウント管理者account.adminが管理する一般ユーザの接続構成に一括追加します。

C:\fakepath\group-add.csv ファイル選択 **接続構成を一括追加**

選択したファイル名が表示されます。

[接続構成を一括追加]を押します。

- (4) 既存のグループ化接続の情報を維持した上で、グループ化接続の情報が追加登録されます。

以下のグループ化接続構成を一括追加しました。

ビューア	クライアント	状態
user1	user.mc3000	成功
user2	user.mc3000	成功

ユーザ接続構成一覧に戻る

4.4.3. グループ化接続構成を CSV 形式で一括削除する

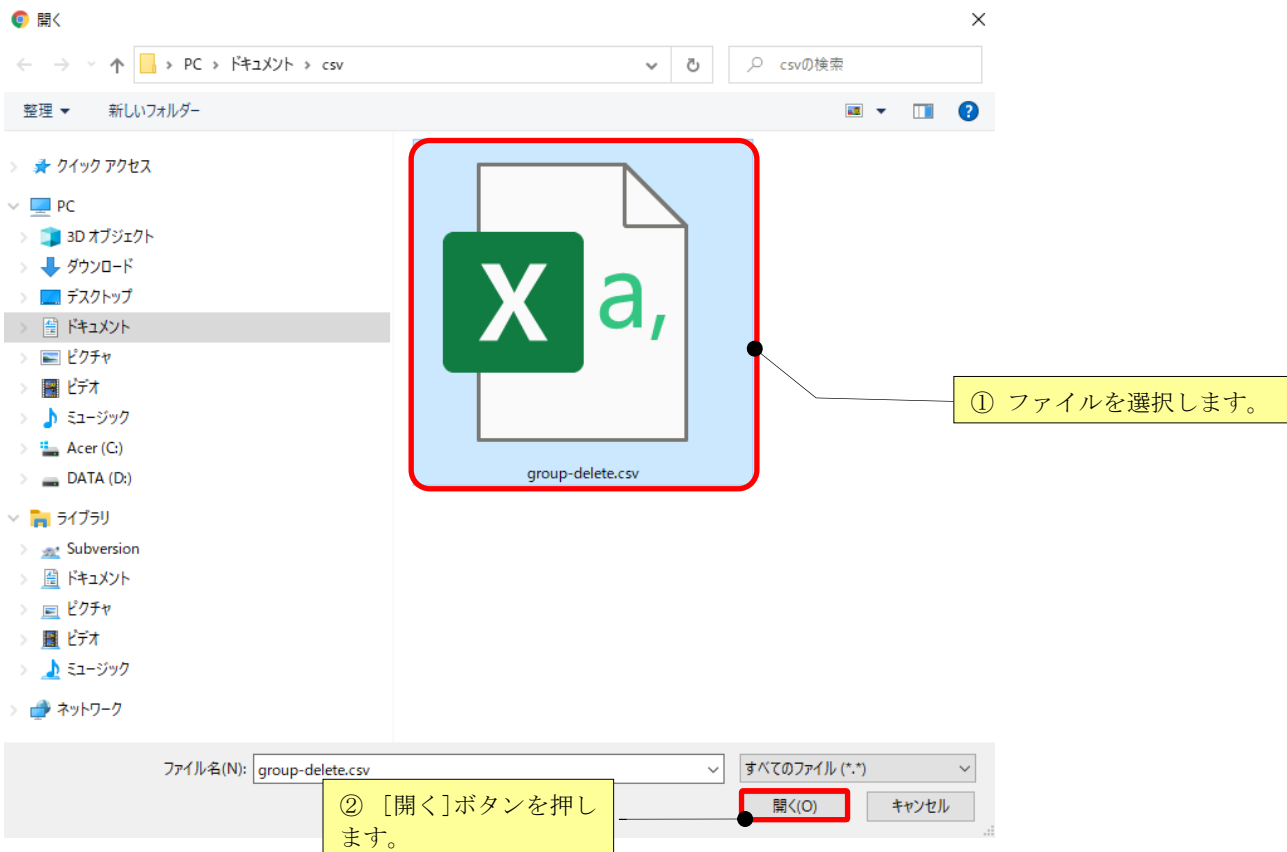
マジックコネクトサーバのグループ化接続の情報から、CSV 形式で用意した情報に一致するデータを削除します。

- (1) グループ化一括操作画面の「グループ化接続構成を CSV 形式で一括削除」の[ファイル選択]ボタンを押します。



- (2) ファイルを選択する画面が表示されますので、アップロードする CSV ファイルを選択して、[開く]ボタンを押します。

下図は「group-delete.csv」を選択した場合です。



- (3) 「ファイル選択」の横に、選択したファイルのファイル名が表示されますので、選択したファイルで問題なければ[接続構成を一括削除]ボタンを押します。

グループ化接続構成をCSV形式で一括削除

削除したい接続構成を記述したCSVファイルをアップロードし、
アカウント管理者account.adminが管理する一般ユーザの接続構成を一括削除します。

C:\fakepath\group-delete.csv

ファイル選択

接続構成を一括削除

選択したファイル名が表示されます。

[接続構成を一括削除]を押します。

- (4) 既存のグループ化接続の情報を維持した上で、グループ化接続の情報が削除されます。

以下のグループ化接続構成を一括削除しました。

ビューア	クライアント	状態
user1	user.mc3000	成功
user2	user.mc3000	成功

ユーザ接続構成一覧に戻る

5. 管理機能利用設定

本機能を利用することで管理画面を利用するための設定を変更できます。

5.1. 管理機能への IP アドレス制限	130
5.2. 監査ログダウンロード	134
5.3. サブアカウント管理者管理	137
5.3.1. サブアカウント管理者の一覧を表示する	137
5.3.2. サブアカウント管理者を追加する	138
5.3.3. サブアカウント管理者のパスワードを変更する	141
5.3.4. サブアカウント管理者のロックアウトを解除する	145
5.3.5. サブアカウント管理者を削除する	147

5.1. 管理機能への IP アドレス制限

アカウント管理者が管理機能へログインできるネットワークを限定する場合に、本機能を利用します。

注意) この機能は、「アカウント管理者」や「サブアカウント管理者」のユーザ名でのログインにのみ影響します。「一般ユーザ」のユーザ名でのログインには影響しません。

本機能で行った設定は、次回の接続認証から有効となります。

ここでは、下記の制限設定を行う手順を説明します。

グローバル IP アドレス 203.0.113.1 と 198.51.100.1 からのログインのみ許可

(1) セキュリティ画面を表示するには、トップ画面から管理機能利用設定をクリックします。

The screenshot shows a navigation bar at the top with the following items: トップ, アクセス履歴, ユーザ管理, グループ化接続構成, **管理機能利用設定** (highlighted with a red box), and パスワード変更. Below the navigation bar are several menu items, each with an icon and a description:

- アクセス履歴**: 過去1年のアクセス履歴を表示することができます。
- ユーザ管理**: アカウントごとにユーザー情報を管理することができます。
- グループ化接続構成**: 現在の接続構成を表示・編集することができます。
- 管理機能利用設定**: 管理機能利用についての各種設定を管理することができます。 (This item is highlighted with a red box and has a callout box pointing to it.)
- パスワード変更**: 登録されているパスワードを変更することができます。

A yellow callout box at the bottom of the screenshot contains the text: 「管理機能利用設定」をクリックします。

(2) 管理機能利用設定トップ画面から「管理機能への IP アドレス制限」をクリックします。

管理機能利用設定

管理機能利用についての各種設定を管理することができます。

セキュリティ

管理機能へのIPアドレス制限

管理機能へログインできるネットワークを制限することができます。

サブアカウント管理者管理

サブアカウント管理者管理

サブアカウント管理者を管理することができます。

レポート

監査ログダウンロード

管理機能利用の監査ログをダウンロードできます。

「管理機能への IP アドレス制限」をクリックします。

(3) 「次の IP アドレスからのログインのみ許可する」にチェックを入れます。

管理機能利用設定

アカウント管理者で管理機能へログインできるネットワークを制限するには、下記の項目をすべて入力し、「更新」ボタンを押して下さい。

アカウント管理者ユーザ名: **account.admin**

現在の接続元IPアドレス: **203.0.113.1**

管理機能へのログイン制限: 次のIPアドレスからのログインのみ許可する

IPアドレス	/	サブネットマスク
<input type="text" value="203.0.113.1"/>		<input type="text" value="255.255.255.255"/>
<input type="button" value="削除"/>		
<input type="button" value="IPアドレスを追加"/>		
<input type="button" value="元に戻す"/>		

「次の IP アドレスからのログインのみ許可する」にチェックを入れます。

- (4) 接続を許可するグローバル IP アドレスとサブネットマスクを入力し、[更新]ボタンを押します。
 なお、許可するグローバル IP アドレスの入力欄を追加する場合は、[IP アドレスを追加]ボタンを押します。

トップ	アクセス履歴	ユーザ管理	グループ化接続構成	管理機能利用設定	パスワード変更
-----	--------	-------	-----------	----------	---------

アカウント管理者で管理機能へログインできるネットワークを制限するには、下記の項目をすべて入力し、「更新」ボタンを押して下さい。

アカウント管理者ユーザ名 **account.admin**

現在の接続元IPアドレス **203.0.113.1**

管理機能へのログイン制限 次のIPアドレスからのログインのみ許可する

IPアドレス	サブネットマスク	
203.0.113.1	/ 255.255.255.255	削除
198.51.100.1	/ 255.255.255.255	削除

① 接続を許可するグローバル IP アドレスとサブネットマスクを入力します。

② [更新]を押します。

- ※サブネットマスクの設定により、ネットワークアドレス単位での制限も可能です。
 ※登録可能な IP アドレスとサブネットマスクの組は最大 200 個までです。

③ 下記のメッセージが表示されますので、[OK]を選択します。

確認 ×

入力した内容を反映させます。
よろしいですか？

(5) 更新が正常に完了すると「設定は正常に更新されました。」と表示されます。

[トップ](#)
[アクセス履歴](#)
[ユーザ管理](#)
[グループ化接続構成](#)
[管理機能利用設定](#)
[パスワード変更](#)

設定は正常に更新されました。

アカウント管理者ユーザ名	account.admin
現在の接続元IPアドレス	203.0.113.1
管理機能へのログイン制限	次のIPアドレスからのログインのみ許可する <hr/> 203.0.113.1 / 255.255.255.255 198.51.100.1 / 255.255.255.255

[戻る](#)

(6) 以後は、アカウント管理者用のユーザ名では、許可されたグローバル IP アドレス以外からはログインできなくなります。

ユーザ名とパスワードを入力してください。

※アカウント管理者でログインする場合は、アカウント管理者のユーザ名を入力してください。

ユーザ名またはパスワードに誤りがあります。

ユーザ名

パスワード

ログイン



- 同じユーザ名でログイン失敗を5回繰り返すと、アカウントが一時的に無効化されます。
- アカウントが一時的な無効化状態になると、自動解除されるまで待機するか管理者が解除操作を実施するまで管理機能へログインできなくなります。

5.2. 監査ログダウンロード

アカウント管理者が監査用ログをダウンロードするために使用します。

監査ログには、アカウント管理者やサブアカウント管理者による管理機能の利用履歴が、管理者名と共に記録されます。これにより、どの管理者がいつログインし、ユーザ管理やグループ化接続構成の変更、アクセス履歴のダウンロードを実施したか確認することができます。

(1) トップ画面から「管理機能利用設定」をクリックします。

トップ アクセス履歴 ユーザ管理 グループ化接続構成 **管理機能利用設定** パスワード変更

管理機能利用設定
管理機能利用についての各種設定を管理することができます。

「管理機能利用設定」をクリックします。

(2) 「監査ログダウンロード」をクリックします。

トップ アクセス履歴 ユーザ管理 グループ化接続構成 **管理機能利用設定** パスワード変更

管理機能利用設定

管理機能利用についての各種設定を管理することができます。

セキュリティ

- 管理機能へのIPアドレス制限
管理機能へログインできるネットワークを制限することができます。

レポート

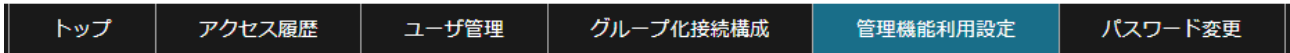
- 監査ログダウンロード**
管理機能利用の監査ログをダウンロードできます。

サブアカウント管理者管理

- サブアカウント管理者管理
サブアカウント管理者を管理することができます。

「監査ログダウンロード」をクリックします。

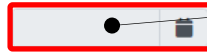
(3) 監査ログをダウンロードしたい年月を指定します。



監査ログのダウンロード

指定した年月の監査ログをダウンロードすることができます。

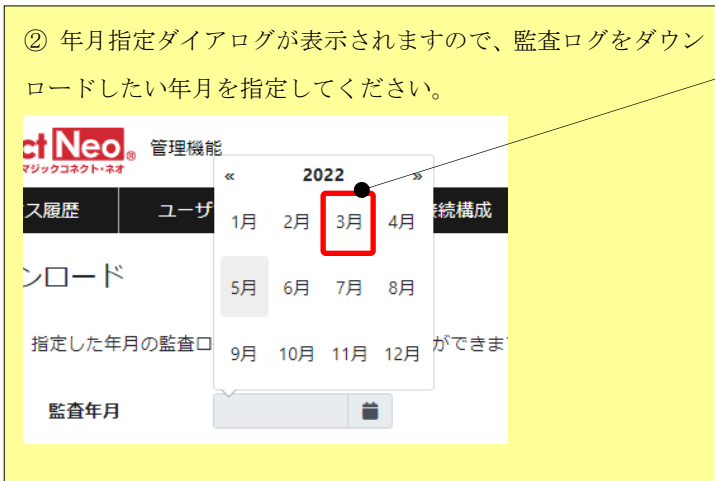
監査年月



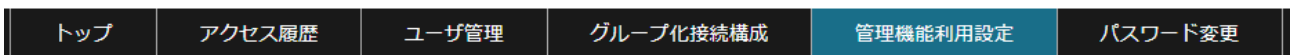
① クリックします。

② 年月指定ダイアログが表示されますので、監査ログをダウンロードしたい年月を指定してください。

③ クリックします。



(4) [ダウンロード]ボタンを押します。



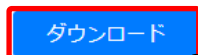
監査ログのダウンロード

指定した年月の監査ログをダウンロードすることができます。

監査年月

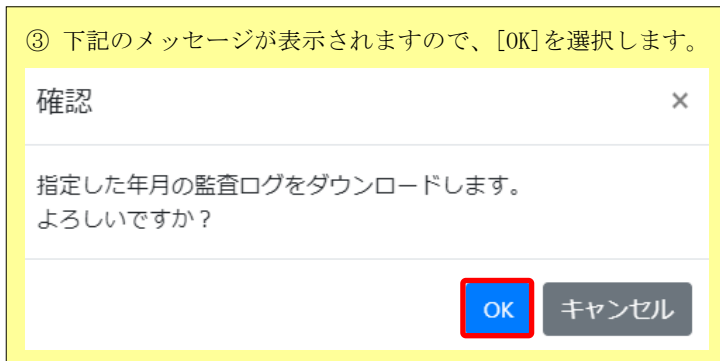


① 指定された年月が表示されます。



② [ダウンロード]を押します。

③ 下記のメッセージが表示されますので、[OK]を選択します。



(5) 監査ログがダウンロードされます。

5.3. サブアカウント管理者管理

サブアカウント管理者の一覧表示、追加、削除、ロックアウト解除、パスワード変更ができます。

サブアカウント管理者は、アカウント管理者と同等の操作が可能です。ただし「管理機能利用設定」のみ利用できません。

5.3.1. サブアカウント管理者の一覧を表示する

(1) サブアカウント管理者の一覧を表示するには、トップ画面から「管理機能利用設定」をクリックします。



(2) 管理機能利用設定トップ画面で「サブアカウント管理者管理」をクリックします。



(3) サブアカウント管理者一覧画面が表示されます。

トップ アクセス履歴 ユーザ管理 グループ化接続構成 **管理機能利用設定** パスワード変更

サブアカウント管理者一覧

アカウント管理者account.adminに所属するサブアカウント管理者一覧を表示しています。
詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

[サブアカウント管理者を追加](#)

ユーザ名	作成日
account.admin.00000	2022/03/09
account.admin.00001	2022/03/09
account.admin.00002	2022/03/09
account.admin.00003	2022/03/09

5.3.2. サブアカウント管理者を追加する

(1) サブアカウント管理者一覧画面で右上の[サブアカウント管理者を追加]ボタンを押します。

トップ アクセス履歴 ユーザ管理 グループ化接続構成 **管理機能利用設定** パスワード変更

サブアカウント管理者一覧

アカウント管理者account.adminに所属するサブアカウント管理者一覧を表示しています。
詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

[サブアカウント管理者を追加](#)

ユーザ名	作成日
account.admin.00000	2022/03/09
account.admin.00001	2022/03/09
account.admin.00002	2022/03/09
account.admin.00003	2022/03/09

[サブアカウント管理者を追加]を押します。

※サブアカウント管理者は最大 100 ユーザまで登録可能です。

(2) 「新しいパスワード」、「新しいパスワード (確認)」に同じパスワードを入力します。

トップ	アクセス履歴	ユーザ管理	グループ化接続構成	管理機能利用設定	パスワード変更
-----	--------	-------	-----------	----------	---------

サブアカウント管理者追加

ユーザ名	(自動的に生成されます)	
パスワード	新しいパスワード	① 「新しいパスワード」を入力します。
	新しいパスワード (確認)	② 「新しいパスワード (確認)」を入力します。
	(半角の英大文字、数字、記号で、長さは10文字以上)	

(3) [追加] ボタンを押します。

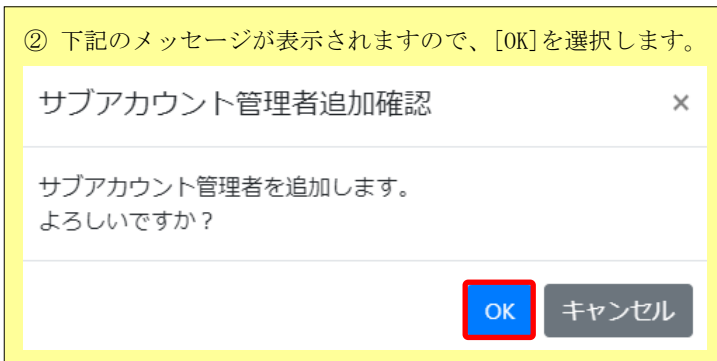
トップ	アクセス履歴	ユーザ管理	グループ化接続構成	管理機能利用設定	パスワード変更
-----	--------	-------	-----------	----------	---------

サブアカウント管理者追加

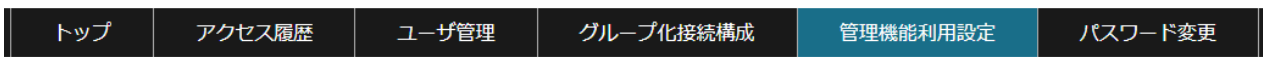
ユーザ名	(自動的に生成されます)	
パスワード	👁
	👁
	(半角の英大文字、数字、記号で、長さは10文字以上)	

① [追加]を押します。

② 下記のメッセージが表示されますので、[OK]を選択します。



(4) 新しいサブアカウント管理者が追加されると、「サブアカウント管理者<ユーザ名>を追加しました。」のメッセージが表示されます。



① サブアカウント管理者account.admin.00005を追加しました。

サブアカウント管理者一覧

アカウント管理者account.adminに所属するサブアカウント管理者一覧を表示しています。
詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

サブアカウント管理者を追加

ユーザ名	作成日
account.admin.00000	2022/03/09
account.admin.00001	2022/03/09
account.admin.00002	2022/03/09
account.admin.00003	2022/03/09

注意) エラーメッセージが表示された場合は、「新しいパスワード」もしくは「新しいパスワード (確認)」に問題があります。エラーメッセージをご確認の上、再度入力を行ってください。

サブアカウント管理者追加

ユーザ名 (自動的に生成されます)

パスワード

新しいパスワード

新しいパスワード (確認)

(半角の英大文字、数字、記号で、長さは10文字以上)

確認用のパスワードが一致しません。

追加 戻る

エラーの内容が表示されます。

5.3.3. サブアカウント管理者のパスワードを変更する

(1) サブアカウント管理者一覧画面でパスワードを変更したいユーザ名をクリックします。

サブアカウント管理者一覧

アカウント管理者account.adminに所属するサブアカウント管理者一覧を表示しています。詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

サブアカウント管理者を追加

ユーザ名	作成日
account.admin.00000	2022/03/09
account.admin.00001	2022/03/09
account.admin.00002	2022/03/09
account.admin.00003	2022/03/09

クリックします。

- (2) サブアカウント管理者の詳細が表示されるので「新しいパスワード」と「新しいパスワード(確認)」に同じパスワードを入力します。

トップ	アクセス履歴	ユーザ管理	グループ化接続構成	管理機能利用設定	パスワード変更
-----	--------	-------	-----------	----------	---------

サブアカウント管理者詳細

ユーザ名	account.admin.00000	削除
ロックアウト	-	
パスワード	<input type="password" value="新しいパスワード"/> <input type="password" value="新しいパスワード(確認)"/> <small>(半角の英大文字、数字、記号で、長さは10文字以上)</small>	
作成日	2022/03/09	

戻る

① 「新しいパスワード」を入力します。

② 「新しいパスワード(確認)」を入力します。

- (3) [パスワードを更新]ボタンを押します。

トップ	アクセス履歴	ユーザ管理	グループ化接続構成	管理機能利用設定	パスワード変更
-----	--------	-------	-----------	----------	---------

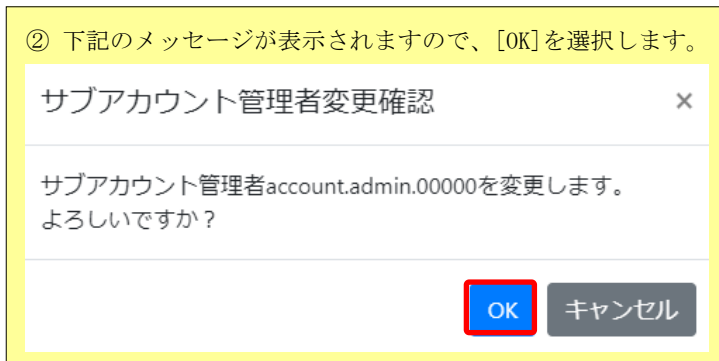
サブアカウント管理者詳細

ユーザ名	account.admin.00000	削除
ロックアウト	-	
パスワード	<input type="password" value="....."/> <input type="password" value="....."/> <small>(半角の英大文字、数字、記号で、長さは10文字以上)</small>	
作成日	2022/03/09	

戻る

① [パスワードを更新]を押します。

② 下記のメッセージが表示されますので、[OK]を選択します。



(4) サブアカウント管理者のパスワードが更新されると、「サブアカウント管理者のパスワードを変更しました。」のメッセージが表示されます。

トップ アクセス履歴 ユーザ管理 グループ化接続構成 **管理機能利用設定** パスワード変更

サブアカウント管理者詳細

① サブアカウント管理者のパスワードを変更しました。

ユーザ名	account.admin.00000	削除
ロックアウト	-	
パスワード	<input type="password" value="新しいパスワード"/> <input type="password" value="新しいパスワード (確認)"/> <small>(半角の英大小文字、数字、記号で、長さは10文字以上)</small>	パスワードを更新
作成日	2022/03/09	

戻る

注意) エラーメッセージが表示された場合は、「新しいパスワード」もしくは「新しいパスワード (確認)」に問題があります。エラーメッセージをご確認の上、再度入力を行ってください。

トップ	アクセス履歴	ユーザ管理	グループ化接続構成	管理機能利用設定	パスワード変更
-----	--------	-------	-----------	----------	---------

サブアカウント管理者詳細

ユーザ名	account.admin.00000	削除
ロックアウト	-	
パスワード	<input type="password" value="新しいパスワード"/>	👁
	<input type="password" value="新しいパスワード (確認)"/>	👁
	(半角の英大小文字、数字、記号で、長さは10文字以上)	
	確認用のパスワードが一致しません。	

エラーの内容が表示されます。

5.3.4. サブアカウント管理者のロックアウトを解除する

(1) サブアカウント管理者一覧画面でロックアウトを解除したいユーザ名をクリックします。

トップ アクセス履歴 ユーザ管理 グループ化接続構成 **管理機能利用設定** パスワード変更

サブアカウント管理者一覧

アカウント管理者account.adminに所属するサブアカウント管理者一覧を表示しています。
 詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

[サブアカウント管理者を追加](#)

ユーザ名	作成日
account.admin.00000	2022/03/09
account.admin.00001	2022/03/09
account.admin.00002	2022/03/09
account.admin.00003	2022/03/09

クリックします。

(2) サブアカウント管理者の詳細が表示されるので[ロックアウト解除]ボタンを押します。

トップ アクセス履歴 ユーザ管理 グループ化接続構成 **管理機能利用設定** パスワード変更

サブアカウント管理者詳細

ユーザ名	account.admin.00000	削除
ロックアウト		ロックアウト解除
パスワード	<input type="password" value="新しいパスワード"/> <input type="password" value="新しいパスワード (確認)"/> <small>(半角の英大文字、数字、記号で、長さは10文字以上)</small>	
作成日	2022/03/09	パスワードを更新

[戻る](#)

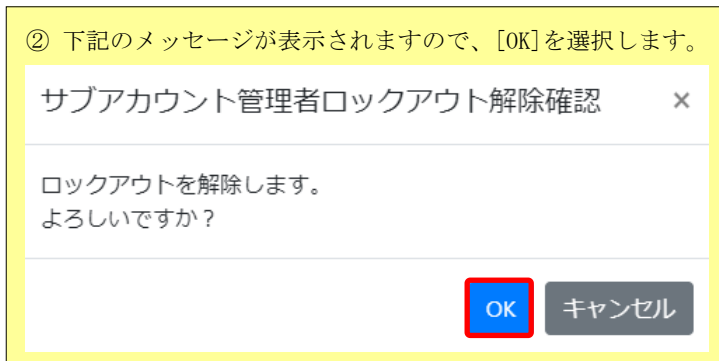
① [ロックアウトを解除]を押します。

ロックアウトが「-」と表示されている場合はロックアウトされていません。

ロックアウト

-

② 下記のメッセージが表示されますので、[OK]を選択します。



(3) サブアカウント管理者のロックアウト状態が解除されると、「ロックアウト状態を解除しました。」のメッセージが表示されます。

トップ	アクセス履歴	ユーザ管理	グループ化接続構成	管理機能利用設定	パスワード変更
-----	--------	-------	-----------	----------	---------

サブアカウント管理者詳細

i ロックアウト状態を解除しました。

ユーザ名	account.admin.00000	削除
ロックアウト	-	
パスワード	<input type="password" value="新しいパスワード"/> 👁 <input type="password" value="新しいパスワード (確認)"/> 👁 <small>(半角の英大文字、数字、記号で、長さは10文字以上)</small>	
	パスワードを更新	
作成日	2022/03/09	

戻る

5.3.5. サブアカウント管理者を削除する

(1) サブアカウント管理者一覧画面で削除したいユーザ名をクリックします。

トップ アクセス履歴 ユーザ管理 グループ化接続構成 管理機能利用設定 パスワード変更

サブアカウント管理者一覧

アカウント管理者account.adminに所属するサブアカウント管理者一覧を表示しています。
詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

サブアカウント管理者を追加
クリックします。

ユーザ名	作成日
account.admin.00000	2022/03/09
account.admin.00001	2022/03/09
account.admin.00002	2022/03/09
account.admin.00003	2022/03/09

(2) 「ユーザ名」が正しいことを確認の上、[削除]ボタンを押します。

トップ アクセス履歴 ユーザ管理 グループ化接続構成 管理機能利用設定 パスワード変更

サブアカウント管理者詳細

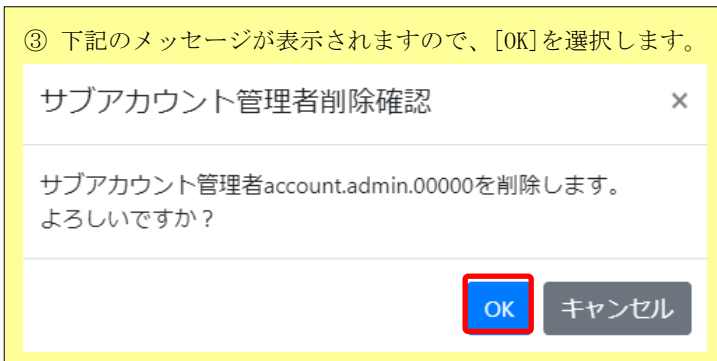
ユーザ名	account.admin.00000	削除
ロックアウト		ロックアウト解除
パスワード	<div style="margin-bottom: 5px;"> <input type="password" value="新しいパスワード"/> 👁 </div> <div style="margin-bottom: 5px;"> <input type="password" value="新しいパスワード (確認)"/> 👁 </div> <p style="font-size: small;">(半角の英大文字、数字、記号で、長さは10文字以上)</p> <div style="text-align: right;"> パスワードを更新 </div>	
作成日	2022/03/09	

戻る

① 削除するサブアカウント管理者が正しいかご確認ください。

② [削除]を押します。

③ 下記のメッセージが表示されますので、[OK]を選択します。



(3) サブアカウント管理者が削除されると、「サブアカウント管理者<ユーザ名>を削除しました。」のメッセージが表示されます。

トップ アクセス履歴 ユーザ管理 グループ化接続構成 **管理機能利用設定** パスワード変更

サブアカウント管理者account.admin.00000を削除しました。

サブアカウント管理者一覧

アカウント管理者account.adminに所属するサブアカウント管理者一覧を表示しています。 [サブアカウント管理者を追加](#)

詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

ユーザ名	作成日
account.admin.00001	2022/03/09
account.admin.00002	2022/03/09
account.admin.00003	2022/03/09
account.admin.00004	2022/03/09
account.admin.00005	2022/03/09

<< < 1 > >>

6. パスワードの変更（アカウント管理者）

ログインしているアカウント管理者のパスワードを変更する場合に利用します。

(1) トップ画面から、パスワードの変更をクリックします。

The screenshot shows a navigation menu with the following items: トップ, アクセス履歴, ユーザ管理, グループ化接続構成, 管理機能利用設定, and **パスワード変更** (highlighted with a red box). Below the menu are four main function cards:

- アクセス履歴**: 過去1年のアクセス履歴を表示することができます。
- ユーザ管理**: アカウントごとにユーザー情報を管理することができます。
- グループ化接続構成**: 現在の接続構成を表示・編集することができます。
- パスワード変更**: 登録されているパスワードを変更することができます。 (This card is highlighted with a red box and a yellow callout box pointing to it with the text: 「パスワードの変更」をクリックします。)

(2) 現在のパスワードと新しいパスワードを入力して、[変更]ボタンを押します。

The screenshot shows the password change form. At the top, the user name is 'account.admin'. Below it, a note states: 'パスワードは、10文字以上255文字以内の長さで、半角の英大文字と数字・記号を混在させてください。' The form contains three input fields:

- 現在のパスワード**: 現在のパスワード (with a red box around the field and a yellow callout box ①: 現在のパスワードを入力します。)
- 新しいパスワード**: 新しいパスワード (with a red box around the field and a yellow callout box ②: 新しいパスワードを入力します。)
- 新しいパスワード (確認)**: 新しいパスワード (確認) (with a red box around the field and a yellow callout box ③: 新しいパスワードを再入力します。)

 At the bottom, there is a **変更** button (with a red box around it and a yellow callout box ④: [変更]を押します。).

⑤ 下記のメッセージが表示されますので、[OK]を選択します。

確認 ×

入力した内容を反映させます。
よろしいですか？

OK
キャンセル

(3) パスワードが正常に変更されると、「パスワードは変更されました。」と表示されます。

トップ	アクセス履歴	ユーザ管理	グループ化接続構成	管理機能利用設定	パスワード変更
-----	--------	-------	-----------	----------	---------

パスワードは変更されました。

戻る

注意) 正常に変更されなかった場合は、パスワードが変更できなかった理由が表示されます。メッセージに従い、入力をやり直してください。

現在のパスワード	現在のパスワード 👁
新しいパスワード	新しいパスワード 👁
新しいパスワード (確認)	新しいパスワード (確認) 👁

確認用のパスワードが一致しません。